

# 第2次阿見町教育振興基本計画の策定に係る 各種調査実施報告書（案）

令和4年3月

阿見町 学校教育課



## 第2次阿見町教育振興基本計画の策定に係る各種調査実施報告書

### 1 第2次阿見町教育振興基本計画の策定に係るアンケート調査 集計結果

#### 【保護者アンケート】

1. 調査の目的	4
2. 調査方法	4
3. 配布・回収状況	4
4. 調査分析に当たっての注意事項	4
5. アンケート調査項目	5
6. アンケート調査結果	6
7. アンケート調査票	31

#### 【教職員アンケート】

1. 調査の目的	40
2. 調査方法	40
3. 配布・回収状況	40
4. 調査分析に当たっての注意事項	40
5. アンケート調査項目	41
6. アンケート調査結果	42
7. アンケート調査票	75

### 2 第2次阿見町教育振興基本計画の策定に係る団体ヒアリング調査 実施結果

1. 調査の目的	90
2. 実施日	90
3. ヒアリングスケジュール及び項目	90
4. ヒアリング結果の概要	91

### 3 阿見町教育振興基本計画後期基本計画 進捗状況調査(達成度調査) 実施結果

1. 調査の目的	98
2. 調査内容	98
3. 実施期間	98
4. 調査結果	99



1 第2次阿見町教育振興基本計画の策定に係るアンケート調査 集計結果



第2次阿見町教育振興基本計画」策定に係る  
アンケート調査集計結果  
(保護者)

## ■「第2次阿見町教育振興基本計画」策定に係るアンケート調査(保護者)集計結果 ■

### 1. 調査の目的

本調査は、町内小・中学校の児童生徒の保護者を対象とし、令和4年度から新しく策定する「第2次阿見町教育振興基本計画」のため、保護者の教育振興に関する意識や意見・要望等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2. 調査方法

#### (1) 調査対象者

- ・ 小学校5年生・中学校2年生の児童生徒の保護者(合計772名)  
※町内の小学校5年生(398名)／中学校2年生(374名)

#### (2) 調査方法

- ・ 学校で調査票を配布・回収(紙の調査票での回答とインターネット回答により実施)  
※紙の調査票にアクセス用のURL(QRコード)を記載して実施

#### (3) 調査期間

- ・ 令和3年11月5日(金)～令和3年11月10日(水)

### 3. 配布・回収状況

- ・ 配付数: 772票
- ・ 回収数: 633票(紙:340票, WEB:293票)
- ・ 有効回収数: 633票
- ・ 有効回収率: 82.0%

### 4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ 集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっている。したがって、シングル・アンサー〈SA〉(1つの選択肢のみを回答する設問)の合計は、100.0%とならない場合がある。
- ・ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、マルチ・アンサー〈MA〉(複数の選択肢を回答する設問)の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となる。
- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合がある。
- ・ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合がある。

※ 有効回答者数は各設問に(n=●●)で表してある。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票はカウントしていない。

## 5. アンケート調査項目

問	調査内容	回答形式
	1 ご自身について	
問1	続柄	単一回答
問2	年齢	単一回答
問3	お子さまの学年	単一回答
	2 新型コロナウイルス禍におけるお子さまの生活や学習等への影響について	
問4	コロナ禍でお子さまの生活や学習、遊びはどのように変わったか	複数回答
問5	コロナ禍の現在あなたが、お子さまの生活や学習でお困りのことや不安に思っていること	自由記述
	3 お子さまのご家庭での生活について	
問6	お子さまのご家庭での生活で特に気をつけていること	複数回答
問7	お子さまがスマートフォン・携帯電話、タブレット等の通信端末を利用することについてどのようにお考えか	複数回答
問8	お子さまの教育や学校生活について特に気になること	複数回答
問9	教育について不安を感じた時、誰に相談するか	複数回答
	4 お子さまの学校生活について	
問10	学校に通うのが楽しそうに見えるか	単一回答
問11	学校の授業をどの程度理解していると思うか	単一回答
問12	学校の宿題や予習・復習をきちんとやっているか	単一回答
問13	お子さまの通っている学校での指導についてどのように感じるか	単一回答
	5 学校教育について	
問14	お子さまが通信端末を活用・利用することについてどう考えるか	複数回答
問15-1	阿見町の学校教育で取り組んでいる①～⑩の項目についての「満足度」について	単一回答
問15-2	阿見町の学校教育で取り組んでいる①～⑩の項目についての「重要性」について	単一回答
問16	今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町はどのようなことに取り組むべきだと思うか	複数回答
	6 地域活動との係わりについて	
問17	普段、地域の子供たちとどのように接しているか	複数回答
問18	お住まいの地域では、地域と家庭、学校の連携・協力体制が整っていると思うか	単一回答
問19	地域における子育ての観点から、地域で何に力を入れることが重要だと思うか	単一回答
	7 持続可能な開発目標(SDGs)について	
問20	「持続可能な開発目標(SDGs)」についてどの程度知っているか	複数回答
	自由意見	自由記述

## 6. アンケート調査結果

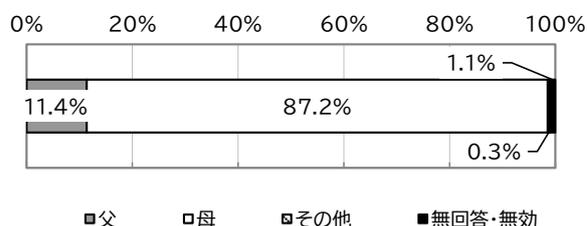
### 1 ご自身について

問1 あなたは、お子さまからみて、どの続柄にあたりますか。[SA]

回答者の続柄については、「母」が87.2%、「父」が11.4%となっている。

		票数	%
1	父	72	11.4%
2	母	552	87.2%
3	その他	2	0.3%
	無回答・無効	7	1.1%
	合計	633	100.0%

n = 633

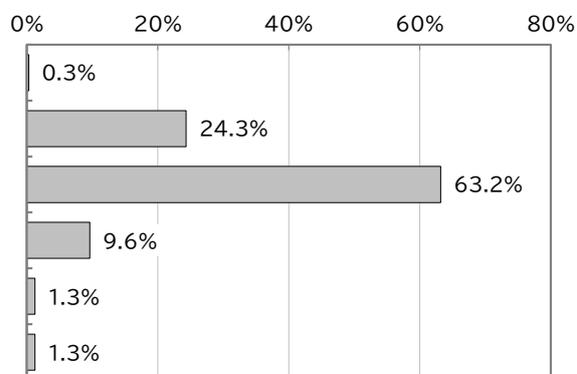


問2 あなたの年齢をお答えください。[SA]

回答者の年齢については、「40歳代」が63.2%で最も多く、次いで「30歳代」が24.3%、「50歳代」が9.6%などとなっている。

		票数	%
1	20歳代	2	0.3%
2	30歳代	154	24.3%
3	40歳代	400	63.2%
4	50歳代	61	9.6%
5	60歳以上	8	1.3%
	無回答・無効	8	1.3%
	合計	633	100.0%

n = 633

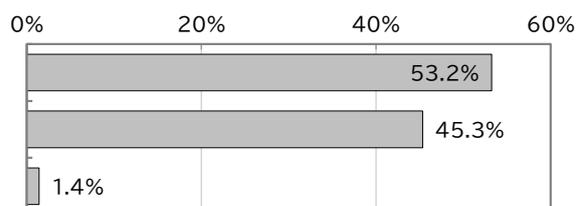


問3 あなたのお子さまの学年をお答えください。[SA]

回答者のお子さまの学年については、「小学校5年生」が53.2%、「中学校2年生」が45.3%となっている。

		票数	%
1	小学校5年生	337	53.2%
2	中学校2年生	287	45.3%
	無回答・無効	9	1.4%
	合計	633	100.0%

n = 633



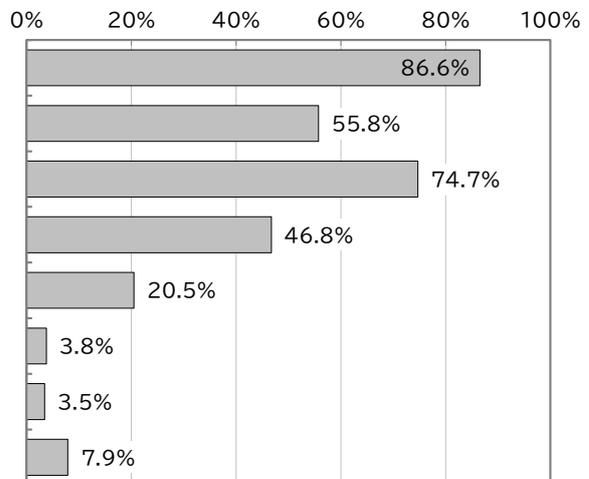
## 2 新型コロナウイルス禍におけるお子さまの生活や学習等への影響について

問4 新型コロナウイルス禍において、お子さまの生活や学習、遊びはどのように変わりましたか。(あてはまるものすべてに○)[MA]

新型コロナウイルス禍における、お子さまの生活や学習、遊びの変化については、「外出する機会が大きく減った(買物・外食・旅行など)」が86.6%で最も多く、次いで「友達と遊ぶ機会が減った」が74.7%、「休校になった時に家庭での学習がうまく進まなかった」が55.8%となっている。

		票数	%
1	外出する機会が大きく減った(買物・外食・旅行など)	548	86.6%
2	休校になった時に家庭での学習がうまく進まなかった	353	55.8%
3	友達と遊ぶ機会が減った	473	74.7%
4	スポーツ少年団や部活動など運動する機会が減った	296	46.8%
5	学習塾や習い事へ行けなくなった	130	20.5%
6	それほど大きな変化はない	24	3.8%
7	その他	22	3.5%
	無回答・無効	50	7.9%
	合計	1896	299.5%

n = 633



【クロス集計から】

「休校になった時に家庭での学習がうまく進まなかった」が小学校5年生では51.3%、中学生では62.7%、「スポーツ少年団や部活動など運動する機会が減った」が小学校5年生では32.6%、中学生では64.5%などと小学生と中学生で結果が異なる項目となっている。

問5 新型コロナウイルス感染症の拡大によって社会経済情勢の先行きも見通せない状況が続いていますが、現在あなたが、お子さまの生活や学習でお困りのことや不安に思っていることがあれば教えてください。[FA]

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、お子さまの生活や学習でお困りのことや不安に思っていることについては、「生活のみだれや運動不足、肥満になるや体調を崩しやすくなった。また、自宅でのタブレットの時間やゲームの時間が増えた。一方で、おうちイベントなど楽しく過ごせた」などの意見があった。

※記述内容は別紙にまとめています。

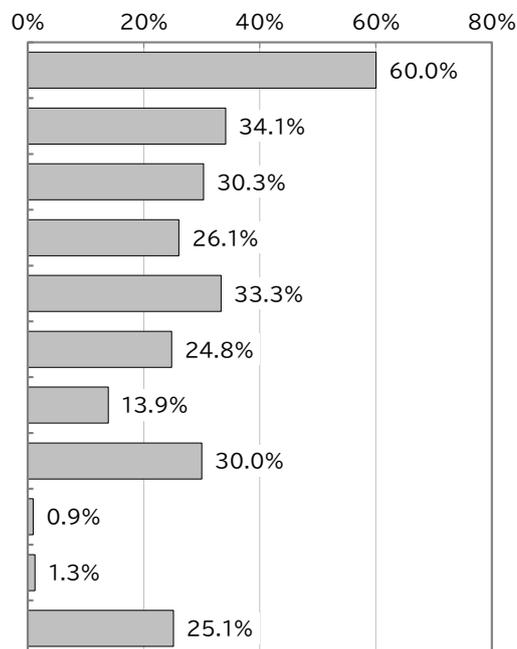
### 3 お子さまのご家庭での生活について

問6 あなたがお子さまのご家庭での生活で特に気をつけていることは何ですか。(〇は3つ以内)[MA]

お子さまのご家庭での生活で特に気をつけていることについては、「規則正しい生活(早寝・早起き, 食事など)」が60.0%で最も多く、次いで「テレビ・ゲームの時間のルール化」が34.1%、「マナー・ルールを守る」が33.3%となっている。

		票数	%	前回
1	規則正しい生活(早寝・早起き, 食事など)	380	60.0%	72.9%
2	テレビ・ゲームの時間のルール化	216	34.1%	31.1%
3	家庭学習の習慣化	192	30.3%	22.9%
4	子供の悩みなどを丁寧に聞く	165	26.1%	46.5%
5	マナー・ルールを守る	211	33.3%	72.0%
6	言葉づかいや行儀の指導	157	24.8%	63.3%
7	お金の貸し借り, 物の貸し借りのけじめ	88	13.9%	49.6%
8	約束を守る	190	30.0%	66.2%
9	特に気をつけてはいない	6	0.9%	-
10	その他	8	1.3%	3.6%
	無回答・無効	159	25.1%	1.5%
	合計	1772	279.9%	429.6%

n = 633



【前回との比較から】

「マナー・ルールを守る」や「言葉づかいや行儀の指導」、「お金の貸し借り, 物の貸し借りのけじめ」、「約束を守る」などが前回と比較して高い傾向となっている。

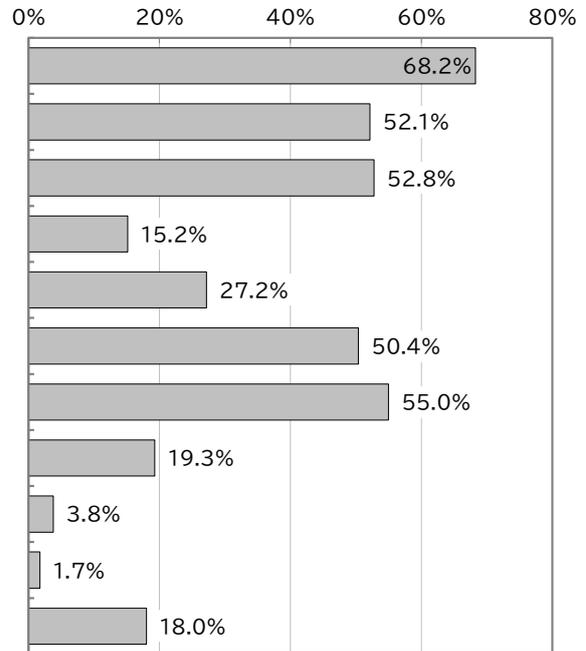
【クロス集計から】

「テレビ・ゲームの時間のルール化」については小学校5年生では42.4%、中学生では25.4%と結果に差が生じている。

**問7 あなたは、お子さまがスマートフォン・携帯電話、タブレット等の通信端末を利用することについてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)[MA]**

お子さまがスマートフォン・携帯電話、タブレット等の通信端末を利用することに対する考えについては、「家族・友達と連絡を取るには必要」が68.2%で最も多く、次いで「ネット閲覧に制限をかけるなどの対策は必要」が55.0%、「調べ物など勉強にも利用できて便利」が52.8%となっている。

		票数	%
1	家族・友達と連絡を取るには必要	432	68.2%
2	外出時の防犯対策のために必要	330	52.1%
3	調べ物など勉強にも利用できて便利	334	52.8%
4	できることなら持たせたくない	96	15.2%
5	ゲームばかりやっているのが困る	172	27.2%
6	ネットトラブルに巻き込まれないか不安	319	50.4%
7	ネット閲覧に制限をかけるなどの対策は必要	348	55.0%
8	小・中学校で統一した夜間の使用禁止などの制限が必要	122	19.3%
9	家庭では通信端末を利用させていない	24	3.8%
10	その他	11	1.7%
	無回答・無効	114	18.0%
	合計	2302	363.7%



n = 633

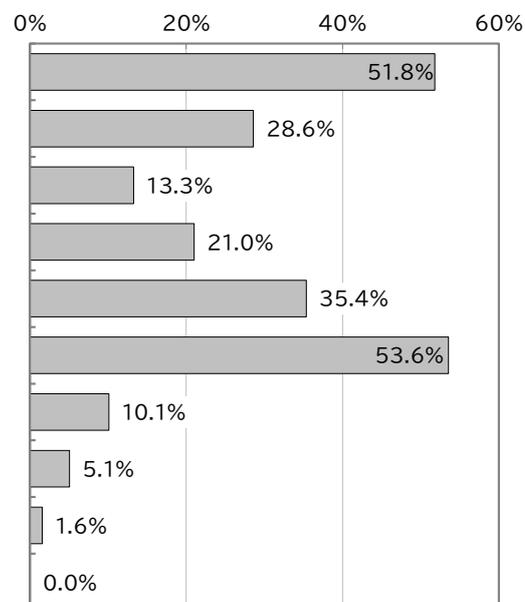
**【クロス集計から】**

中学生では「ネットトラブルに巻き込まれないか不安(56.8%)」「家族・友達と連絡を取るには必要(76.3%)」が小学生と比較して高くなっている。

**問8 あなたは、お子さまの教育や学校生活について特に気になることがありますか。(〇は3つ以内)[MA]**

お子さまの教育や学校生活について特に気になることについては、「子供の友人関係」が53.6%で最も多く、次いで「学校の成績」が51.8%、「子供の進学」が35.4%となっている。

		票数	%	前回
1	学校の成績	328	51.8%	40.8%
2	子供の健康	181	28.6%	22.4%
3	しつけの仕方	84	13.3%	34.3%
4	子供とのコミュニケーションの仕方	133	21.0%	17.3%
5	子供の進学	224	35.4%	27.7%
6	子供の友人関係	339	53.6%	29.9%
7	部活や習い事と勉強の両立	64	10.1%	25.5%
8	特に気になることはない	32	5.1%	-
9	その他	10	1.6%	5.8%
	無回答・無効	0	0.0%	6.1%
	合計	1395	220.4%	209.8%



n = 633

**【前回との比較から】**

前回結果と比較すると「子供の友人関係」が23.7ポイント増加し、「しつけの仕方」が21.0ポイント減少しています。

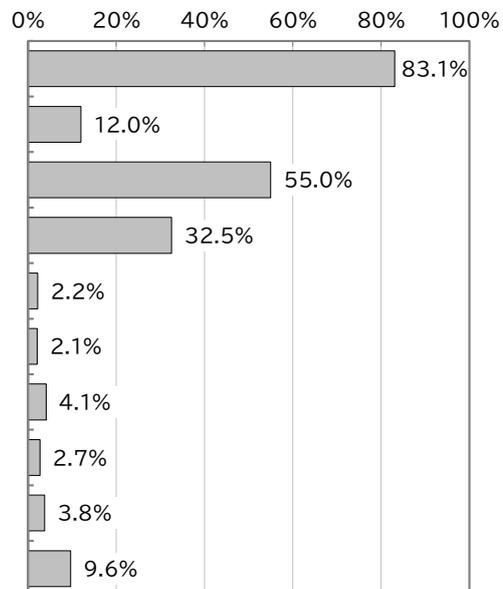
**【クロス集計から】**

「テレビ・ゲームの時間のルール化」については小学校5年生では42.4%、中学生では25.4%と結果に差が生じている。

問9 あなたが教育について不安を感じた時、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)[MA]

教育について不安を感じた時の相談相手については、「家族」が83.1%で最も多く、次いで「友人」が55.0%、「学校の先生」が32.5%となっている。

		票数	%	前回
1	家族	526	83.1%	80.7%
2	親戚	76	12.0%	10.8%
3	友人	348	55.0%	59.7%
4	学校の先生	206	32.5%	25.1%
5	スクールカウンセラー	14	2.2%	0.5%
6	相談機関の相談員	13	2.1%	1.6%
7	相談したいが、周りに相談できる相手がない	26	4.1%	3.0%
8	特に不安はないため、誰かに相談することはない	17	2.7%	-
9	その他	24	3.8%	3.9%
	無回答・無効	61	9.6%	1.3%
	合計	1311	207.1%	186.6%



n = 633

【前回との比較から】

不安を感じたときの相談相手として、前回と比べて「学校の先生」が7.4ポイント増加、「友人」が4.7ポイント減少している。

【クロス集計から】

「家族」については、「30歳代(89.0%)」「40歳代(84.5%)」で高い一方で「50歳代(72.1%)」、「60歳代(62.5%)」など年代が高いほど減少する傾向がある。また、「相談したいが、周りに相談できる相手がない」については「60歳代(25%)」が突出して高くなっている。

## 4 お子さまの学校生活について

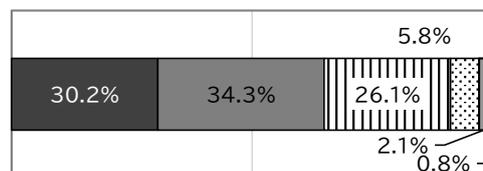
### 問10 あなたのお子さまは学校に通うのが楽しそうに見えますか。(〇は1つ)[SA]

お子さまが学校に通うのを楽しそうに見えるかについては、「どちらかという楽しそう」が34.3%で最も多く、次いで「とても楽しそう」が30.2%、「普通」が26.1%となっている。

		票数	%	前回
1	とても楽しそう	191	30.2%	35.6%
2	どちらかという楽しそう	217	34.3%	32.3%
3	普通	165	26.1%	25.5%
4	あまり楽しくなさそう	37	5.8%	4.2%
5	楽しくなさそう	13	2.1%	0.4%
6	その他	5	0.8%	0.5%
	無回答・無効	5	0.8%	1.3%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある



- とても楽しそう
- どちらかという楽しそう
- 普通
- あまり楽しくなさそう
- 楽しくなさそう
- その他

#### 【前回との比較から】

「とても楽しそう」が前回と比較して5.4ポイント減少している。

#### 【クロス集計から】

「とても楽しそう」については、「30歳代(31.8%)」「40歳代(31.3%)」と高い一方で、「50歳代(23.0%)」、「60歳代(0%)」などと低く結果となっている。

「楽しくなさそう」に関しては、「30歳代(0.6%)」「40歳代(2.0%)」と低い一方で、「50歳代(4.9%)」、「60歳代(12.5%)」などと若干高い結果となっている。

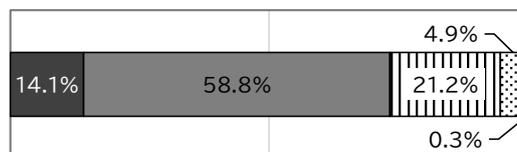
### 問11 あなたのお子さまは学校の授業をどの程度理解していると思いますか。(〇は1つ)[SA]

お子さまが学校の授業をどの程度理解しているかについては、「まあまあ理解していると思う」が58.8%で最も多く、次いで「あまり理解できていないと思う」が21.2%、「よく理解していると思う」が14.1%となっている。

		票数	%	前回
1	よく理解していると思う	89	14.1%	13.5%
2	まあまあ理解していると思う	372	58.8%	65.6%
3	あまり理解できていないと思う	134	21.2%	16.9%
4	ほとんど理解できていないと思う	31	4.9%	1.9%
5	その他	2	0.3%	0.6%
	無回答・無効	5	0.8%	1.4%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある



- よく理解していると思う
- まあまあ理解していると思う
- あまり理解できていないと思う
- ほとんど理解できていないと思う
- その他

#### 【前回との比較から】

前回結果と比較して「よく理解していると思う」が0.6ポイントと微増している一方で、「まあまあ理解していると思う」が6.8ポイント減少している。

#### 【クロス集計から】

「よく理解していると思う」については、「小学校5年生(18.4%)」、「中学校2年生(9.4%)」となっており、「まあまあ理解していると思う」に関しては、「小学校5年生(64.1%)」、「中学校2年生(53.3%)」と大きく差がついている。

問12 あなたのお子さまは、学校の宿題や予習・復習をきちんとやっていますか。  
 ①～③の項目についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。  
 (○は①～③についてそれぞれ1つずつ)[SA]

教職員の資質向上のために必要な研修について、「いつもする」が最も高いのは「①宿題」71.4%、「ときどきする」が最も高いのは「②予習・復習」36.7%となっている。  
 「ほとんどしない」が最も高いのは「③学校以外の学習(塾・検定試験の学習等)」の31.4%となっている。

### ①宿題

		票数	%	前回
1	いつもする	452	71.4%	80.2%
2	ときどきする	87	13.7%	10.5%
3	あまりしない	28	4.4%	4.0%
4	ほとんどしない	36	5.7%	2.3%
5	わからない	23	3.6%	1.7%
	無回答・無効	7	1.1%	1.3%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633



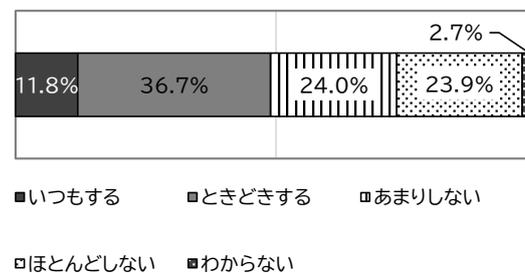
【クロス集計から】宿題を「いつもする」については、「小学校5年生(84.0%)」、「中学校2年生(57.8%)」と大きく差がついている。

### ②予習・復習

		票数	%	前回
1	いつもする	75	11.8%	9.8%
2	ときどきする	232	36.7%	36.7%
3	あまりしない	152	24.0%	26.5%
4	ほとんどしない	151	23.9%	23.1%
5	わからない	17	2.7%	2.2%
	無回答・無効	6	0.9%	1.6%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

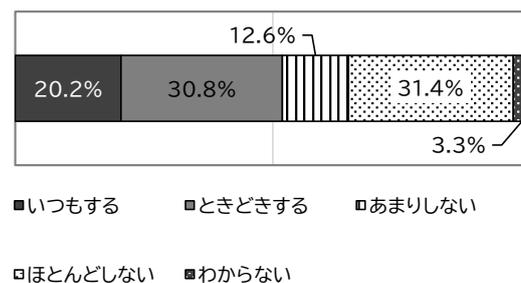


【クロス集計から】予習・復習を「いつもする」については、「小学校5年生(11.9%)」、「中学校2年生(11.8%)」と概ね同値になっているが、「ときどきする」については、「小学校5年生(34.1%)」、「中学校2年生(40.1%)」となっており、中学生で若干高い結果となっている。

### ③学校以外の学習(塾・検定試験の学習等)

		票数	%	前回
1	いつもする	128	20.2%	20.5%
2	ときどきする	195	30.8%	25.8%
3	あまりしない	80	12.6%	9.6%
4	ほとんどしない	199	31.4%	33.5%
5	わからない	21	3.3%	4.5%
	無回答・無効	10	1.6%	6.1%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633

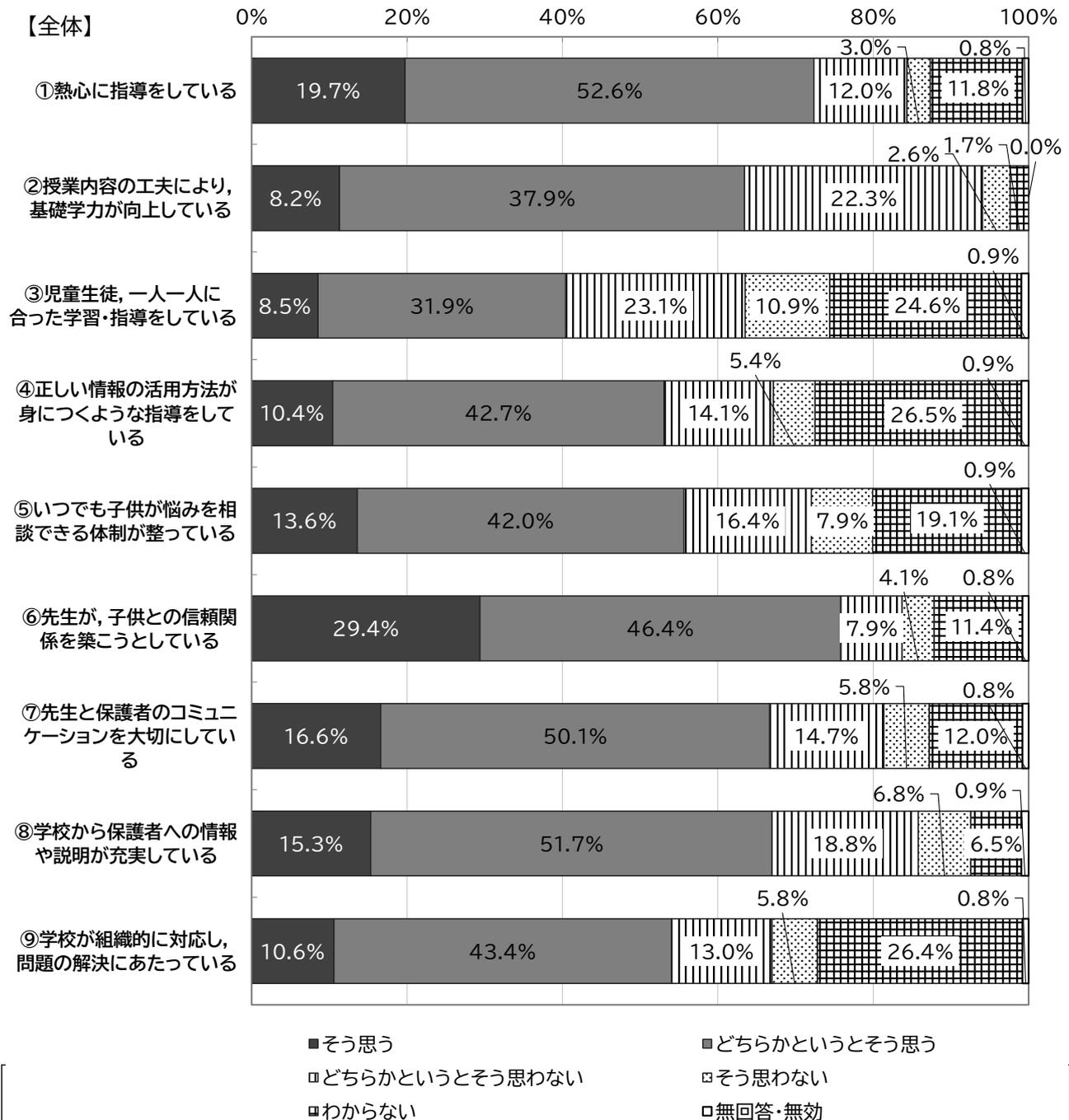


【クロス集計から】学校以外の学習について、「中学校2年生」で「いつもする(22.3%)」「ときどきする(37.6%)」が約5割となっている。

問13 あなたのお子さまの通っている学校での指導についてどのように感じますか。  
 ①～⑨の項目についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。  
 (○は①～⑨についてそれぞれ1つずつ)[SA]

お子さまの通っている学校での指導について「そう思う」と感じている項目で「⑥先生が、子供との信頼関係を築こうとしている」29.4%で最も多く、次いで「①熱心に指導をしている」19.7%、「⑦先生と保護者のコミュニケーションを大切にしている」16.6%などととなっている。

一方で、「どちらかというと思わない」の項目では、「②授業内容の工夫により、基礎学力が向上している」、「③児童生徒、一人一人に合った学習・指導をしている」については、20%を超え、他の項目よりも高くなっている。さらに、「そう思わない」の項目では、「③児童生徒、一人一人に合った学習・指導をしている」が10.9%と多くなっている。

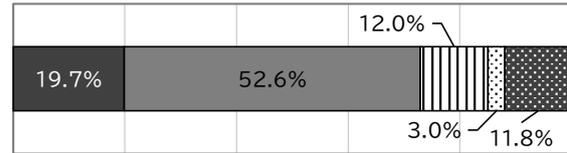


のコミュニケーションを大切にしている」について「そう思う」の回答は、「小学校5年生(18.4%)」、「中学校2年生(14.6%)」とそれぞれの項目で小学生の結果が若干高くなっている。

①熱心に指導をしている

		票数	%
1	そう思う	125	19.7%
2	どちらかというと思う	333	52.6%
3	どちらかというと思わない	76	12.0%
4	そう思わない	19	3.0%
5	わからない	75	11.8%
	無回答・無効	5	0.8%
	合計	633	100.0%

n = 633

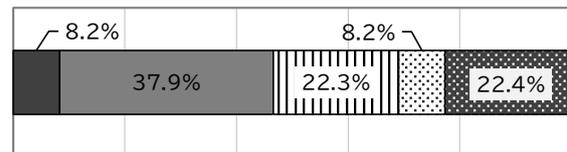


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

②授業内容の工夫により、基礎学力が向上している

		票数	%
1	そう思う	52	8.2%
2	どちらかというと思う	240	37.9%
3	どちらかというと思わない	141	22.3%
4	そう思わない	52	8.2%
5	わからない	142	22.4%
	無回答・無効	6	0.9%
	合計	633	100.0%

n = 633

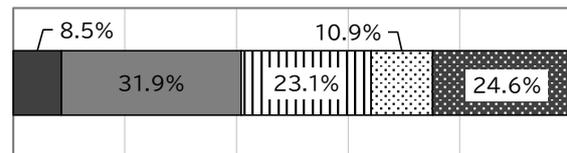


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

③児童生徒、一人一人に合った学習・指導をしている

		票数	%
1	そう思う	54	8.5%
2	どちらかというと思う	202	31.9%
3	どちらかというと思わない	146	23.1%
4	そう思わない	69	10.9%
5	わからない	156	24.6%
	無回答・無効	6	0.9%
	合計	633	100.0%

n = 633

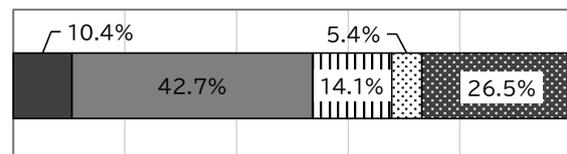


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

④正しい情報の活用方法が身につくような指導をしている

		票数	%
1	そう思う	66	10.4%
2	どちらかというと思う	270	42.7%
3	どちらかというと思わない	89	14.1%
4	そう思わない	34	5.4%
5	わからない	168	26.5%
	無回答・無効	6	0.9%
	合計	633	100.0%

n = 633

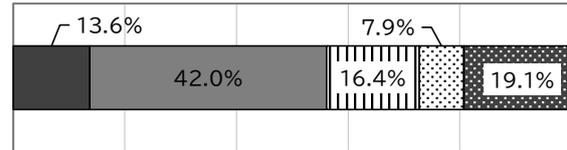


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

⑤いつでも子供が悩みを相談できる体制が整っている

		票数	%
1	そう思う	86	13.6%
2	どちらかというと思う	266	42.0%
3	どちらかというと思わない	104	16.4%
4	そう思わない	50	7.9%
5	わからない	121	19.1%
	無回答・無効	6	0.9%
	合計	633	100.0%

n = 633

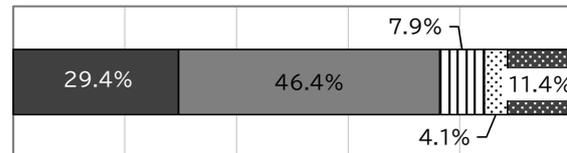


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

⑥先生が、子供との信頼関係を築こうとしている

		票数	%
1	そう思う	186	29.4%
2	どちらかというと思う	294	46.4%
3	どちらかというと思わない	50	7.9%
4	そう思わない	26	4.1%
5	わからない	72	11.4%
	無回答・無効	5	0.8%
	合計	633	100.0%

n = 633

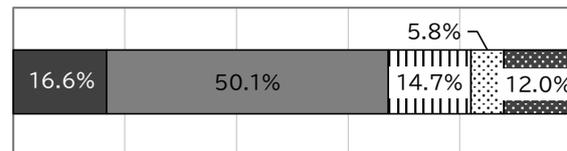


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

⑦先生と保護者のコミュニケーションを大切にしている

		票数	%
1	そう思う	105	16.6%
2	どちらかというと思う	317	50.1%
3	どちらかというと思わない	93	14.7%
4	そう思わない	37	5.8%
5	わからない	76	12.0%
	無回答・無効	5	0.8%
	合計	633	100.0%

n = 633

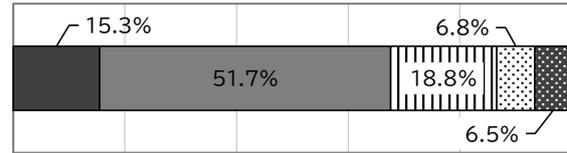


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

⑧学校から保護者への情報や説明が充実している

		票数	%
1	そう思う	97	15.3%
2	どちらかというと思う	327	51.7%
3	どちらかというと思わない	119	18.8%
4	そう思わない	43	6.8%
5	わからない	41	6.5%
	無回答・無効	6	0.9%
	合計	633	100.0%

n = 633

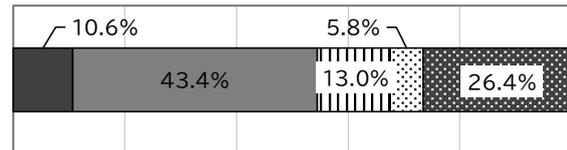


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

⑨学校が組織的に対応し、問題の解決にあっている

		票数	%
1	そう思う	67	10.6%
2	どちらかというと思う	275	43.4%
3	どちらかというと思わない	82	13.0%
4	そう思わない	37	5.8%
5	わからない	167	26.4%
	無回答・無効	5	0.8%
	合計	633	100.0%

n = 633



- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

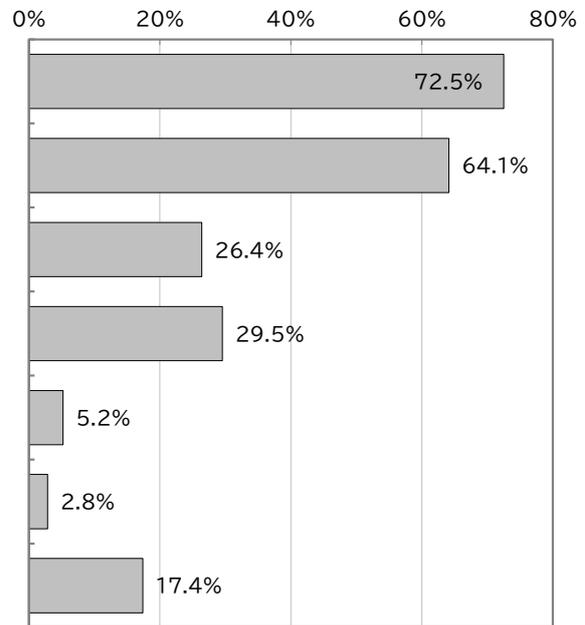
## 5 学校教育について

問14 学校では児童生徒一人に一台のタブレット端末を配付して授業で活用しています。あなたは学校授業でお子さまがこのような通信端末を活用・利用することについてどう考えますか。[MA]

授業でお子さまが通信端末を活用・利用することについては、「児童生徒の情報活用能力を向上させるために、授業で積極的に活用してほしい」が72.5%で最も多く、次いで「インターネット環境、ICTなどの使用ルール、道徳等の情報モラル教育をしっかりとしてほしい」が64.1%、「授業でどのような活用をするのかを保護者にも説明してほしい」が29.5%となっている。

		票数	%
1	児童生徒の情報活用能力を向上させるために、授業で積極的に活用してほしい	459	72.5%
2	インターネット環境、ICTなどの使用ルール、道徳等の情報モラル教育をしっかりとしてほしい	406	64.1%
3	端末を家に持ち帰り、宿題など家庭学習にも活用できるようにしてほしい	167	26.4%
4	授業でどのような活用をするのかを保護者にも説明してほしい	187	29.5%
5	特に意見はない	33	5.2%
6	その他	18	2.8%
	無回答・無効	110	17.4%
	合計	1380	218.0%

n = 633



問15-1 阿見町の学校教育で取り組んでいる①～⑳の項目についての「満足度」と「重要性」について、あなたのお考えに一番近い番号にそれぞれ○をつけてください。[SA]

学校教育で取り組んでいる項目の満足度については、「⑰学校給食・食育(栄養に関する指導)」が3.66ポイントで最も高く、次いで「⑳緊急時の保護者との連絡体制」が3.63ポイント、「⑪学校で取り組んでいる読書活動・図書室の充実」3.61ポイントなどとなっている。

重要性については、「㉑いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止」が4.59ポイントで最も高く、次いで「⑬命を大切にすることを育む教育」が4.55ポイント、「㉒緊急時の保護者との連絡体制」4.50ポイント、「㉓通学路の安全確保対策・交通安全教育」4.47ポイントなどとなっている。

CS分析(満足度と重要性の散布図)において、「最優先改善項目(満足度が低く・重要性が高い)」は、「④国際教育や外国語によるコミュニケーション能力の育成」や「㉑いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止」、「③物事を多様な観点から論理立てて考える学習」、「②基礎的な学力を確実に身につける学習」、「㉒児童生徒が教育相談等を受けることができる体制」などとなっている。

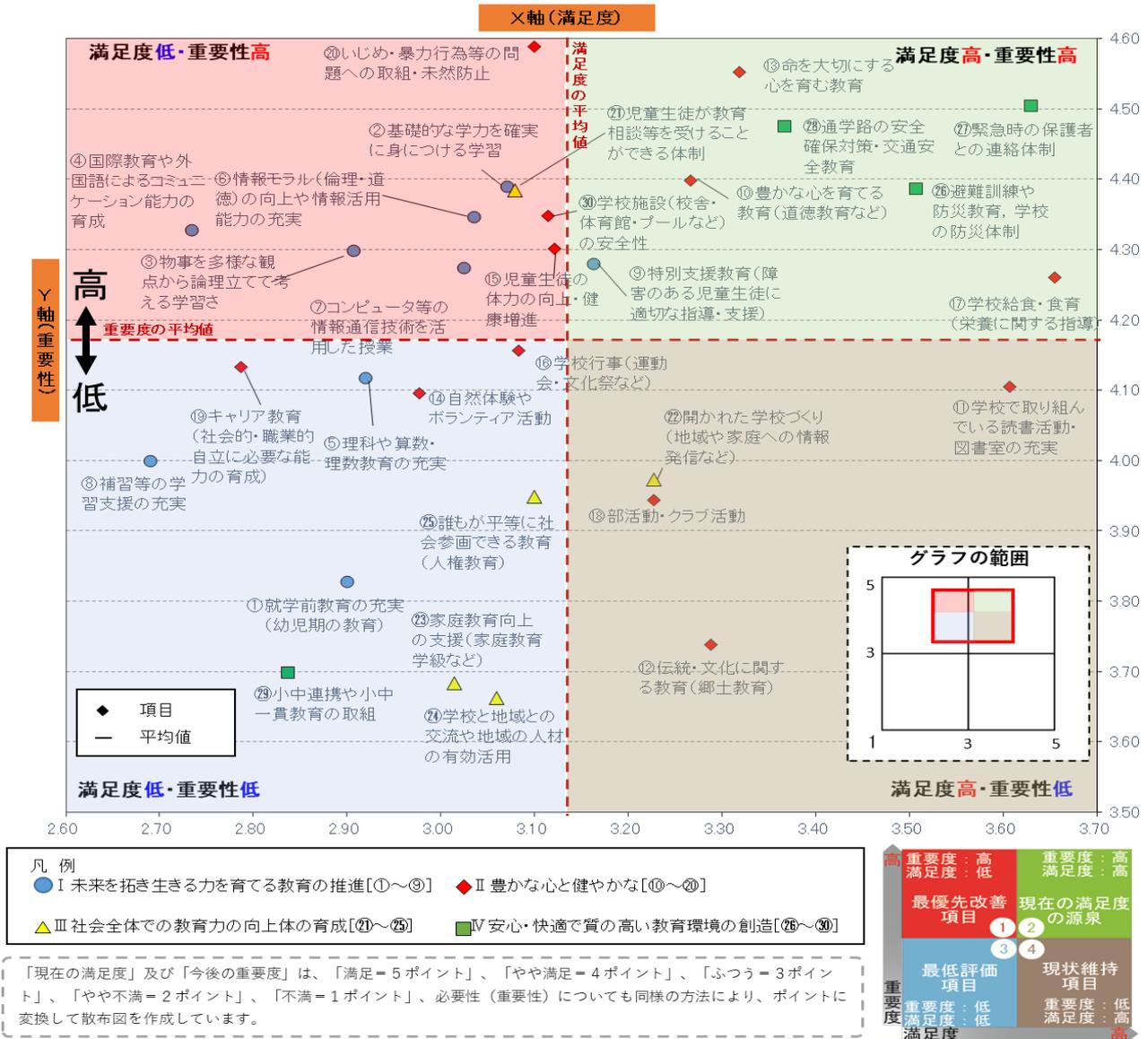
小学生と中学生の保護者の結果をみると同様の傾向となっていることが伺える。



「現在の満足度」及び「今後の重要度」は、「満足 = 5ポイント」、「やや満足 = 4ポイント」、「ふつう = 3ポイント」、「やや不満 = 2ポイント」、「不満 = 1ポイント」、必要性(重要性)についても同様の方法により、ポイントに変換して散布図を作成しています。

● 満足度 平均値 3.13  
■ 重要性 平均値 4.17

□CS分析(満足度と重要性の散布図)



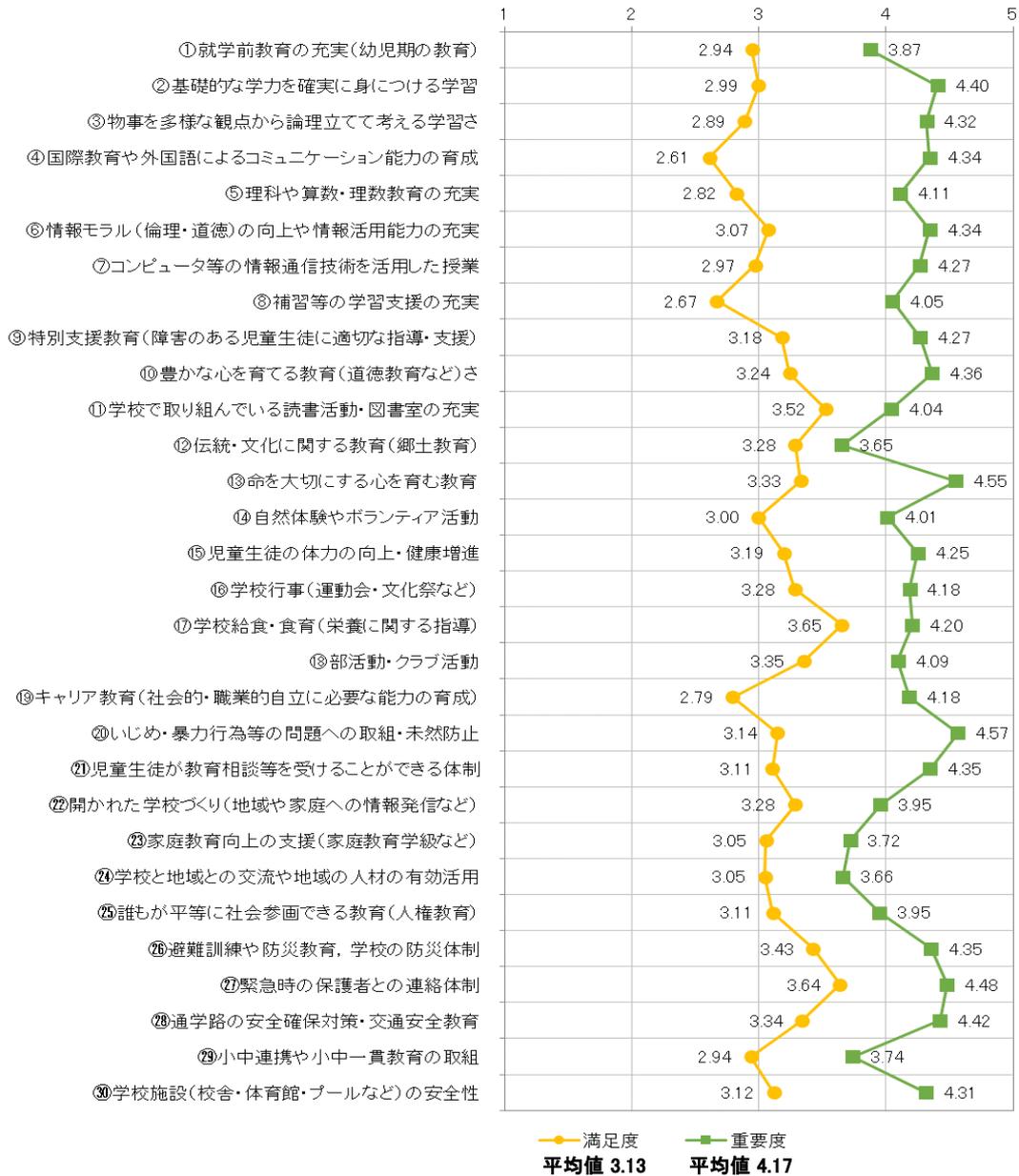
□小学校5年生の保護者の満足度と重要性

小学生の保護者



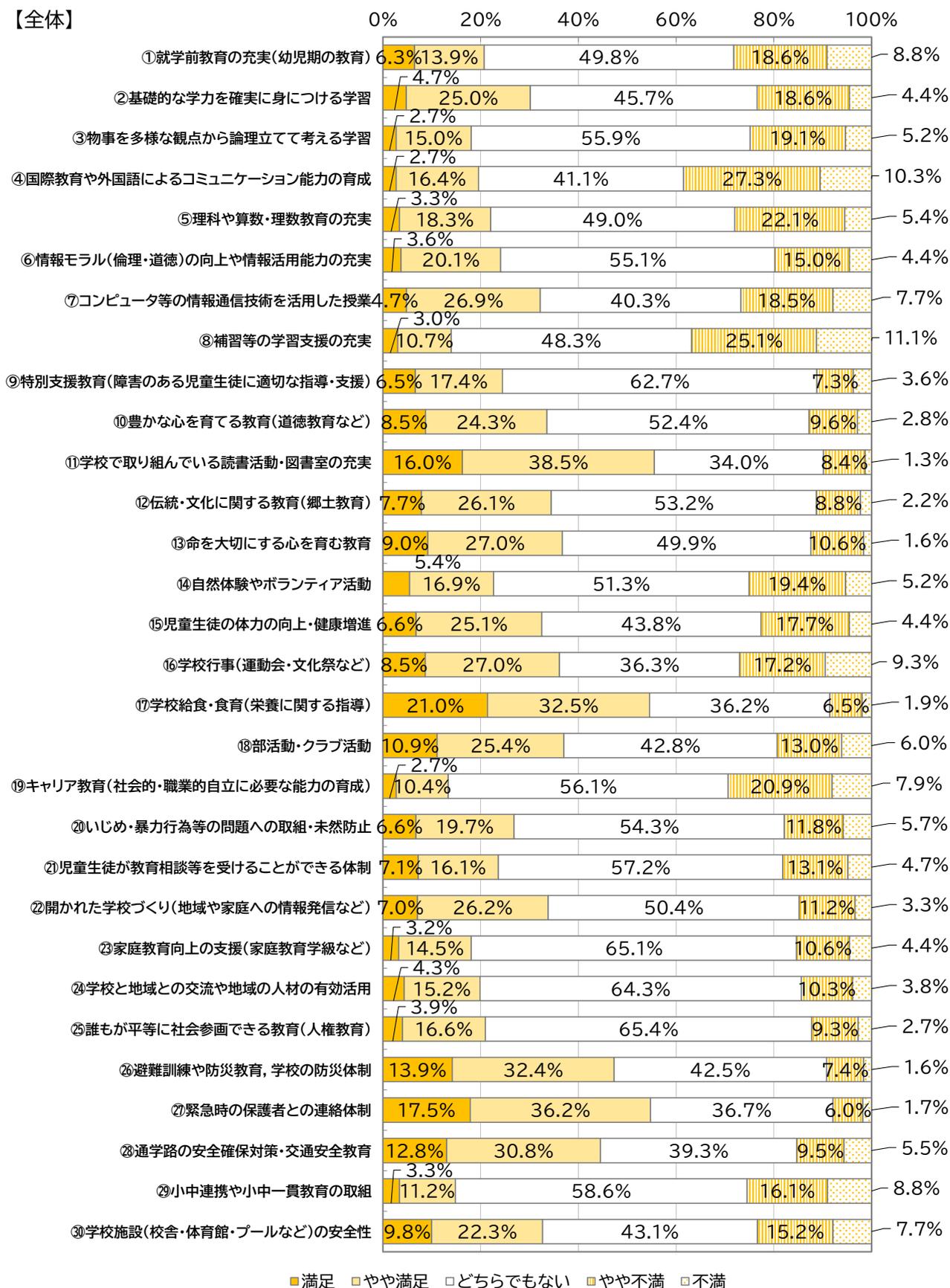
□中学校2年生の保護者の満足度と重要性

中学生の保護者



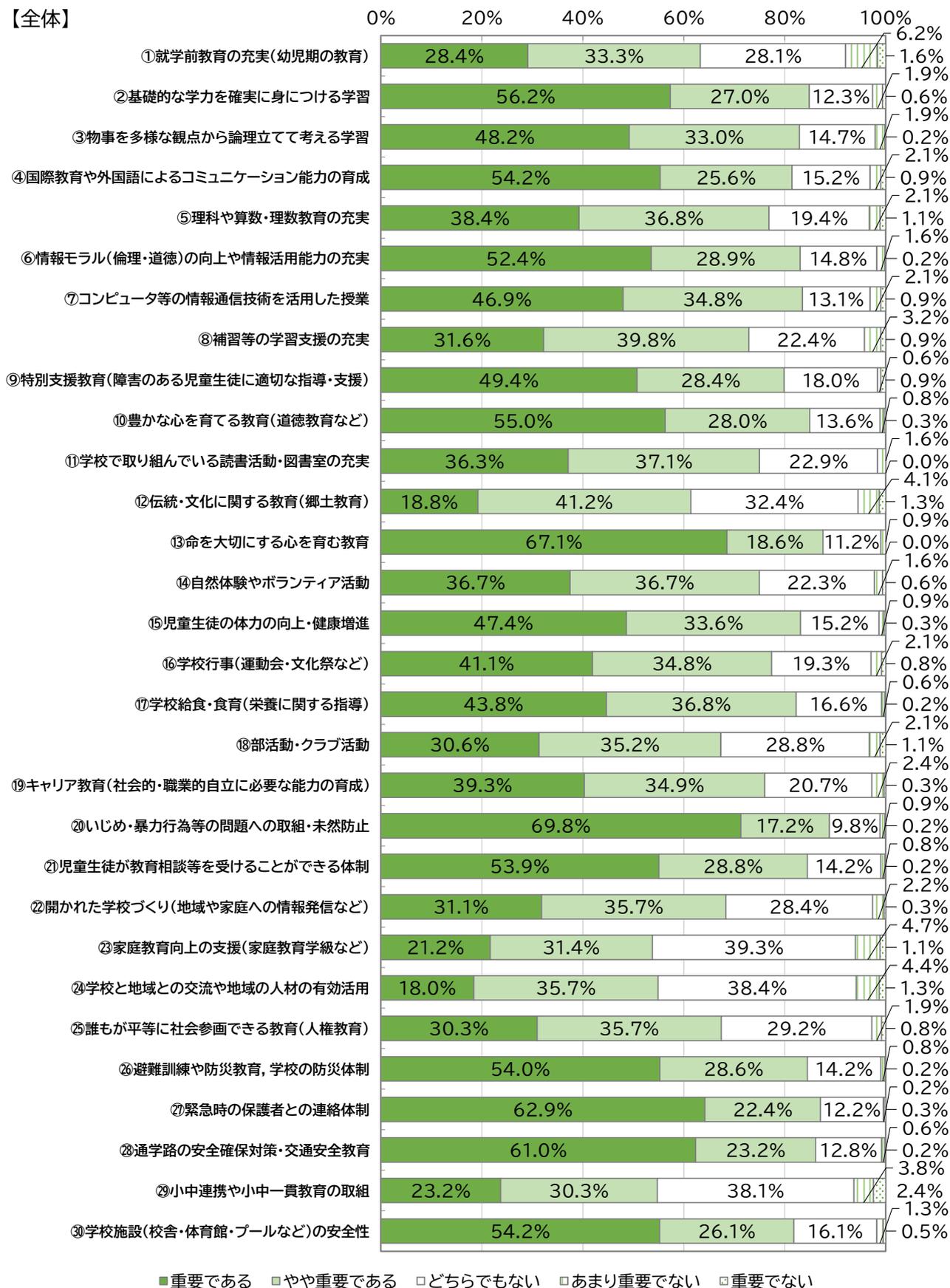
□学校教育で取り組んでいる項目の満足度(全体)

【全体】



□学校教育で取り組んでいる項目の重要度(全体)

【全体】

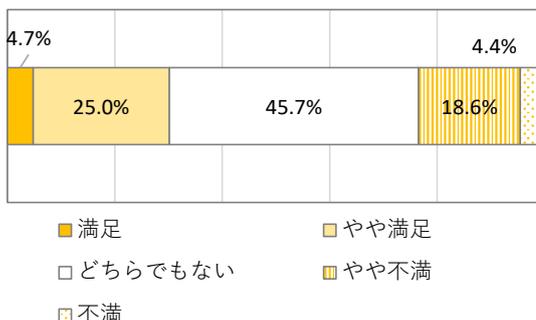


□前回調査結果との比較(満足度)

②基礎的な学力を確実に身につける学習

		票数	%	前回
1	満足	30	4.7%	7.3%
2	やや満足	158	25.0%	15.8%
3	どちらでもない	289	45.7%	50.4%
4	やや不満	118	18.6%	12.0%
5	不満	28	4.4%	8.2%
	無回答・無効	10	1.6%	2.1%
	合計	633	100.0%	100.0%

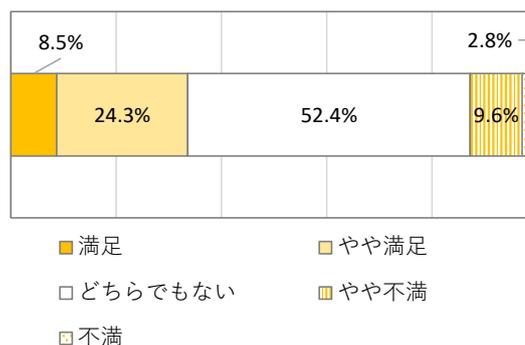
n = 633



⑩豊かな心を育てる教育(道徳教育など)

		票数	%	前回
1	満足	54	8.5%	10.2%
2	やや満足	154	24.3%	19.2%
3	どちらでもない	332	52.4%	53.8%
4	やや不満	61	9.6%	7.2%
5	不満	18	2.8%	3.0%
	無回答・無効	14	2.2%	1.9%
	合計	633	100.0%	100.0%

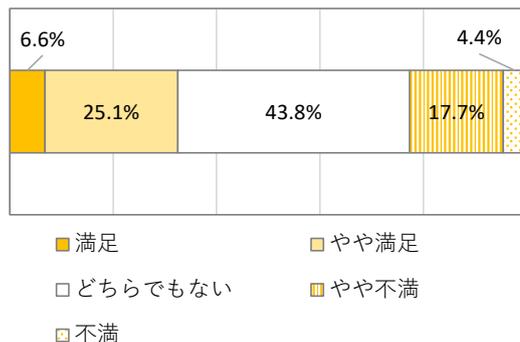
n = 633



⑮児童生徒の体力の向上・健康増進

		票数	%	前回
1	満足	42	6.6%	14.0%
2	やや満足	159	25.1%	23.1%
3	どちらでもない	277	43.8%	50.9%
4	やや不満	112	17.7%	5.1%
5	不満	28	4.4%	1.6%
	無回答・無効	15	2.4%	2.0%
	合計	633	100.0%	100.0%

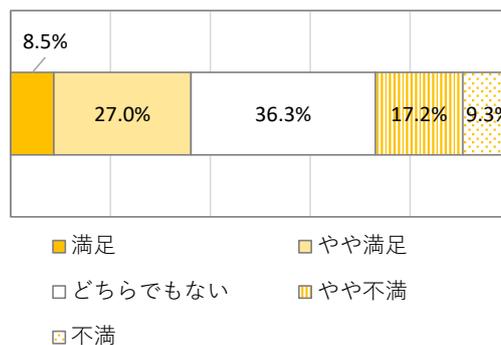
n = 633



⑯学校行事(運動会・文化祭など)

		票数	%	前回
1	満足	54	8.5%	20.3%
2	やや満足	171	27.0%	25.7%
3	どちらでもない	230	36.3%	44.3%
4	やや不満	109	17.2%	4.6%
5	不満	59	9.3%	1.2%
	無回答・無効	10	1.6%	1.9%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633



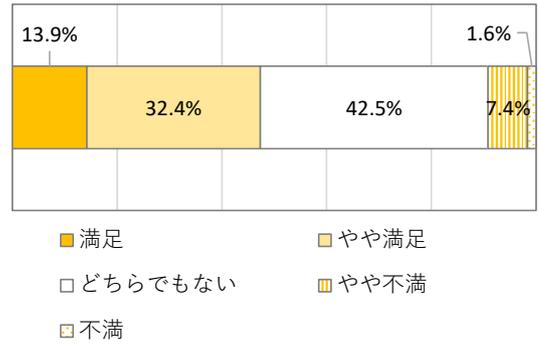


⑳避難訓練や防災教育, 学校の防災体制

		票数	%	前回
1	満足	88	13.9%	15.9%
2	やや満足	205	32.4%	21.9%
3	どちらでもない	269	42.5%	44.9%
4	やや不満	47	7.4%	9.4%
5	不満	10	1.6%	3.0%
	無回答・無効	14	2.2%	1.8%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633

参考値: 前回「防犯・防災・交通安全などの安全管理」

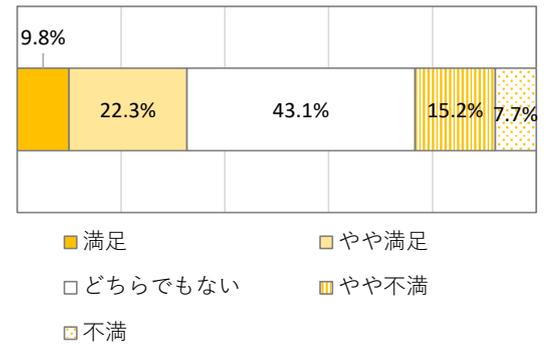


㉑学校施設(校舎・体育館・プールなど)の安全性

		票数	%	前回
1	満足	62	9.8%	12.9%
2	やや満足	141	22.3%	17.7%
3	どちらでもない	273	43.1%	45.4%
4	やや不満	96	15.2%	12.5%
5	不満	49	7.7%	7.8%
	無回答・無効	12	1.9%	1.9%
	合計	633	100.0%	100.0%

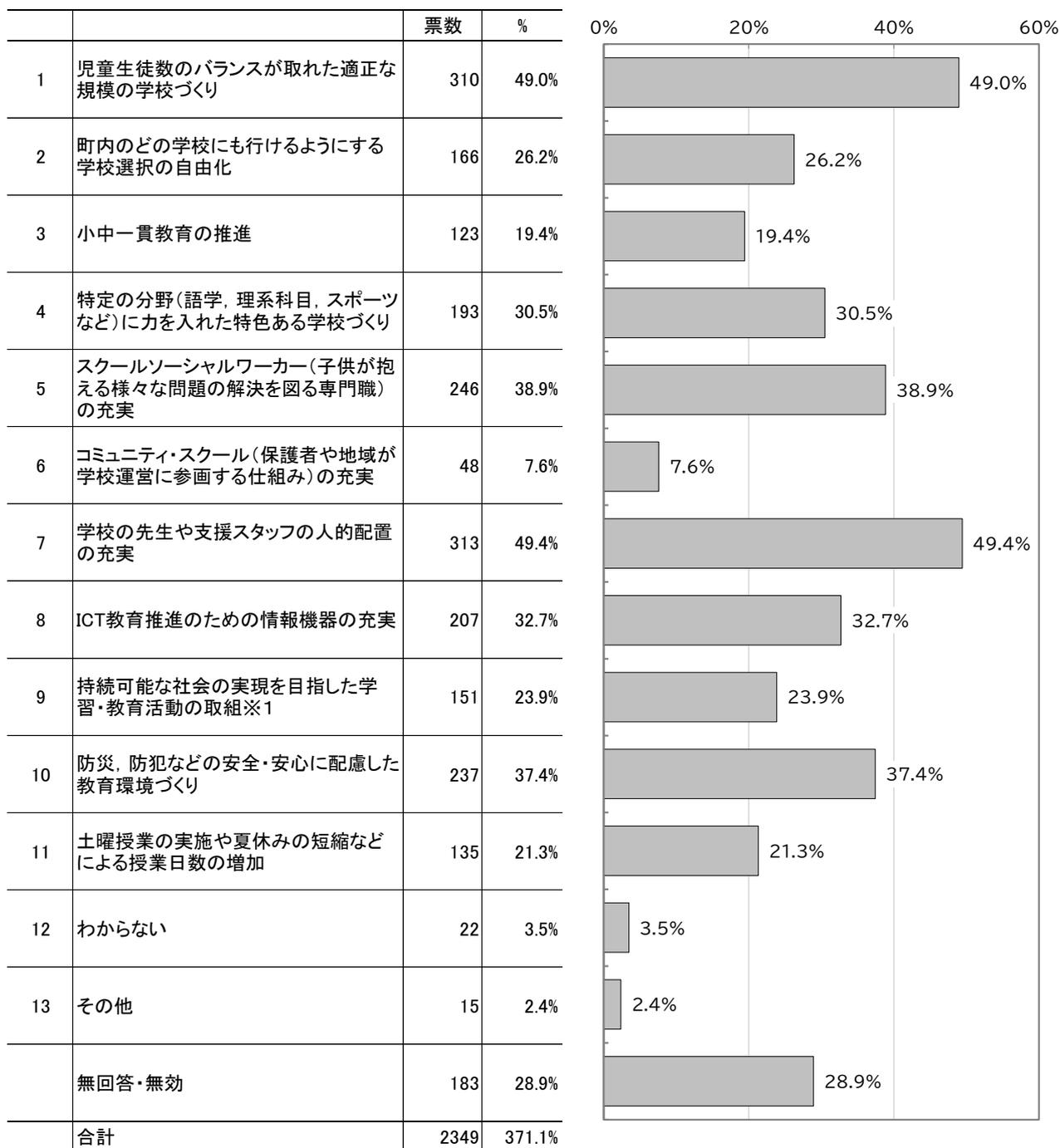
n = 633

参考値: 前回「学校施設(設備, 広さ, 使いやすさ)」



**問16 将来的な子供の減少などによる今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。[MA]**

将来的な子供の減少などによる今後の教育環境の変化に対応していくため、取り組むべきことについては、「学校の先生や支援スタッフの人的配置の充実」が49.4%で最も多く、次いで「児童生徒数のバランスが取れた適正な規模の学校づくり」が49.0%、「スクールソーシャルワーカー(子供が抱える様々な問題の解決を図る専門職)の充実」が38.9%となっている。



n = 633

**【クロス集計から】**

今後の教育環境の変化に対応していくために必要な取組について、「土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加」や「特定の分野(語学, 理系科目, スポーツなど)に力を入れた特色ある学校づくり」などは、「30歳代」や「40歳代」の若い世代ほど高い傾向にある。  
一方、「ICT教育推進のための情報機器の充実」や「学校の先生や支援スタッフの人的配置の充実」などは、「50歳代」や「60歳代」などの高齢世代ほど若干高い傾向が見える。

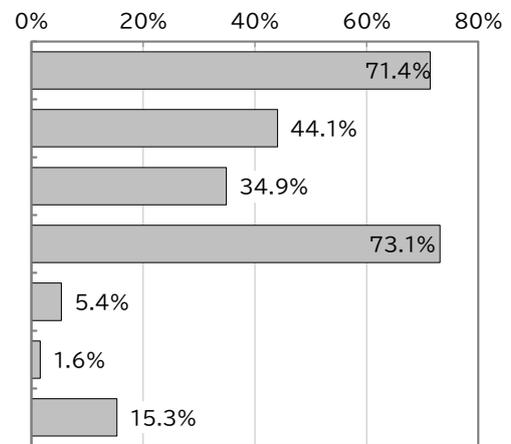
## 6 地域活動との関わりについて

### 問17 あなたは普段、地域の子供たちとどのように接していますか。[MA]

地域の子供たちとの接し方については、「困っているような時は声をかける」が73.1%で最も多く、次いで「道で会ったら、挨拶を交わす」が71.4%、「危ない時、悪いことをした時は注意する」が44.1%となっている。

		票数	%	前回
1	道で会ったら、挨拶を交わす	452	71.4%	83.3%
2	危ない時、悪いことをした時は注意する	279	44.1%	51.3%
3	いじめられていると判断したら助ける	221	34.9%	30.2%
4	困っているような時は声をかける	463	73.1%	65.1%
5	特になし	34	5.4%	5.4%
6	その他	10	1.6%	0.5%
	無回答・無効	97	15.3%	1.3%
	合計	1556	245.8%	237.1%

n = 633



#### 【前回との比較から】

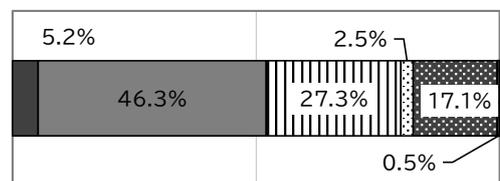
「道で会ったら、挨拶を交わす」や「危ない時、悪いことをした時は注意する」が前回と比較して減少しており、一方で「困っているような時は声をかける」や「いじめられていると判断したら助ける」は増加している。

### 問18 あなたのお住まいの地域では、地域と家庭、学校の連携・協力体制が整っていると思いますか。[SA]

回答者の地域における地域と家庭、学校の連携・協力体制については、「整っていると思う」が46.3%で最も多く、次いで「あまり整っていないとは思えない」が27.3%、「わからない」が17.1%となっている。

		票数	%	前回
1	よく整っていると思う	33	5.2%	3.7%
2	整っていると思う	293	46.3%	50.9%
3	あまり整っていないとは思えない	173	27.3%	26.7%
4	まったく整っていないとは思えない	16	2.5%	2.2%
5	わからない	108	17.1%	14.8%
6	その他	3	0.5%	0.1%
	無回答・無効	7	1.1%	1.6%
	合計	633	100.0%	100.0%

n = 633



- よく整っていると思う
- 整っていると思う
- あまり整っていないとは思えない
- まったく整っていないとは思えない
- わからない
- その他

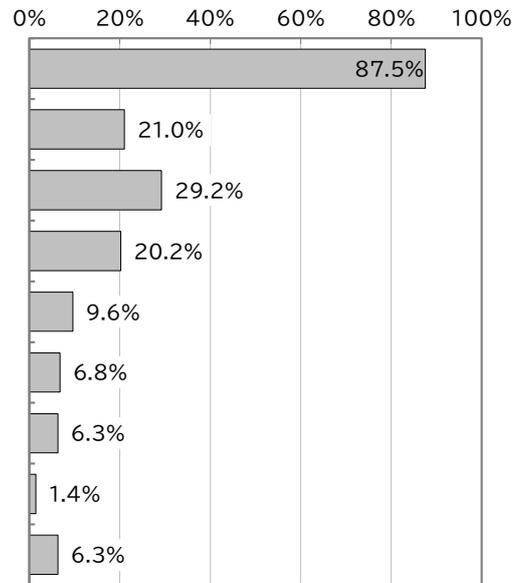
#### 【前回との比較から】

「よく整っていると思う」と「整っていると思う」の合計では、前回と比べて若干減少している。

**問19 地域における子育ての観点から、あなたは地域で何に力を入れることが重要だと思いますか。[MA]**

地域における子育ての観点から、何に地域で力を入れることが重要かについては、「子供の安全を確保すること(防犯・交通安全など)」が87.5%で最も多く、次いで「文化活動・スポーツ活動(クラブスポーツ、体験学習など)」が29.2%、「地域の伝統文化を継承すること(お祭りや行事など)」が21.0%となっている。

		票数	%	前回
1	子供の安全を確保すること(防犯・交通安全など)	554	87.5%	86.1%
2	地域の伝統文化を継承すること(お祭りや行事など)	133	21.0%	23.3%
3	文化活動・スポーツ活動(クラブスポーツ、体験学習など)	185	29.2%	24.4%
4	多様な世代の地域交流(地域交流イベント)	128	20.2%	20.5%
5	学校行事への地域住民の参加促進	61	9.6%	12.7%
6	地域活動への保護者の参加促進	43	6.8%	10.7%
7	特になし	40	6.3%	-
8	その他	9	1.4%	2.3%
	無回答・無効	40	6.3%	3.0%
	合計	1193	188.5%	183.0%



n = 633

**【前回との比較から】**

前回から「文化活動・スポーツ活動(クラブスポーツ、体験学習など)」が4.8ポイント増加し、「地域活動への保護者の参加促進」は3.9ポイント減少している。

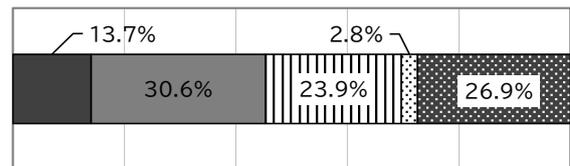
**【クロス集計から】**

「文化活動・スポーツ活動(クラブスポーツ、体験学習など)」や「学校行事への地域住民の参加促進」が「50歳代」や「60歳代」で高い傾向にある。

**問20 貧困、紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇など、人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。日常生活において学習を重ねることは、様々な活動と結びついて、「持続可能な開発目標(SDGs)」の掲げる目標「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現」へとつながっています。あなたは世界共通目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」についてどの程度知っていますか。[SA]**

SDGsをどの程度知っているかについては、「内容は知っている」が30.6%で最も多く、次いで「知らない」が26.9%、「SDGsという言葉聞いたことがある」が23.9%となっている。

		票数	%
1	既に自分ができることに取り組んでいる	87	13.7%
2	内容は知っている	194	30.6%
3	SDGsという言葉聞いたことがある	151	23.9%
4	ロゴやアイコンを見たことがある	18	2.8%
5	知らない	170	26.9%
	無回答・無効	13	2.1%
	合計	633	100.0%



- 既に自分ができることに取り組んでいる
- 内容は知っている
- SDGsという言葉聞いたことがある
- ロゴやアイコンを見たことがある
- 知らない

n = 633

**【クロス集計から】**

「持続可能な開発目標(SDGs)」について「既に自分ができることに取り組んでいる」が「30歳代(7.8%)」や「40歳代(14.8%)」「50歳代(21.3%)」や「60歳代(37.5%)」と年代が高いほど取り組んでいる割合が高く、年代が若いほど「知らない」の割合が高い傾向にある。

小学校5年生・中学校2年生のおさまがいる  
保護者の皆さま

## 「第2次阿見町教育振興基本計画」策定に係るアンケート調査

### — アンケート調査ご協力をお願い —



日頃より、町政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在阿見町では、令和3年度、令和4年度の2か年にかけて、本町の教育振興のために必要な施策を総合的かつ計画的に推進する「第2次阿見町教育振興基本計画」の策定に取り組んでおります。

計画の策定にあたって、町内小・中学校の児童生徒の保護者を対象にアンケート調査を実施し、日頃のご家庭での教育についてのお考えや、おさまの学校生活など、阿見町の教育の現状を調査・分析し、計画策定の基礎資料とさせていただきたいと考えております。

なお、調査票は無記名でご回答いただき、調査結果については統計的に処理致しますので、回答された方の個人が特定されることはありません。

ご多忙中の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年11月 阿見町教育委員会

#### <調査票のご記入にあたってのお願い>

- 1 本アンケート調査は、小学校5年生と中学校2年生のすべての児童生徒に配布しています。兄弟姉妹等の関係でお手元に調査票が複数届く場合がありますが、ご回答は1回で構いません。その場合は、ご回答者ご本人の生まれ月が偶数の場合は小学校5年生、奇数の場合は中学校2年生のおさまについてご回答ください。
- 2 本アンケート調査は、紙の調査票（同封）での回答とインターネット回答が可能です。インターネット回答をご希望の方は下記 URL または、右の QR コードからアクセスし、**11月10日（水）**までにご回答をお願いします。  
アクセス用 URL : [https://enquete.cc/q/Ami\\_kyoiku](https://enquete.cc/q/Ami_kyoiku)
- 3 インターネットでご回答いただける場合は、紙の調査票の提出は不要です。



アクセス QRコード

#### 以下、紙の調査票でご回答いただける場合

- お答えは、あてはまる回答番号に○をつけてください。記入欄には具体的に内容をご記入ください。
- ご記入いただいた紙の調査票は、**11月10日（水）**までに本調査用紙が入っていた封筒に入れ、封を閉じて学校にご提出ください。回答期限後に未開封のまま回収し、集計委託業者へ引き渡します。
- この調査に関して、ご不明な点やご質問などございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先：阿見町教育委員会学校教育課 担当：飯塚・大澤  
電話：029-888-1111（内線321）

## 1 ご自身について

問1 あなたは、お子さまからみて、どの続柄にあたりますか。

- 1 父                                      2 母                                      3 その他（                                      ）

問2 あなたの年齢をお答えください。

- 1 20歳代                                      2 30歳代                                      3 40歳代  
4 50歳代                                      5 60歳以上

問3 あなたのお子さまの学年をお答えください。

※両学年のお子さまがいるご家庭は、保護者（回答者ご本人）の生まれ月が偶数の場合は小学校5年生、奇数の場合は中学校2年生のお子さまについてご回答ください。

- 1 小学校5年生                                      2 中学校2年生

## 2 新型コロナウイルス禍におけるお子さまの生活や学習等への影響について

問4 新型コロナウイルス禍において、お子さまの生活や学習、遊びはどのように変わりましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 外出する機会が大きく減った（買物・外食・旅行など）  
2 休校になった時に家庭での学習がうまく進まなかった  
3 友達と遊ぶ機会が減った  
4 スポーツ少年団や部活動など運動する機会が減った  
5 学習塾や習い事へ行けなくなった  
6 それほど大きな変化はない  
7 その他（                                      ）

問5 新型コロナウイルス感染症の拡大によって社会経済情勢の先行きも見通せない状況が続いていますが、現在あなたが、お子さまの生活や学習でお困りのことや不安に思っていることがあれば教えてください。

### 3 お子さまのご家庭での生活について

問6 あなたがお子さまのご家庭での生活で特に気をつけていることは何ですか。(○は3つ以内)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1 規則正しい生活（早寝・早起き、食事など） | 2 テレビ・ゲームの時間のルール化 |
| 3 家庭学習の習慣化             | 4 子供の悩みなどを丁寧に聞く   |
| 5 マナー・ルールを守る           | 6 言葉づかいや行儀の指導     |
| 7 お金の貸し借り、物の貸し借りのはじめ   | 8 約束を守る           |
| 9 特に気をつけてはいない          |                   |
| 10 その他（                | ）                 |

問7 あなたは、お子さまがスマートフォン・携帯電話、タブレット等の通信端末を利用することについてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 家族・友達と連絡を取るには必要           | 2 外出時の防犯対策のために必要     |
| 3 調べ物など勉強にも利用できて便利          | 4 できることなら持たせたくない     |
| 5 ゲームばかりやっているので困る           | 6 ネットトラブルに巻き込まれないか不安 |
| 7 ネット閲覧に制限をかけるなどの対策は必要      |                      |
| 8 小・中学校で統一した夜間の使用禁止などの制限が必要 |                      |
| 9 家庭では通信端末を利用させていない         |                      |
| 10 その他（                     | ）                    |

問8 あなたは、お子さまの教育や学校生活について特に気になることがありますか。  
(○は3つ以内)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1 学校の成績        | 2 子供の健康            |
| 3 しつけの仕方       | 4 子供とのコミュニケーションの仕方 |
| 5 子供の進学        | 6 子供の友人関係          |
| 7 部活や習い事と勉強の両立 | 8 特に気になることはない      |
| 9 その他（         | ）                  |

問9 あなたが教育について不安を感じた時、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| 1 家族                     | 2 親戚       |
| 3 友人                     | 4 学校の先生    |
| 5 スクールカウンセラー             | 6 相談機関の相談員 |
| 7 相談したいが、周りに相談できる相手がいない  |            |
| 8 特に不安はないため、誰かに相談することはない |            |
| 9 その他（                   | ）          |

#### 4 お子さまの学校生活について

問 10 あなたのお子さまは学校に通うのが楽しそうに見えますか。(〇は1つ)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 とても楽しそう | 2 どちらかという楽しそう |
| 3 普通      | 4 あまり楽しくなさそう  |
| 5 楽しくなさそう | 6 その他 ( )     |

問 11 あなたのお子さまは学校の授業をどの程度理解していると思いますか。(〇は1つ)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 よく理解していると思う    | 2 まあまあ理解していると思う   |
| 3 あまり理解できていないと思う | 4 ほとんど理解できていないと思う |
| 5 その他 ( )        |                   |

問 12 あなたのお子さまは、学校の宿題や予習・復習をきちんとやっていますか。

①～③の項目についてあなたのお考えに一番近い番号に〇をつけてください。  
(〇は①～③についてそれぞれ1つずつ)

	いじめる	ときどきする	あまりしない	ほとんどしない	わからない
①宿題	1	2	3	4	5
②予習・復習	1	2	3	4	5
③学校以外の学習(塾・検定試験の学習等)	1	2	3	4	5

問 13 あなたのお子さまの通っている学校での指導についてどのように感じますか。

①～⑨の項目についてあなたのお考えに一番近い番号に〇をつけてください。  
(〇は①～⑨についてそれぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらかという ところ思う	どちらかという ところ思わない	そう思わない	わからない
①熱心に指導をしている	1	2	3	4	5
②授業内容の工夫により、基礎学力が向上している	1	2	3	4	5
③児童生徒、一人一人に合った学習・指導をしている	1	2	3	4	5
④正しい情報の活用方法が身につくような指導をしている	1	2	3	4	5
⑤いつでも子供が悩みを相談できる体制が整っている	1	2	3	4	5
⑥先生が、子供との信頼関係を築こうとしている	1	2	3	4	5
⑦先生と保護者のコミュニケーションを大切にしている	1	2	3	4	5
⑧学校から保護者への情報や説明が充実している	1	2	3	4	5
⑨学校が組織的に対応し、問題の解決にあたっている	1	2	3	4	5

## 5 学校教育について

問 14 学校では児童生徒一人に一台のタブレット端末を配付して授業で活用しています。  
あなたは学校授業でお子さまがこのような通信端末を活用・利用することについてどう考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 児童生徒の情報活用能力を向上させるために、授業で積極的に活用してほしい
- 2 インターネット環境, ICT などの使用ルール, 道徳等の情報モラル教育をしっかりとしてほしい
- 3 端末を家に持ち帰り, 宿題など家庭学習にも活用できるようにしてほしい
- 4 授業でどのような活用をするのかを保護者にも説明してほしい
- 5 特に意見はない
- 6 その他 ( )

問 15 阿見町の学校教育で取り組んでいる①～⑩の項目についての「満足度」と「重要性」についてあなたのお考えに一番近い番号にそれぞれ○をつけてください。

※設問数がたいへん多くなっており、回答に時間が掛かりますが、ご協力よろしくお願ひいたします。

評価「1」不満・重要でない 「2」やや不満・あまり重要でない 「3」どちらでもない 「4」やや満足・やや重要である 「5」満足・重要である		問 15-1 学校教育の取組 《満足度》					問 15-2 学校教育の取組 《重要性》				
		低	←	→	高	低	←	→	高		
I 未来を拓き生きる力を育てる教育の推進	回答例) 基礎的な学力を確実に身につける学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	①就学前教育の充実(幼児期の教育)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②基礎的な学力を確実に身につける学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③物事を多様な観点から論理立てて考える学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④国際教育や外国語によるコミュニケーション能力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤理科や算数・理数教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥情報モラル(倫理・道徳)の向上や情報活用能力の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑧補習等の学習支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑨特別支援教育(障害のある児童生徒に適切な指導・支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《次ページに続く》

《前ページからの続き》

評価「1」不満・重要でない 「2」やや不満・あまり重要でない 「3」どちらでもない 「4」やや満足・やや重要である 「5」満足・重要である		問 15-1 学校教育の取組 《満足度》					問 15-2 学校教育の取組 《重要性》				
		低い ←     → 高い					低い ←     → 高い				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	⑩豊かな心を育てる教育（道徳教育など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑪学校で取り組んでいる読書活動・図書室の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑫伝統・文化に関する教育（郷土教育）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑬命を大切にする心を育む教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑭自然体験やボランティア活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑮児童生徒の体力の向上・健康増進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑯学校行事（運動会・文化祭など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑰学校給食・食育（栄養に関する指導）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑱部活動・クラブ活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑲キャリア教育（社会的・職業的自立に必要な能力の育成）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑳いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉑児童生徒が教育相談等を受けられることができる体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
Ⅲ 社会全体での 教育力の向上	㉒開かれた学校づくり（地域や家庭への情報発信など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉓家庭教育向上の支援（家庭教育学級など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉔学校と地域との交流や地域の人材の有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉕誰もが平等に社会参画できる教育（人権教育）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅳ 高い教育環境の 創造	㉖避難訓練や防災教育，学校の防災体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉗緊急時の保護者との連絡体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉘通学路の安全確保対策・交通安全教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉙小中連携や小中一貫教育の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉚学校施設（校舎・体育館・プールなど）の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

**問 16 将来的な子供の減少などによる今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**

- 1 児童生徒数のバランスが取れた適正な規模の学校づくり
- 2 町内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化
- 3 小中一貫教育の推進
- 4 特定の分野（語学，理系科目，スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり
- 5 スクールソーシャルワーカー（子供が抱える様々な問題の解決を図る専門職）の充実
- 6 コミュニティ・スクール（保護者や地域が学校運営に参画する仕組み）の充実
- 7 学校の先生や支援スタッフの人的配置の充実
- 8 ICT 教育推進のための情報機器の充実
- 9 持続可能な社会の実現を目指した学習・教育活動の取組<sup>※1</sup>
- 10 防災，防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり
- 11 土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加
- 12 わからない
- 13 その他（ )

※1:持続可能な開発のための教育 ESD(Education for Sustainable Development)は，地球環境問題等を自らの問題として主体的に捉え，身近なところから取り組む学習・教育活動のことです。

## **6 地域活動との係わりについて**

**問 17 あなたは普段、地域の子供たちとどのように接していますか。  
（あてはまるものすべてに○）**

- 1 道で会ったら，挨拶を交わす
- 2 危ない時，悪いことをした時は注意する
- 3 いじめられていると判断したら助ける
- 4 困っているような時は声をかける
- 5 特になし
- 6 その他（ )

**問 18 あなたのお住まいの地域では，地域と家庭，学校の連携・協力体制が整っていると思いますか。（○は1つ）**

- 1 よく整っていると思う
- 2 整っていると思う
- 3 あまり整っているとは思えない
- 4 まったく整っているとは思えない
- 5 わからない
- 6 その他（ )

問 19 地域における子育ての観点から、あなたは地域で何に力を入れることが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子供の安全を確保すること(防犯・交通安全など)
- 2 地域の伝統文化を継承すること(お祭りや行事など)
- 3 文化活動・スポーツ活動(クラブスポーツ、体験学習など)
- 4 多様な世代の地域交流(地域交流イベント)
- 5 学校行事への地域住民の参加促進
- 6 地域活動への保護者の参加促進
- 7 特にない
- 8 その他( )

## 7 持続可能な開発目標(SDGs)※<sup>1</sup>について

問 20 貧困、紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇など、人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。日常生活において学習を重ねることは、様々な活動と結びついて、「持続可能な開発目標(SDGs)」の掲げる目標「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現」へとつながっています。

あなたは世界共通目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

- 1 既に自分ができることに取り組んでいる
- 2 内容は知っている
- 3 SDGsという言葉聞いたことがある
- 4 ロゴやアイコンを見たことがある
- 5 知らない



目標4「質の高い教育をみんなに」アイコン

※1:SDGs(Sustainable Development Goals)は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す世界共通の大きな目標です。17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

目標4には「質の高い教育をみんなに」と設定されており、世界中の人たちが、生まれた国や地域・家庭・性別に関わらず、効果的な教育を平等に受けることができる機会を提供しようという目標です。

最後に、阿見町の教育についてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

アンケート票は封筒に入れ封をして、11月10日(水)までにお子さまを通して担任の先生に渡してください。アンケート票や封筒は無記名でお願いします。



第2次阿見町教育振興基本計画」策定に係る  
アンケート調査集計結果  
(教職員)

## ■ 「第2次阿見町教育振興基本計画」策定に係るアンケート調査(教職員)集計結果 ■

### 1. 調査の目的

本調査は、町内小・中学校の教職員を対象とし、令和4年度から新しく策定する「第2次阿見町教育振興基本計画」のため、保護者の教育振興に関する意識や意見・要望等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2. 調査方法

#### (1) 調査対象者

- ・ 町内の小中学校の教職員(243名)  
※町内の小学校(160名)／中学校(83名)

#### (2) 調査方法

- ・ 学校で調査票を配布・回収(紙の調査票での回答とインターネット回答により実施)  
※紙の調査票にアクセス用のURL(QRコード)を記載して実施

#### (3) 調査期間

- ・ 令和3年11月5日(金)～令和3年11月10日(水)  
※前回調査結果(平成23年7月調査結果)

### 3. 配布・回収状況

- ・ 配付数: 243票
- ・ 回収数: 228票(紙:185票, WEB:43票)
- ・ 有効回収数: 226票 ※有効回答数:白紙で提出された方を除く回収数
- ・ 有効回収率: 93.0%

### 4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ 集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっている。したがって、シングル・アンサー(SA)(1つの選択肢のみを回答する設問)の合計は、100.0%とならない場合がある。
- ・ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、マルチ・アンサー(MA)(複数の選択肢を回答する設問)の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となる。
- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合がある。
- ・ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合がある。

※ 有効回答者数は各設問に(n=226)で表してあります。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票はカウントしていない。

## 5. アンケート調査項目

問番号	調査内容	回答形式
	1 ご自身について	
問1	性別(自認する性)	単一回答
問2	勤務先	単一回答
問3-①	教員の経験年数	単一回答
問3-②	阿見町での教員の経験年数	単一回答
	2 児童生徒の様子, 教育全般について	
問4	児童生徒が学校に通うことを楽しいと感じていると思うか	単一回答
問5	児童生徒が確かな学力や生きる力を身につけていくために, 最も重要だと思うこと	単一回答
問6	児童生徒の道徳心の定着や健やかな体や心の育成として, 身につけさせたい力で最も重要だと思うこと	単一回答
問7-1	阿見町の学校教育で取り組んでいる①~⑩の項目についての「満足度」について	単一回答
問7-2	阿見町の学校教育で取り組んでいる①~⑩の項目についての「重要性」について	単一回答
問8	教育施策の効果についてどのように感じているか	単一回答
問9	ICT環境整備と併せて検討すべき内容について	複数回答
問10	今後の教育環境の変化に対応していくために必要な取組について	複数回答
	3 学校組織・勤務環境について	
問11	職務上の悩みを誰に相談するか	複数回答
問12	ご自身の職務について忙しいと感じているか	単一回答
問13	忙しいと感じる原因は何か	複数回答
問14	職務の忙しさを改善するために取り組んでいること	自由記述
問15	児童生徒の生徒指導をする上で, 課題は何か	複数回答
問16	児童生徒の学習指導をする上で, 課題は何か	複数回答
	4 教員の資質向上について	
問17	教師として特に必要な能力は何か	複数回答
問18-1	教職員の資質向上のために必要な研修についてどのように感じているか	単一回答
問18-2	上記以外に教職員の資質向上のために必要な研修	自由記述
問19	保護者との対応で今現在悩んでいること	単一回答
	5 地域と学校の連携について	
問20	地域と家庭, 学校の連携・協力体制が整っていると思うか	単一回答
問21	学校・地域・家庭が連携協力するのに必要なこと	単一回答
	6 学校の施設, 安心・安全な環境について	
問22	学校の施設や設備等について充実や改善してほしいもの	複数回答
問23	学校の安全な教育環境づくりで, 特に力を入れてほしいもの	複数回答
問24	児童生徒が安心して学校で過ごせる環境づくりで, 特に力を入れてほしいもの	複数回答
	7 持続可能な開発目標(SDGs)について	
問25	今後, 教育の質を高めていく上で, 必要と思われること	複数回答
	自由意見	自由記述

## 6. アンケート調査結果

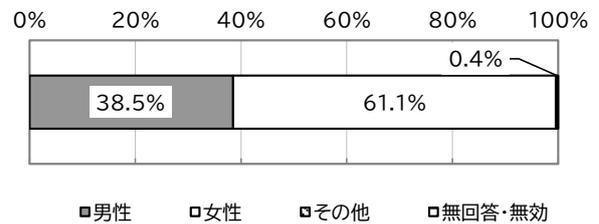
### 1 あなた自身について

#### 問1 性別(自認する性)[SA]

回答者の性別については、「女性」が61.1%で最も多く、次いで「男性」が38.5%となっている。

		票数	%
1	男性	87	38.5%
2	女性	138	61.1%
3	その他	0	0.0%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226

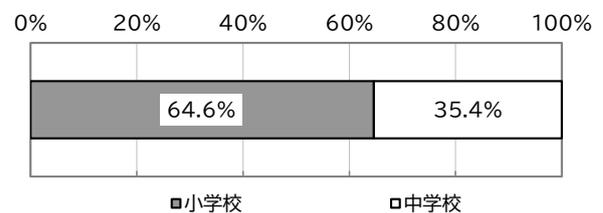


#### 問2 勤務先

回答者の勤務先については、「小学校」が64.6%で最も多く、次いで「中学校」が35.4%となっている。

		票数	%
1	小学校	146	64.6%
2	中学校	80	35.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



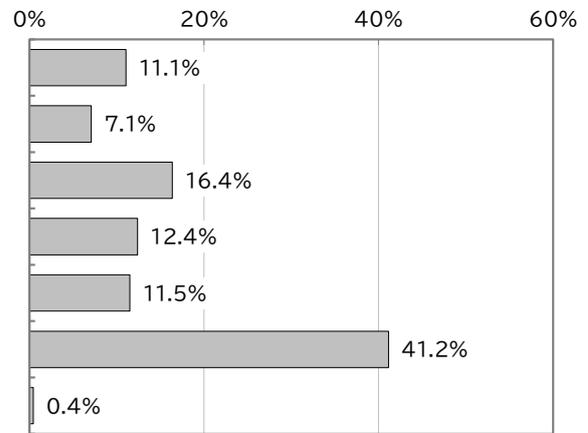
問3 ①教員の経験年数と②阿見町での教員の経験年数について、選択枠の番号(1~6)から1つ選び回答欄にそれぞれご記入ください。

回答者の教員の経験年数については、「20年以上」が41.2%で最も多く、次いで「10年未満」が16.4%となっている。阿見町での教員の経験年数については、「10年未満」が32.7%で最も多く、次いで「3年未満」が30.5%となっている。

① 教員の経験年数

		票数	%
1	3年未満	25	11.1%
2	5年未満	16	7.1%
3	10年未満	37	16.4%
4	15年未満	28	12.4%
5	20年未満	26	11.5%
6	20年以上	93	41.2%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

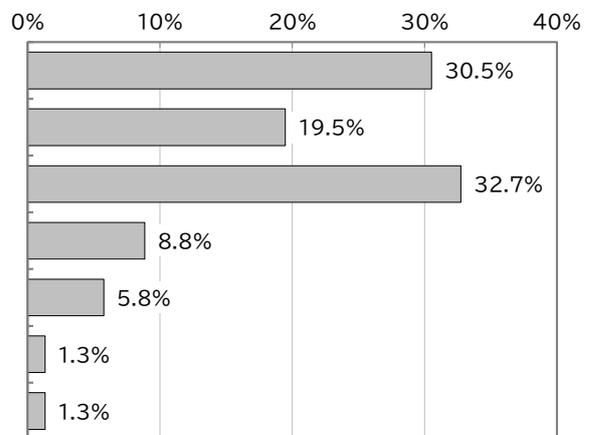
n = 226



② 阿見町での教員の経験年数

		票数	%
1	3年未満	69	30.5%
2	5年未満	44	19.5%
3	10年未満	74	32.7%
4	15年未満	20	8.8%
5	20年未満	13	5.8%
6	20年以上	3	1.3%
	無回答・無効	3	1.3%
	合計	226	100.0%

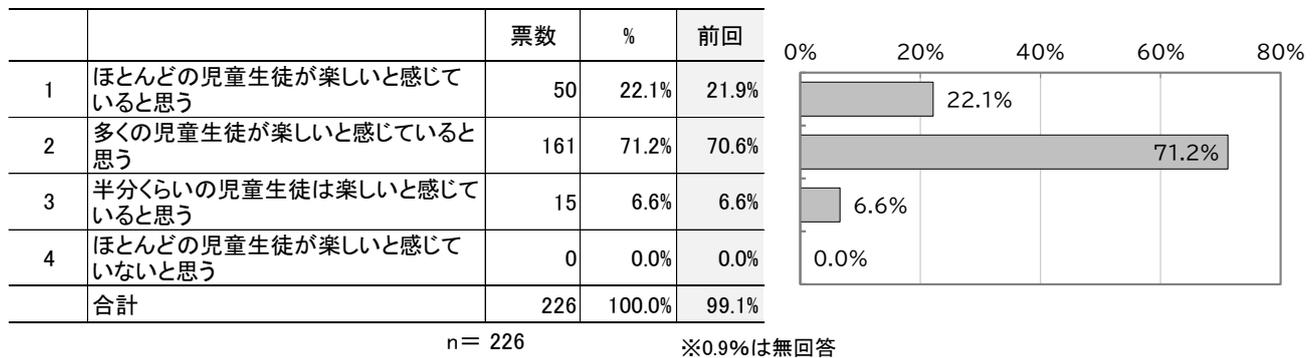
n = 226



## 2 児童生徒の様子, 教育全般について

### 問4 あなたが勤務している学校では, 児童生徒が学校に通うことを楽しいと感じていますか。[SA]

児童生徒が学校に通うことを楽しいと感じていると思うかについては、「多くの児童生徒が楽しいと感じていると思う」が71.2%で最も多く、次いで「ほとんどの児童生徒が楽しいと感じていると思う」が22.1%となっている。

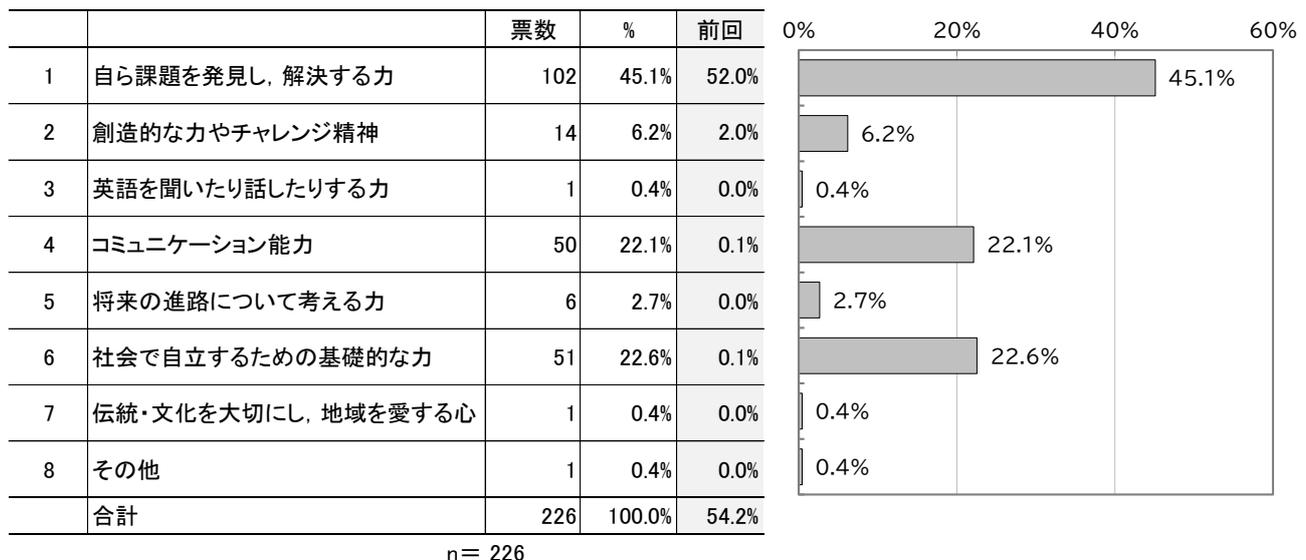


#### 【クロス集計から】

「ほとんどの児童生徒が楽しいと感じていると思う」は、小学校教職員で26.7%、中学校教職員で13.8%と小学校の教職員で高い傾向になっている。  
また、「ほとんどの児童生徒が楽しいと感じていると思う」を教員経験年数でみると、「教員経験年数20年以上(33.3%)」や「阿見町での教員の経験年数(15年未満40.0%, 20年未満38.5%, 20年以上で33.3%)」などとなり、教員の経験年数や阿見町での教員の経験年数が多いほど、高い傾向にある。

### 問5 阿見町の学校教育において, 児童生徒が確かな学力や生きる力を身につけていくために, 最も重要だと思うものはどれですか。[SA]

児童生徒が確かな学力や生きる力を身につけていくために、最も重要だと思うものについては、「自ら課題を発見し、解決する力」が45.1%で最も多く、次いで「社会で自立するための基礎的な力」が22.6%となっている。

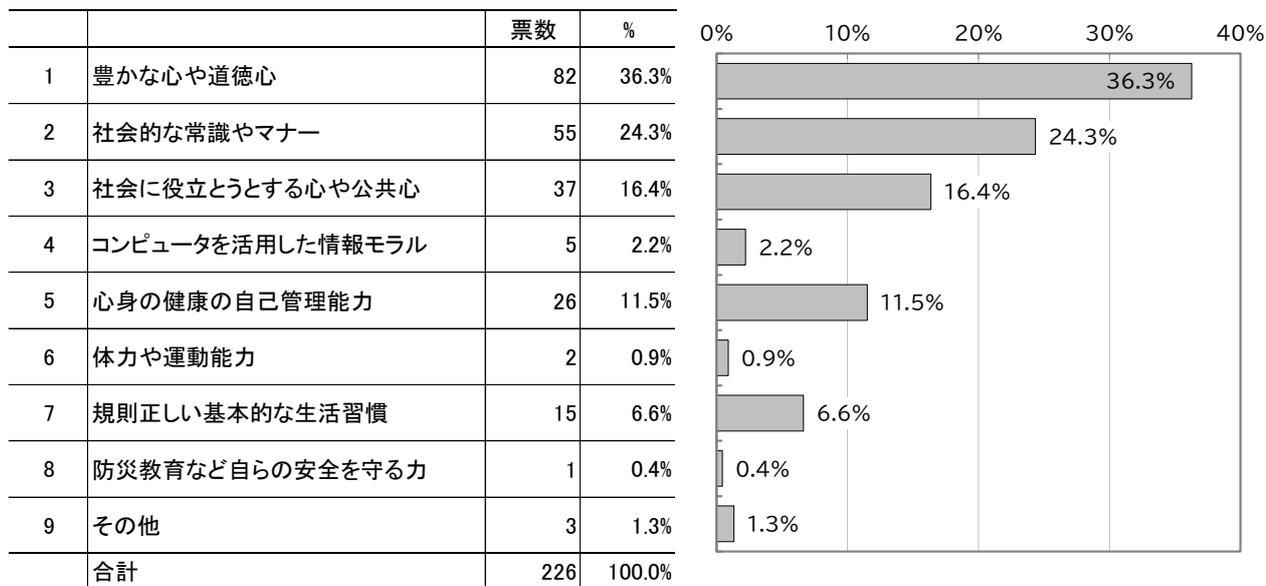


#### 【クロス集計から】

職員の経験年数でみると、「自ら課題を発見し、解決する力」は、「3年未満(60.0%)」で突出して高く、「20年未満(26.9%)」で低くなっている。  
阿見町での教員の経験年数でみると、「創造的な力やチャレンジ精神」は、「20年未満」と「20年以上」は0%となっており、「コミュニケーション能力」では、「20年以上(33.3%)」と他の経験年数に比べて高い傾向となっている。

**問6 阿見町の学校教育において、児童生徒の道德心の定着や健やかな体や心の育成として、身につけさせたい力で最も重要だと思うものはどれですか。[SA]**

児童生徒の道德心の定着や健やかな体や心の育成として、身につけさせたい力で最も重要だと思うものについては、「豊かな心や道德心」が36.3%で最も多く、次いで「社会的な常識やマナー」が24.3%となっている。



n = 226

**【クロス集計から】**

阿見町での教員の経験年数で見ると、「豊かな心や道德心」は、「20年未満(66.7%)」や「15年未満(50.0%)」などは、他の経験年数に比べて高い傾向となっている。

また、「心身の健康の自己管理能力」では、「20年未満」と「20年以上」で0%となっており、経験年数が少ないほど高い傾向となっている。

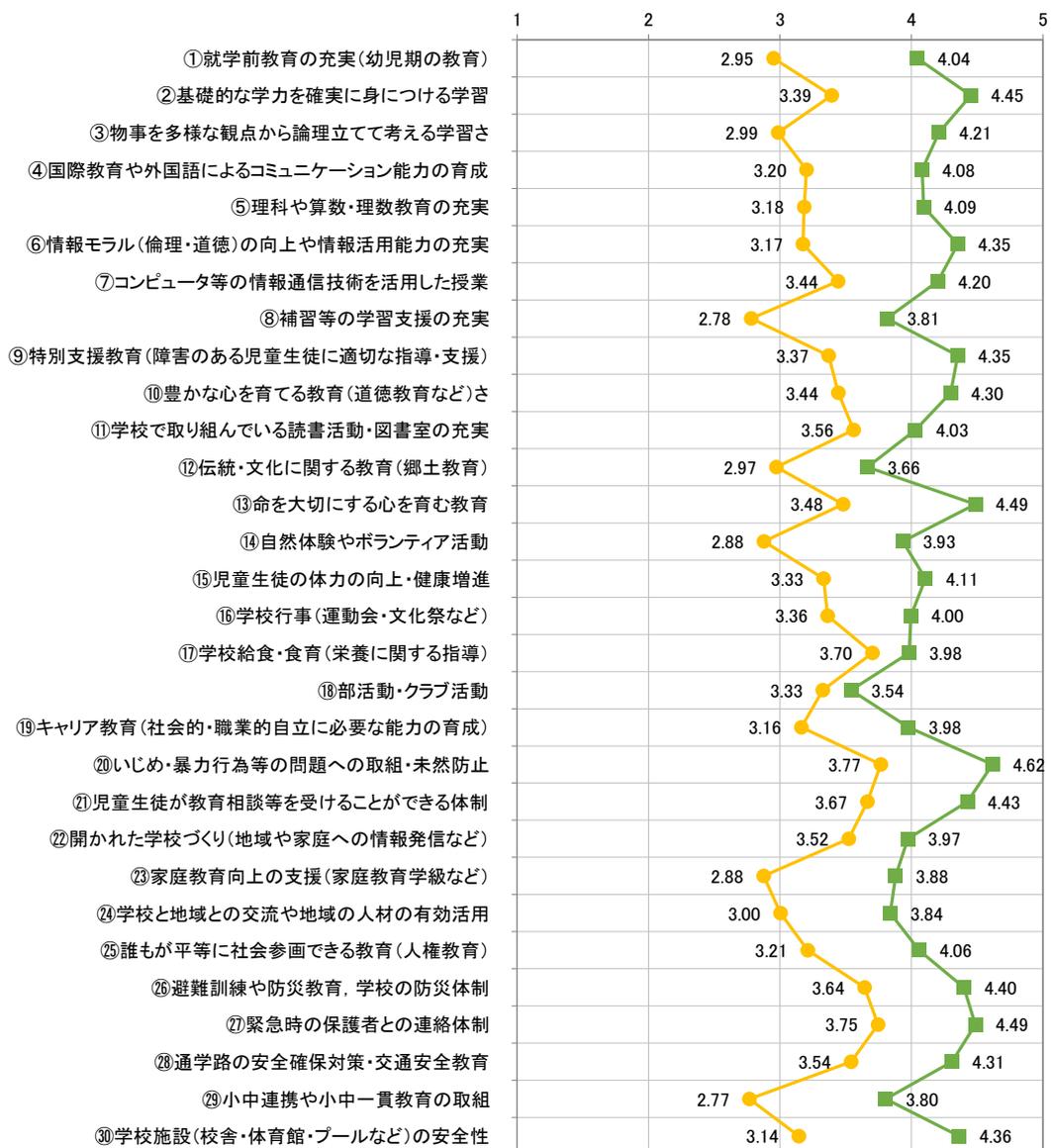
問7 阿見町の学校教育で取り組んでいる①～③⑩の項目についての「満足度」と「重要性」について、あなたのお考えに一番近い番号にそれぞれ○をつけてください。[SA]

学校教育で取り組んでいる項目の満足度については、「⑩いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止」が3.77ポイントで最も高く、次いで「⑦緊急時の保護者との連絡体制」が3.75ポイント、「⑩学校給食・食育(栄養に関する指導)」が3.70ポイントなどとなっている。

重要性についても、「⑩いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止」が4.62ポイントで最も高く、次いで「⑬命を大切にすることを育む教育」、「⑦緊急時の保護者との連絡体制」が4.49ポイント、「②基礎的な学力を確実に身につける学習」が4.45ポイントなどとなっている。

CS分析(満足度と重要性の散布図)をみると、満足度が低く、重要性が高い「最優先改善課題」は、「⑥情報モラル(倫理・道徳)の向上や情報活用能力の充実」や「⑩学校施設(校舎・体育館・プールなど)の安全性」などがある。特に、満足度が高く、重要性も高い「現在の満足度の源泉」の項目が多くなっている。

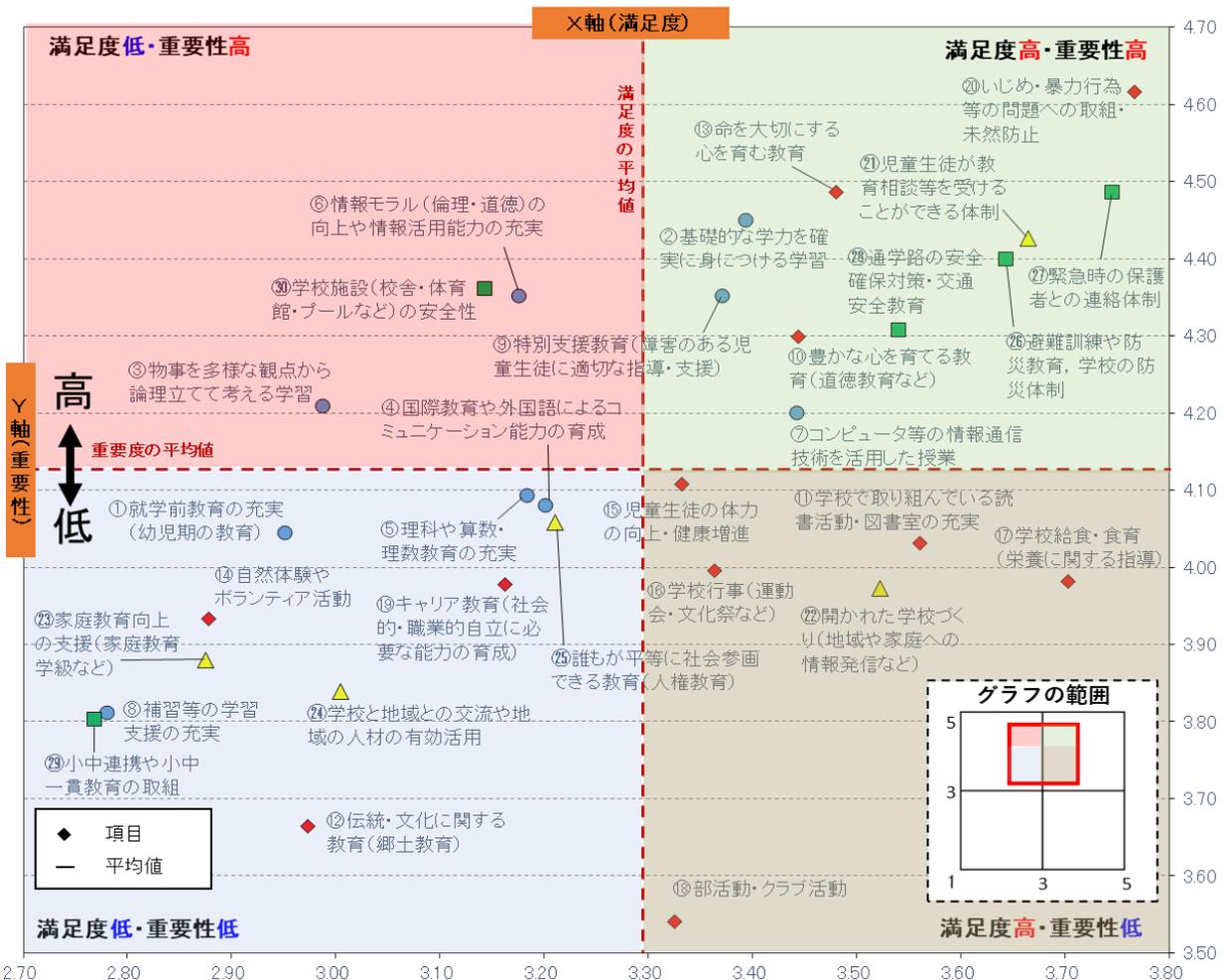
小学校と中学校の教職員の結果を比較すると、満足度では、「⑩学校行事(運動会・文化祭など)(満足度:小学校3.06ポイント・中学校3.92ポイント)」、重要度では「⑭自然体験やボランティア活動(重要性:小学校4.06ポイント・中学校3.71ポイント)」、「⑩部活動・クラブ活動(重要性:小学校3.41ポイント・中学校3.77ポイント)」が大きく乖離している。



「現在の満足度」及び「今後の重要度」は、「満足 = 5ポイント」、「やや満足 = 4ポイント」、「ふつう = 3ポイント」、「やや不満 = 2ポイント」、「不満 = 1ポイント」、必要性(重要性)についても同様の方法により、ポイントに変換して散布図を作成しています。

● 満足度 平均値 3.29  
■ 重要性 平均値 4.13

□CS分析(満足度と重要性の散布図)



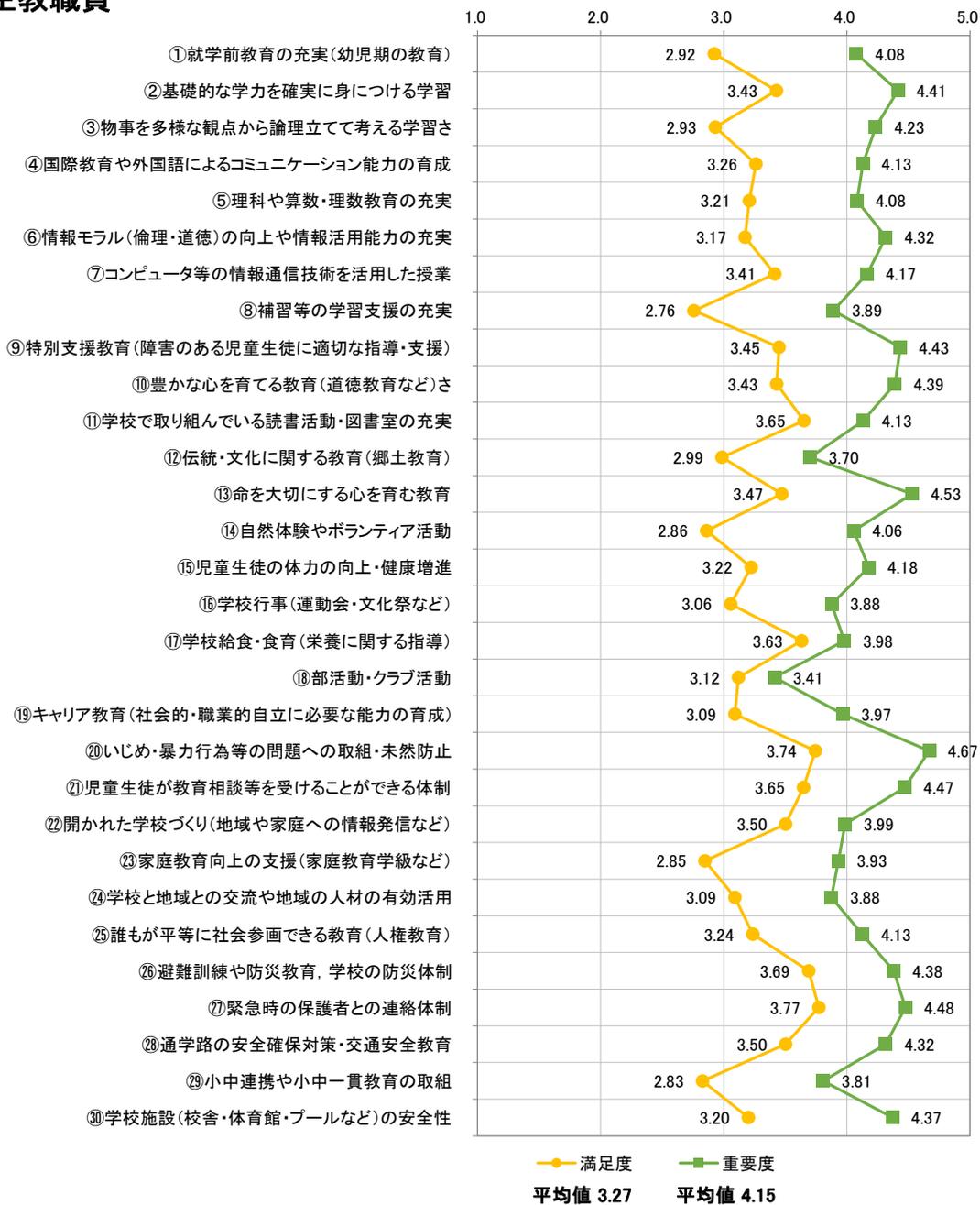
凡例

- I 未来を拓き生きる力を育てる教育の推進[①～⑨]
- ◆ II 豊かな心と健やかな[⑩～㉑]
- ▲ III 社会全体での教育力の向上体の育成[㉒～㉕]
- IV 安心・快適で質の高い教育環境の創造[㉖～㉜]

「現在の満足度」及び「今後の重要性」は、「満足 = 5ポイント」、「やや満足 = 4ポイント」、「ふつう = 3ポイント」、「やや不満 = 2ポイント」、「不満 = 1ポイント」、必要性(重要性)についても同様の方法により、ポイントに変換して散布図を作成しています。

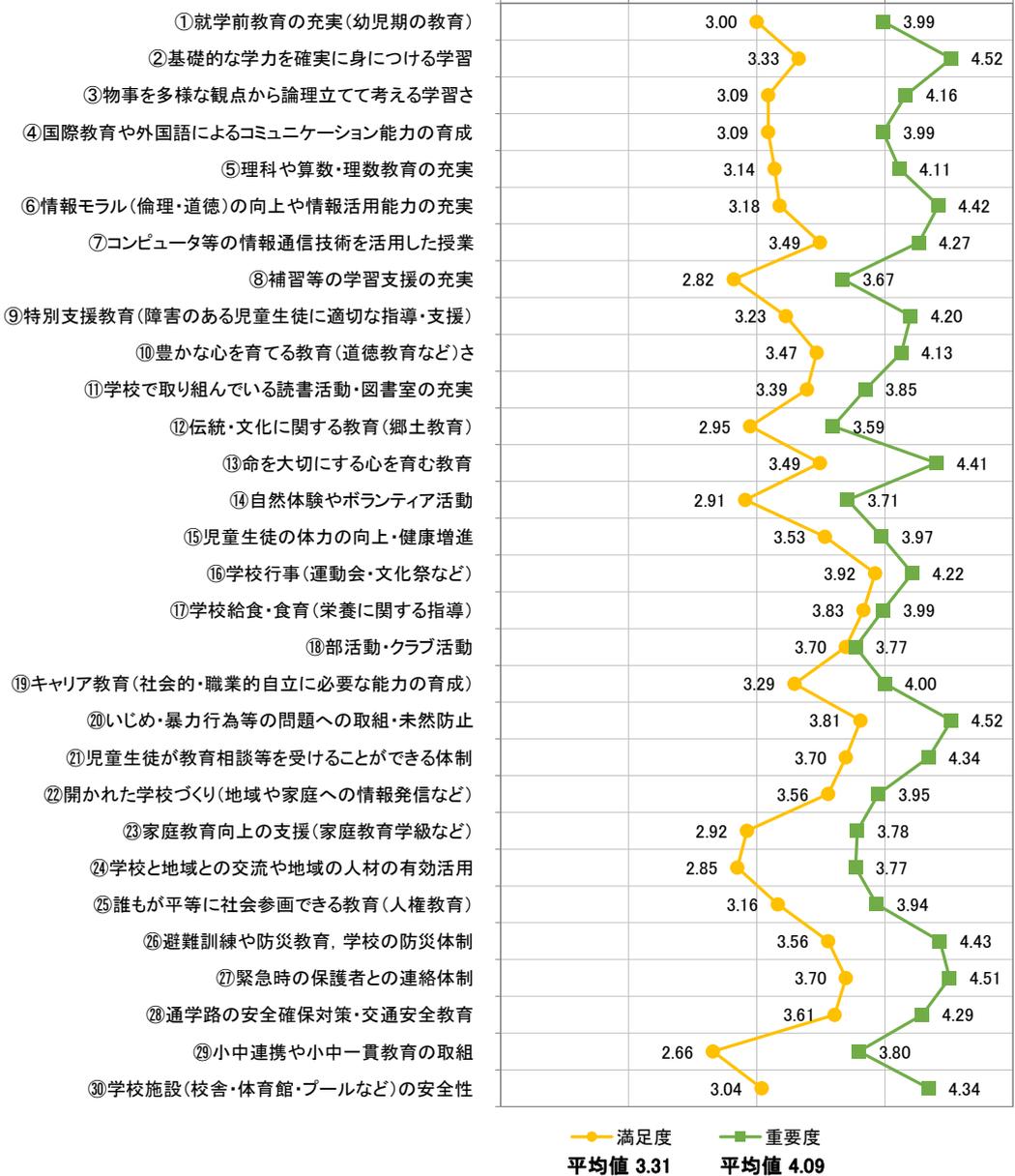


### 小学生教職員



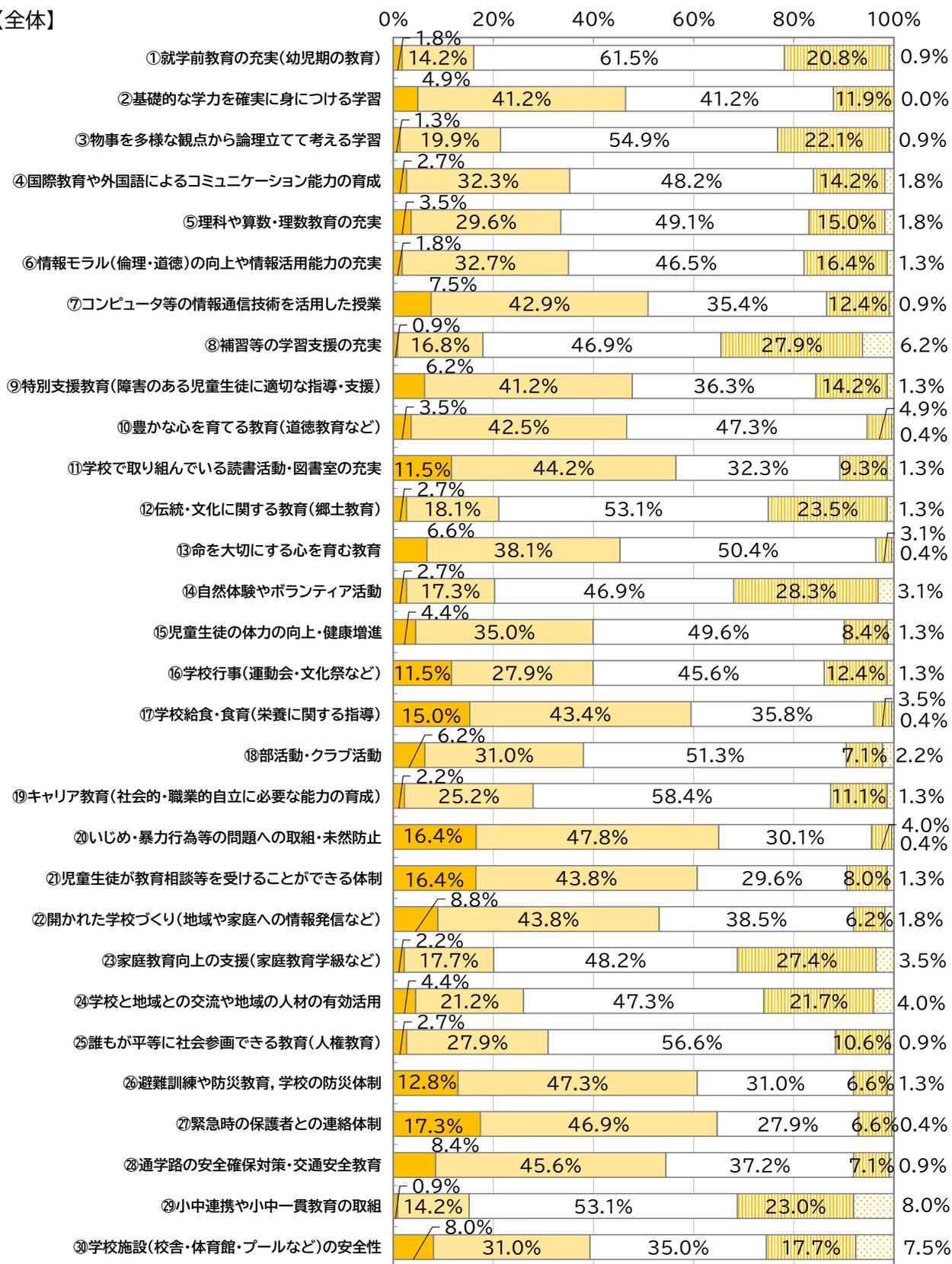
## 中学生教職員

い



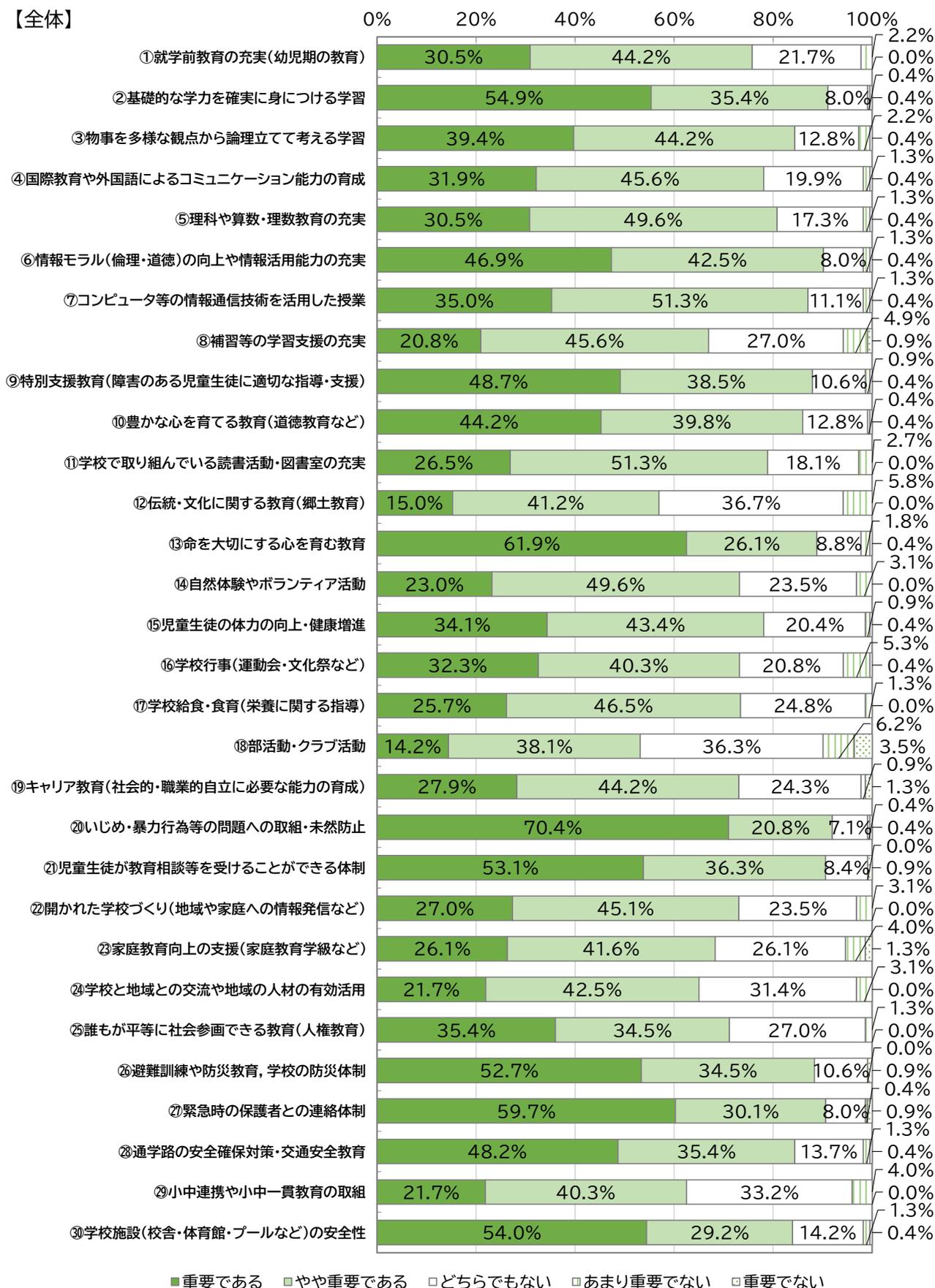
□学校教育で取り組んでいる項目の満足度(全体)

【全体】



■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 □不満

□学校教育で取り組んでいる項目の重要度(全体)

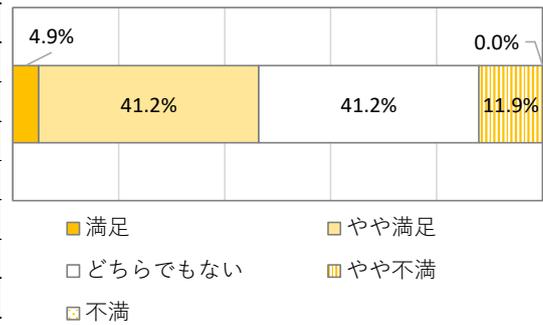


□前回調査結果との比較(満足度)

②基礎的な学力を確実に身につける学習

		票数	%	前回
1	満足	11	4.9%	2.7%
2	やや満足	93	41.2%	35.4%
3	どちらでもない	93	41.2%	48.0%
4	やや不満	27	11.9%	10.8%
5	不満	0	0.0%	0.9%
	無回答・無効	2	0.9%	2.2%
	合計	226	100.0%	100.0%

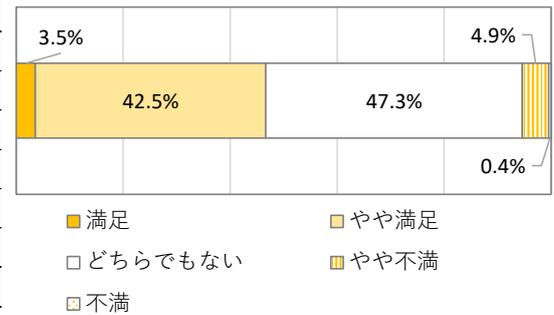
n = 226



⑩豊かな心を育てる教育(道徳教育など)

		票数	%	前回
1	満足	8	3.5%	4.9%
2	やや満足	96	42.5%	37.2%
3	どちらでもない	107	47.3%	48.4%
4	やや不満	11	4.9%	7.2%
5	不満	1	0.4%	0.0%
	無回答・無効	3	1.3%	2.2%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226

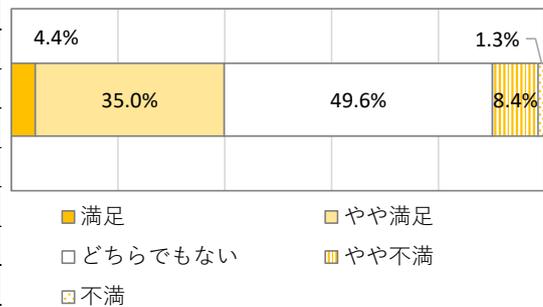


※四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある

⑮児童生徒の体力の向上・健康増進

		票数	%	前回
1	満足	10	4.4%	7.6%
2	やや満足	79	35.0%	42.2%
3	どちらでもない	112	49.6%	44.4%
4	やや不満	19	8.4%	3.6%
5	不満	3	1.3%	0.0%
	無回答・無効	3	1.3%	2.2%
	合計	226	100.0%	100.0%

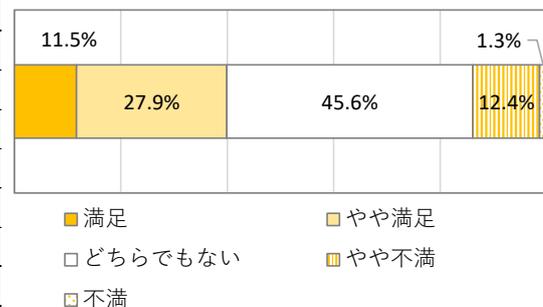
n = 226



⑩学校行事(運動会・文化祭など)

		票数	%	前回
1	満足	26	11.5%	18.8%
2	やや満足	63	27.9%	42.6%
3	どちらでもない	103	45.6%	33.2%
4	やや不満	28	12.4%	3.1%
5	不満	3	1.3%	0.0%
	無回答・無効	3	1.3%	2.2%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226

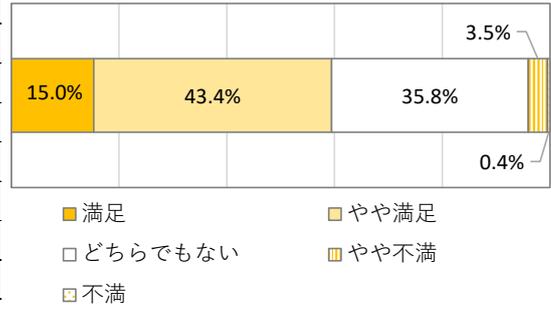


※四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある

①学校給食・食育(栄養に関する指導)

		票数	%	前回
1	満足	34	15.0%	10.8%
2	やや満足	98	43.4%	35.9%
3	どちらでもない	81	35.8%	48.0%
4	やや不満	8	3.5%	2.2%
5	不満	1	0.4%	0.4%
	無回答・無効	4	1.8%	2.7%
	合計	226	100.0%	100.0%

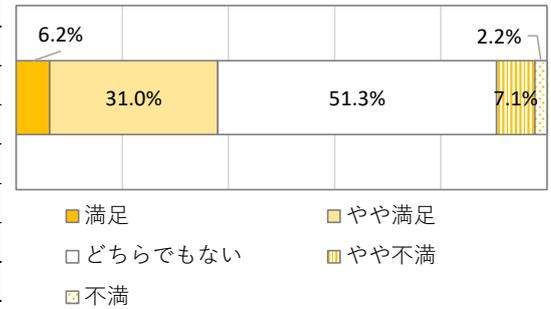
n = 226



⑩部活動・クラブ活動

		票数	%	前回
1	満足	14	6.2%	12.1%
2	やや満足	70	31.0%	28.7%
3	どちらでもない	116	51.3%	49.8%
4	やや不満	16	7.1%	4.9%
5	不満	5	2.2%	0.4%
	無回答・無効	5	2.2%	4.0%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226

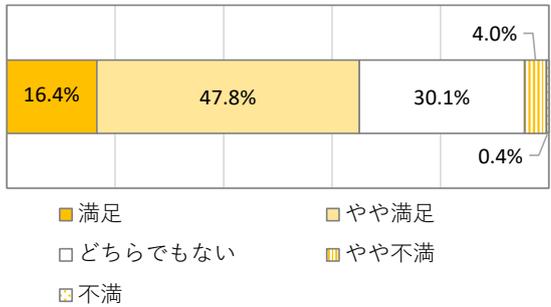


※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

⑫いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止

		票数	%	前回
1	満足	37	16.4%	7.6%
2	やや満足	108	47.8%	41.7%
3	どちらでもない	68	30.1%	44.8%
4	やや不満	9	4.0%	3.1%
5	不満	1	0.4%	0.0%
	無回答・無効	3	1.3%	2.7%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226



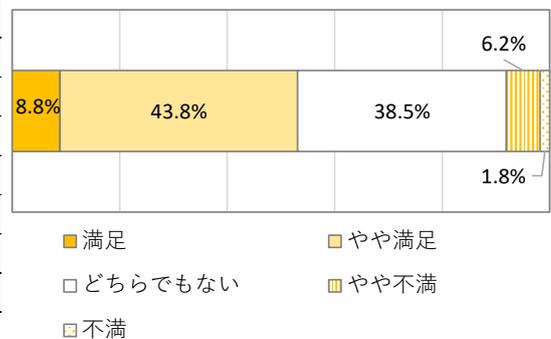
※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

⑭開かれた学校づくり(地域や家庭への情報発信など)

参考値: 前回「学校の公開(授業の公開など)」

		票数	%	前回
1	満足	20	8.8%	9.9%
2	やや満足	99	43.8%	31.4%
3	どちらでもない	87	38.5%	53.4%
4	やや不満	14	6.2%	2.2%
5	不満	4	1.8%	0.0%
	無回答・無効	2	0.9%	3.1%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226



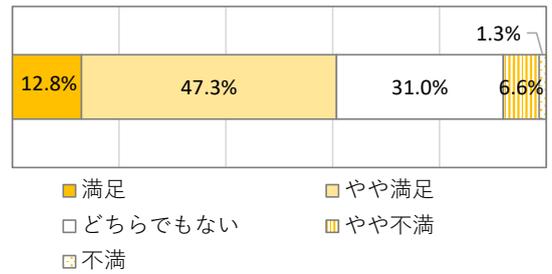
⑳避難訓練や防災教育, 学校の防災体制

参考値: 前回「防犯・防災・交通安全などの安全管理」

		票数	%	前回
1	満足	29	12.8%	9.9%
2	やや満足	107	47.3%	39.9%
3	どちらでもない	70	31.0%	43.0%
4	やや不満	15	6.6%	4.5%
5	不満	3	1.3%	0.4%
	無回答・無効	2	0.9%	2.2%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

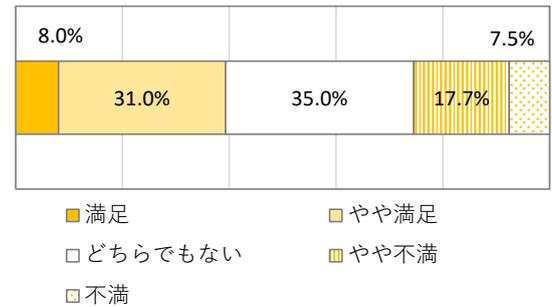


㉑学校施設(校舎・体育館・プールなど)の安全性

※参考値: 前回「学校設備(設備, 広さ, 使いやすさ)」

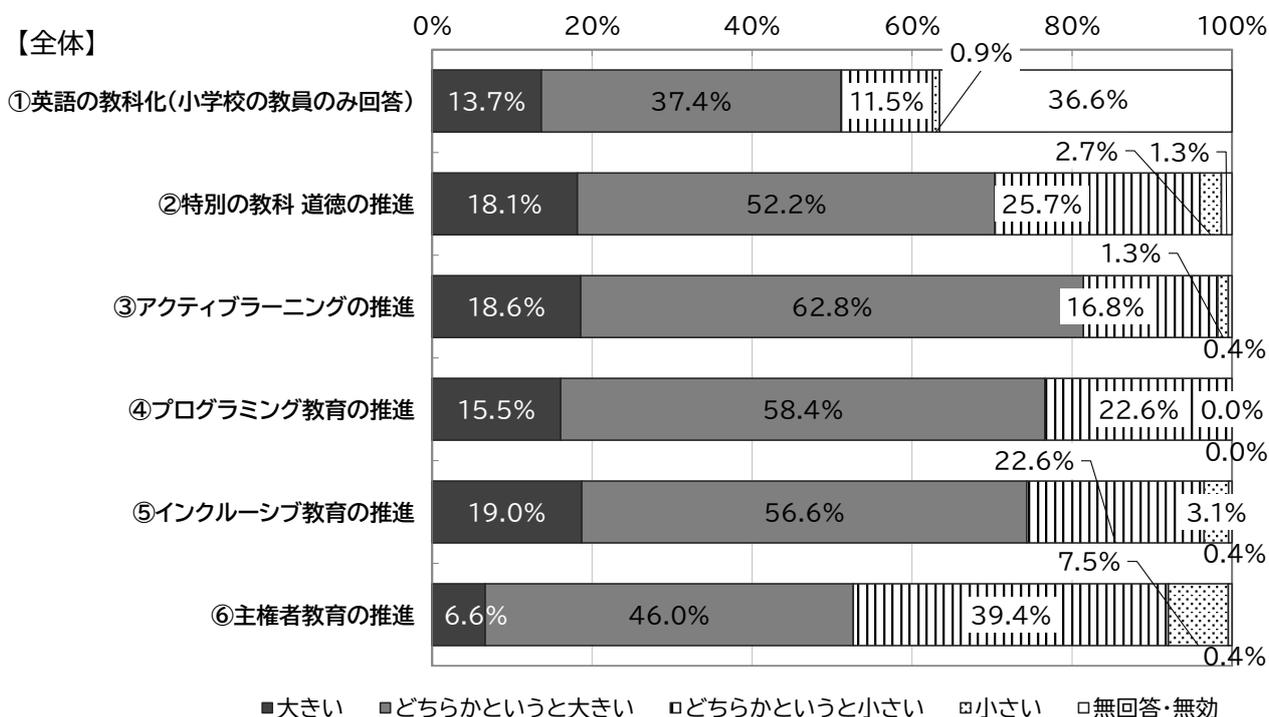
		票数	%	前回
1	満足	18	8.0%	7.6%
2	やや満足	70	31.0%	22.9%
3	どちらでもない	79	35.0%	34.1%
4	やや不満	40	17.7%	26.0%
5	不満	17	7.5%	7.2%
	無回答・無効	2	0.9%	2.2%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226



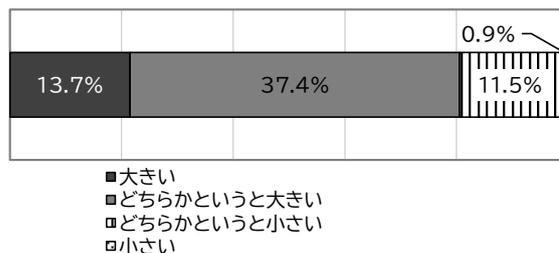
**問8 あなたは教育施策の効果についてどのように感じていますか。①～⑥の項目についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。[SA]**

教育施策の効果について、効果が「大きい」と「どちらかという大きい」の合計でみると、「③アクティブラーニングの推進」81.4%、「⑤インクルーシブ教育の推進」75.7%、「④プログラミング教育の推進」73.9%などとなっている。また、「⑥主権者教育の推進」については、「どちらかという小さい」が39.0%で、他の項目よりも多くなっている。



**①英語の教科化(小学校の教員のみ回答)**

		票数	%
1	大きい	31	13.7%
2	どちらかという大きい	85	37.4%
3	どちらかという小さい	26	11.5%
4	小さい	2	0.9%
	中学校の教員及び無回答・無効	83	36.6%
	合計	227	100.0%



n = 226

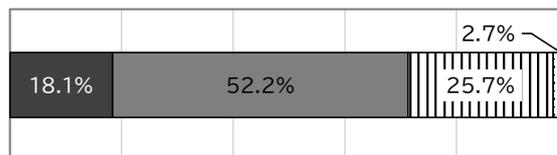
**【クロス集計から】**

英語の教科化の効果について、教員の経験年数でみると「20年以上(23.7%)」と高く、「どちらかという大きい」が「20年未満(46.2%)」、「20年以上(48.4%)」などと、経験年数が多いほど、効果が高いと回答している。

## ②特別の教科 道徳の推進

		票数	%
1	大きい	41	18.1%
2	どちらかという大きい	118	52.2%
3	どちらかという小さい	58	25.7%
4	小さい	6	2.7%
	無回答・無効	3	1.3%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 大きい
- ▨どちらかという大きい
- ▩どちらかという小さい
- 小さい

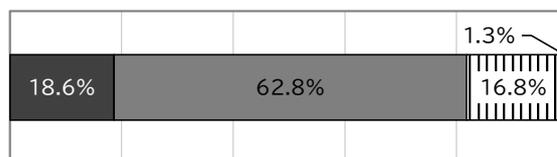
### 【クロス集計から】

特別の教科、道徳の推進の効果について、教員の経験年数で見ると、効果が「大きい」が「3年未満(44.0%)」と突出して高くなっている。一方で効果が「小さい」が「5年未満(18.8%)」と他と比べて割合が高くなっている。

## ③アクティブラーニングの推進

		票数	%
1	大きい	42	18.6%
2	どちらかという大きい	142	62.8%
3	どちらかという小さい	38	16.8%
4	小さい	3	1.3%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 大きい
- ▨どちらかという大きい
- ▩どちらかという小さい
- 小さい

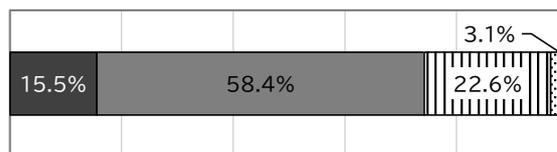
### 【クロス集計から】

アクティブラーニングの推進の効果について、教員の経験年数で見ると、効果が「大きい」が「3年未満(44.0%)」と突出して高くなっており、②特別の教科 道徳の推進と同様の傾向となっている。

## ④プログラミング教育の推進

		票数	%
1	大きい	35	15.5%
2	どちらかという大きい	132	58.4%
3	どちらかという小さい	51	22.6%
4	小さい	7	3.1%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 大きい
- ▨どちらかという大きい
- ▩どちらかという小さい
- 小さい

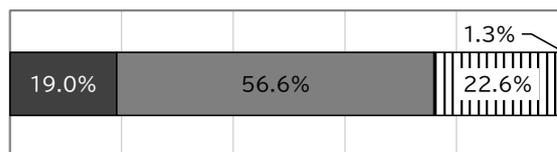
### 【クロス集計から】

プログラミング教育の推進の効果について、教員の経験年数で見ると「大きい」が「3年未満(48.0%)」と突出して高くなっている。

## ⑤インクルーシブ教育の推進

		票数	%
1	大きい	43	19.0%
2	どちらかという大きい	128	56.6%
3	どちらかという小さい	51	22.6%
4	小さい	3	1.3%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



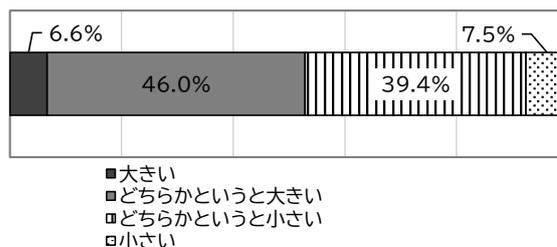
- 大きい
- ▨どちらかという大きい
- ▩どちらかという小さい
- 小さい

### 【クロス集計から】

インクルーシブ教育の推進の効果について、教員の経験年数で見ると「大きい」が「3年未満(28.0%)」と突出して高くなっている。

### ⑥主権者教育の推進

		票数	%
1	大きい	15	6.6%
2	どちらかという大きい	104	46.0%
3	どちらかという小さい	89	39.4%
4	小さい	17	7.5%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%



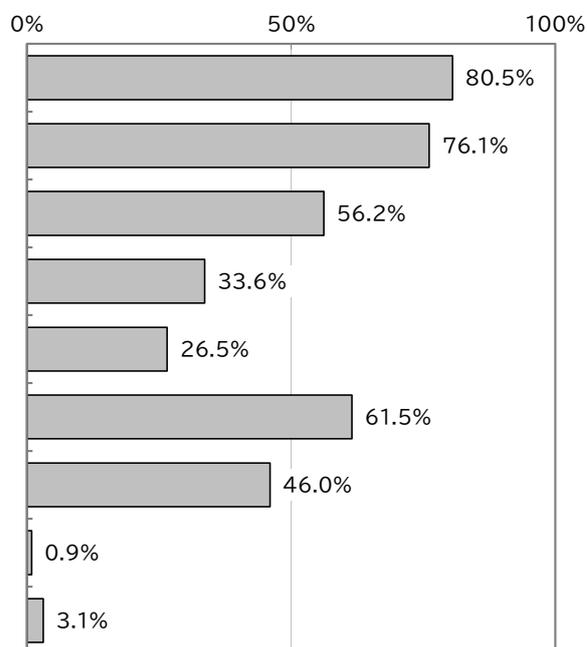
n = 226

【クロス集計から】  
インクルーシブ教育の推進の効果について、勤務先(小中学校)でみると、「大きい」が「中学校(13.8%)」「小学校(2.7%)」と中学校の教員で高くなっている。

### 問9 あなたがICT環境整備と併せて検討すべき内容だと思ふものはどれですか。[MA]

ICT環境整備と併せて検討すべき内容については、「教員のICT活用指導力の向上」が80.5%で最も多く、次いで「ICT活用を支える外部専門スタッフの活用」が76.1%、「情報セキュリティの確保」が61.5%となっている。

		票数	%
1	教員のICT活用指導力の向上	182	80.5%
2	ICT活用を支える外部専門スタッフの活用	172	76.1%
3	デジタル教科書・教材・CBTシステム(コンピューターを利用した試験)の活用	127	56.2%
4	ICTの活用にあたっての児童生徒の健康への配慮	76	33.6%
5	保護者や地域等に対する理解促進	60	26.5%
6	情報セキュリティの確保	139	61.5%
7	校務におけるICT活用促進	104	46.0%
8	特にない	2	0.9%
9	その他	7	3.1%
	合計	871	384.5%



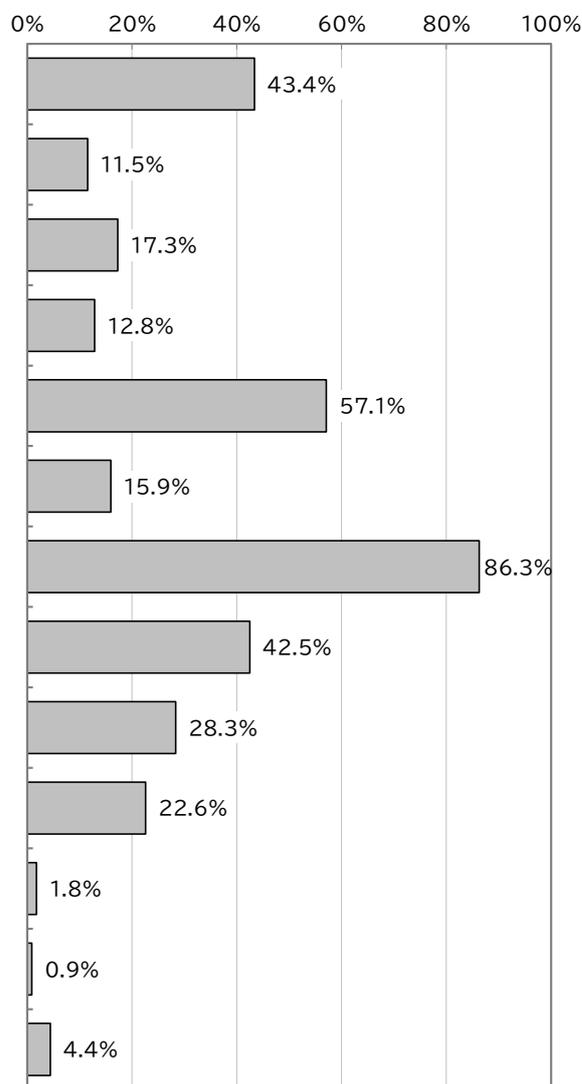
n = 226

【クロス集計から】  
ICT環境整備と併せて検討すべき内容は、「ICT活用を支える外部専門スタッフの活用」が「小学校(80.0%)」「中学校(67.5%)」と小学校で1割ほど高くなっており、教員の経験年数が「20年以上(90.3%)」で他の経験年数に比べて突出して高くなっており、経験年数が多いほど高い傾向となっている。  
また、「校務におけるICT活用促進」については、「小学校(40.4%)」「中学校(56.3%)」と中学校で高くなっている。

**問10 将来的な子供の減少などによる今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。[MA]**

将来的な子供の減少などによる今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町が取り組むべきことについては、「学校の先生や支援スタッフの人的配置の充実」が86.3%で最も多く、次いで「スクールソーシャルワーカー(子供が抱える様々な問題の解決を図る専門職)の充実」が57.1%、「児童生徒数が多すぎたり少なすぎたりする学校をなくした適正な規模の学校づくり」が43.4%となっている。

		票数	%
1	児童生徒数が多すぎたり少なすぎたりする学校をなくした適正な規模の学校づくり	98	43.4%
2	町内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化	26	11.5%
3	小中一貫教育の推進	39	17.3%
4	特定の分野(語学, 理系科目, スポーツなど)に力を入れた特色ある学校づくり	29	12.8%
5	スクールソーシャルワーカー(子供が抱える様々な問題の解決を図る専門職)の充実	129	57.1%
6	コミュニティ・スクール(保護者や地域が学校運営に参画する仕組み)の充実	36	15.9%
7	学校の先生や支援スタッフの人的配置の充実	195	86.3%
8	ICT教育推進のための情報機器の充実	96	42.5%
9	持続可能な社会の実現を目指した学習・教育活動の取組※1	64	28.3%
10	防災, 防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり	51	22.6%
11	土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加	4	1.8%
12	わからない	2	0.9%
13	その他	10	4.4%
	合計	779	344.7%



n = 226

**【クロス集計から】**

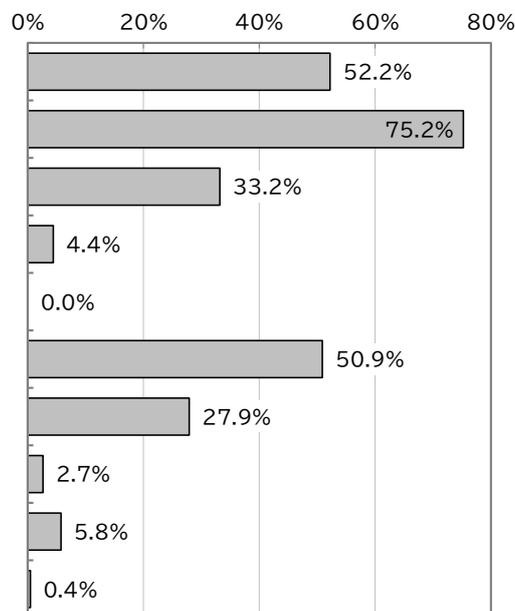
今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町はどのようなことに取り組むべきかについては、「児童生徒数が多すぎたり少なすぎたりする学校をなくした適正な規模の学校づくり」が「小学校(46.6%)」、「中学校(37.5%)」で小学校で約1割り高くなっている。また、「小中一貫教育の推進」は、「小学校(13.0%)」、「中学校(25.0%)」と中学校で1割ほど高くなっている。

### 3 学校組織・勤務環境について

#### 問11 あなたは職務上の悩みを誰に相談しますか。[MA]

職務上の悩みの相談相手については、「職場の同僚」が75.2%で最も多く、次いで「職場の管理職」が52.2%、「家族」が50.9%となっている。

		票数	%	前回
1	職場の管理職	118	52.2%	19.3%
2	職場の同僚	170	75.2%	51.1%
3	別の学校の元同僚・管理職	75	33.2%	6.7%
4	教育委員会	10	4.4%	2.2%
5	民間の相談機関(カウンセラーなど)	0	0.0%	0.4%
6	家族	115	50.9%	-
7	友人	63	27.9%	-
8	相談したいが、周りに相談できる相手がない	6	2.7%	5.4%
9	特に悩みはない	13	5.8%	-
10	その他	1	0.4%	4.9%
	合計	571	100.0%	100%



n = 226

※前回の合計は無回答の割合も含んでいる。

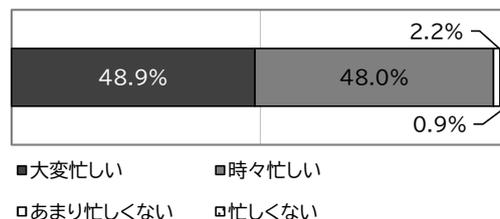
#### 【クロス集計から】

職務上の悩みを誰に相談するかについて、教員の経験年数で見ると、「職場の同僚」が「5年未満(81.3%)」と「10年未満(86.5%)」で高くなっている。「友人」では「3年未満(52.0%)」が高く、経験年数が少ないほど高い傾向がうかがえる。また、「相談したいが、周りに相談できる相手がない」では、「3年未満、15年未満、20年未満」でそれぞれ2人ずつとなっている。

#### 問12 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。[SA]

自身の職務の忙しさについては、「大変忙しい」が48.9%と最も多く、次いで「時々忙しい」が48.0%となっている。

		票数	%	前回
1	大変忙しい	110	48.9%	66.8%
2	時々忙しい	108	48.0%	30.9%
3	あまり忙しくない	5	2.2%	1.3%
4	忙しくない	2	0.9%	0.4%
	合計	225	100.0%	100.0%



n = 226

※前回の合計は無回答の割合も含んでいる。

#### 【前回結果との比較から】

「大変忙しい」が前回(66.8%)から約18ポイント減少しているが、「時々忙しい」を加えた割合では前回と大きな差はない。

#### 【クロス集計から】

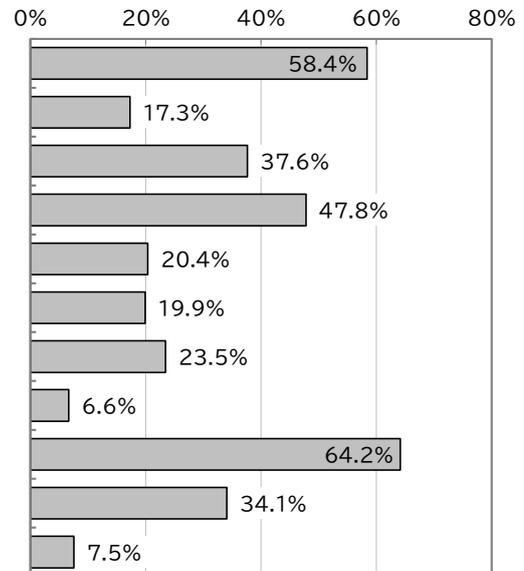
「大変忙しい」では、「小学校(51.4%)」、「中学校(43.8%)」と小学校の教員が若干高くなっている。

また、阿見町での教員の経験年数における「大変忙しい」では、「15年未満(55.0%)」と経験年数が少ないほど、忙しいと感じている傾向がうかがえる。

問13 問12で「1 大変忙しい」と「2 時々忙しい」に○をつけた方にうかがいます。  
忙しいと感じる原因は何ですか。〔MA〕

職務が忙しいと感じる原因については、「事務処理が多い」が64.2%で最も多く、次いで「報告書類の作成」が58.4%、「授業の準備」が47.8%となっている。

		票数	%	前回
1	報告書類の作成	132	58.4%	-
2	部活動の指導	39	17.3%	-
3	保護者・来客への対応	85	37.6%	25.2%
4	授業の準備	108	47.8%	60.1%
5	会議が多い	46	20.4%	-
6	研修への参加	45	19.9%	14.2%
7	生活指導	53	23.5%	-
8	進路指導	15	6.6%	-
9	事務処理が多い	145	64.2%	70.6%
10	行事の準備	77	34.1%	20.2%
11	その他	17	7.5%	11.5%
	合計	762	337.2%	201.8%



n = 226

【クロス集計から】

忙しいと感じる原因について「男性」と「女性」の教員で比べると、「報告書類の作成」で「男性(72.9%)」「女性(52.3%)」、「部活動の指導」で「男性(24.7%)」「女性(12.9%)」、「行事の準備」で「男性(43.5%)」、「女性(30.3%)」などが男性で高い項目となっている。

「小学校」と「中学校」の教員で比べると、「部活動の指導」で「小学校(1.4%)」、「中学校(48.1%)」、「進路指導」で「小学校(0.7%)」、「中学校(18.2%)」、「行事の準備」で「小学校(29.8%)」、「中学校(45.5%)」などと中学校で高くなっている。一方、「授業の準備」では、「小学校(56.0%)」、「中学校(37.7%)」と小学校で高くなっている。

「経験年数」で比べると、「報告書の作成」や「部活動の指導」、「授業の準備」で経験年数が少ないほど割合が高く、「会議が多い」や「保護者・来客への対応」などは経験年数が多いほど割合が高い傾向にある。

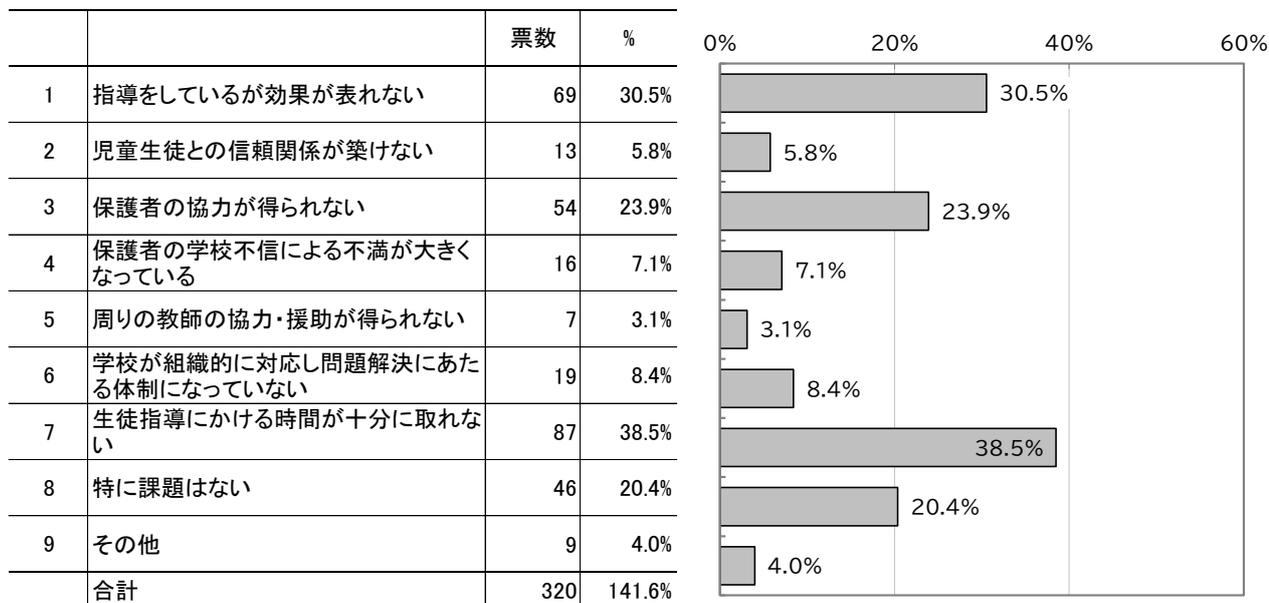
問14 あなたは職務の忙しさを改善するために、何か取り組んでいることはありますか。  
ご自由にお書きください。〔FA〕

忙しさを改善するために、何か取り組んでいることは、「ToDoリストの作成」、「定時を意識して働く」、「役割分担、協力」、「仕事に優先順位をつける」、「すぐに上司に相談する」、「他職員との連携」、「支援スタッフに協力を要請」などの取組の他に「休日の活用」、「平日に22時までに帰るため、土曜日や日曜日に出勤して仕事を分散」などの時間外の部分で改善を図っていること、あるいは「忙しさを改善したいと思っていますが、なかなかいいアイデアが思い浮かばず困っている」「業務量が根本的に多すぎ」などの改善を図ることが難しいなどの意見もあった。

※記述内容は別紙にまとめています。

## 問15 あなたが児童生徒の生徒指導をする上での課題は何ですか。[MA]

児童生徒の生徒指導をする上での課題については、「生徒指導にかかる時間が十分に取れない」が38.5%で最も多く、次いで「指導をしているが効果が表れない」が30.5%、「保護者の協力が得られない」が23.9%となっている。



n = 226

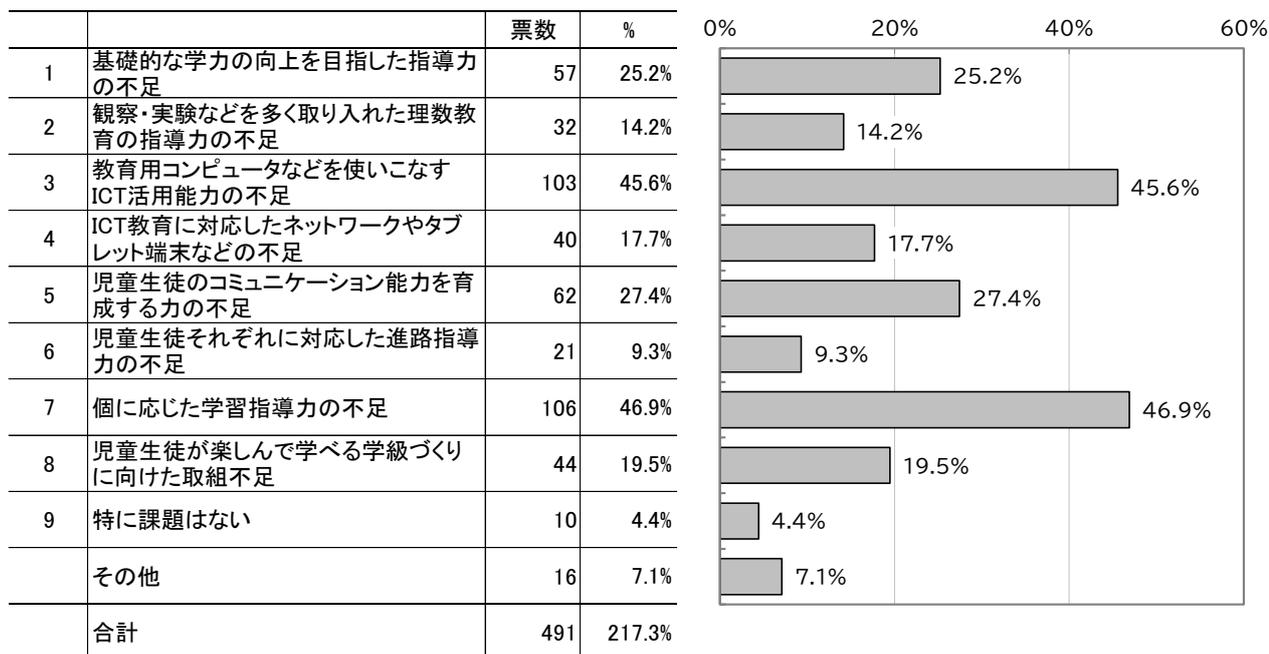
### 【クロス集計から】

「小学校」と「中学校」の教員で比べると、「指導をしているが効果が表れない」が「小学校(37.7%)」、「中学校(17.5%)」と小学校で高くなっている。

「阿見町での教員の経験年数」で比べると、「保護者の協力が得られない」で「15年未満(50.0%)」など経験年数が多いほど高い傾向がうかがえる。

## 問16 あなたが児童生徒の学習指導をする上での課題は何ですか[MA]

児童生徒の学習指導をする上での課題については、「個に応じた学習指導力の不足」が46.9%で最も多く、次いで「教育用コンピュータなどを使いこなすICT活用能力の不足」45.6%、「児童生徒のコミュニケーション能力を育成する力の不足」が27.4%となっている。



n = 226

### 【クロス集計から】

児童生徒の学習指導をする上での課題について、「小学校」と「中学校」の教員で比べると、「児童生徒のコミュニケーション能力を育成する力の不足」で「小学校(32.9%)」、「中学校(17.5%)」や「観察・実験などを多く取り入れた理数教育の指導力の不足」で「小学校(18.5%)」、「中学校(6.3%)」などと小学校で高くなっており、「ICT教育に対応したネットワークやタブレット端末などの不足」で「小学校(14.4%)」、「中学校(23.8%)」については中学校で高くなっている。

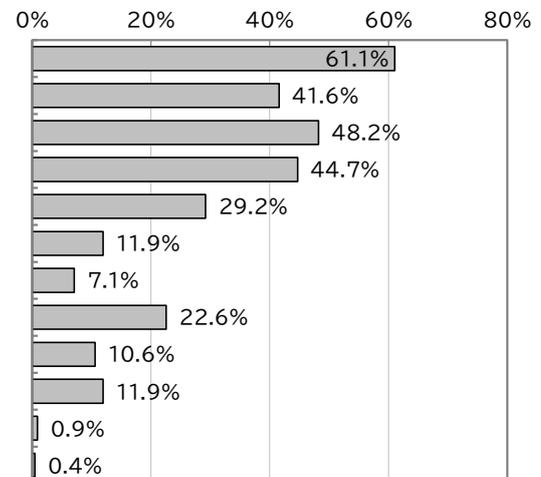
「阿見町での教員の経験年数」では、「基礎的な学力の向上を目指した指導力の不足」や「個に応じた学習指導力の不足」、「児童生徒それぞれに対応した進路指導力の不足」などは経験年数が少ないほど高い傾向にある。

## 4 教員の資質向上について

### 問17 あなたは教師として特に必要な能力は何だと思いますか。(〇は3つ以内)[MA]

教師として特に必要な能力については、「教科の指導力」が61.1%で最も多く、次いで「豊かな人間性」が48.2%、「子供を理解する能力」が44.7%となっている。

		票数	%	前回
1	教科の指導力	138	61.1%	87.0%
2	学級の経営力	94	41.6%	71.7%
3	豊かな人間性	109	48.2%	80.7%
4	子供を理解する能力	101	44.7%	74.4%
5	コミュニケーション能力	66	29.2%	61.9%
6	使命感や情熱, 教育への熱意	27	11.9%	63.2%
7	公務員としての義務の自覚	16	7.1%	35.0%
8	子供への愛情	51	22.6%	71.1%
9	社会性・協調性	24	10.6%	49.3%
10	バランス感覚・一般社会の常識	27	11.9%	48.9%
11	その他	2	0.9%	1.3%
	無回答・無効	1	0.4%	0.9%
	合計	656	290.3%	645.4%



n = 226

#### 【クロス集計から】

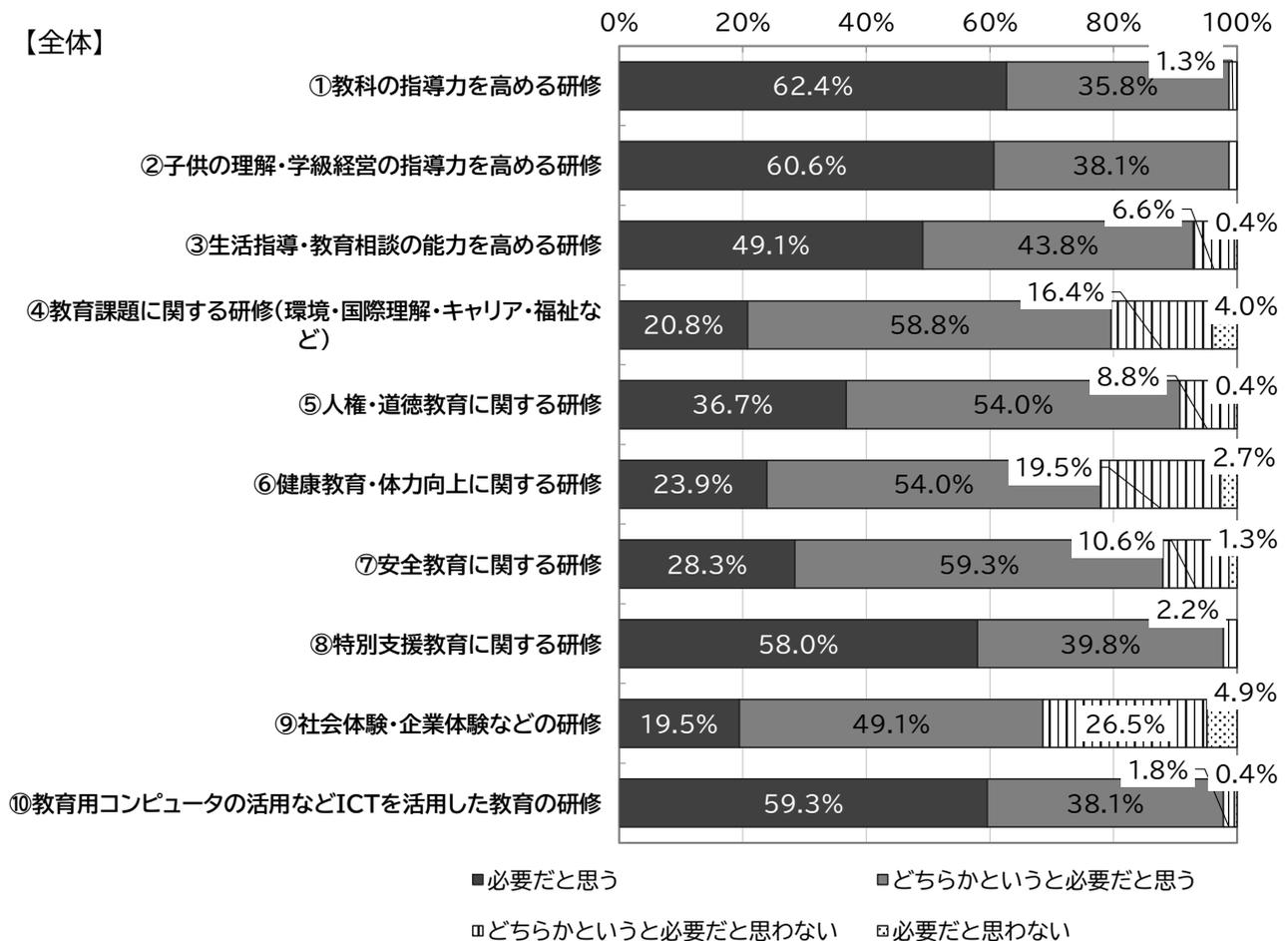
教師として特に必要な能力は、「小学校」と「中学校」の教員で比べると、「教科の指導力」で「小学校(56.2%)」、「中学校(70.0%)」や「バランス感覚・一般社会の常識」で「小学校(8.2%)」、「中学校(18.8%)」などが中学校で高くなっている。一方、「学級の経営力」は「小学校(45.9%)」、「中学校(33.8%)」、「豊かな人間性」で「小学校(51.4%)」、「中学校(42.5%)」などについては小学校で高くなっている。

「阿見町での教員の経験年数」で比べると、「教科の指導力」や「子供を理解する能力」などは経験年数が少ないほど高くなっており、「豊かな人間性」は経験年数が多いほど高い傾向にある。

問18 あなたは教職員の資質向上のために必要な研修についてどのように感じますか。  
 ①～⑩の研修内容の必要性についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は①～⑩についてそれぞれ1つずつ)[SA]

教職員の資質向上のために必要な研修について、「必要だと思う」が最も多くなっているのは、「①教科の指導力を高める研修」62.4%であり、次いで「②子供の理解・学級経営の指導力を高める研修」60.6%、「⑩教育用コンピュータの活用などICTを活用した教育の研修」59.3%、「⑧特別支援教育に関する研修」58.0%、「③生活指導・教育相談の能力を高める研修」49.1%となっている。  
 「どちらかという必要だと思う」が最も多くなっているのは、「⑦安全教育に関する研修」59.3%であり、次いで「④教育課題に関する研修(環境・国際理解・キャリア・福祉など)」58.8%、「⑤人権・道徳教育に関する研修」54.0%、「⑥健康教育・体力向上に関する研修」54.0%、「⑨社会体験・企業体験などの研修」49.1%となっている。  
 また、「⑨社会体験・企業体験などの研修」については、「どちらかという必要だと思わない」が26.5%で、他の項目よりも多くなっている。

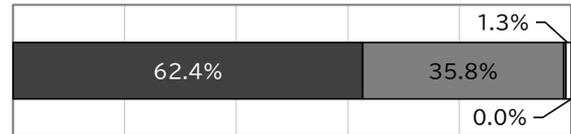
【全体】



### ①教科の指導力を高める研修

		票数	%
1	必要だと思う	141	62.4%
2	どちらかという必要だと思う	81	35.8%
3	どちらかという必要だと思わない	3	1.3%
4	必要だと思わない	0	0.0%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- どちらかという必要だと思う
- ▨ どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

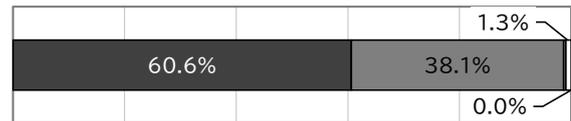
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(70.0%)」、「小学校(58.2%)」と中学校で1割ほど高くなっている。

### ②子供の理解・学級経営の指導力を高める研修

		票数	%
1	必要だと思う	137	60.6%
2	どちらかという必要だと思う	86	38.1%
3	どちらかという必要だと思わない	3	1.3%
4	必要だと思わない	-	0.0%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- どちらかという必要だと思う
- ▨ どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

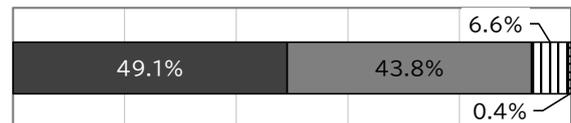
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(62.5%)」、「小学校(59.6%)」と中学校が若干高くなっている。  
「教員の経験年数」では、「3年未満(76.0%)」が他の経験年数と比べて高くなっている。

### ③生活指導・教育相談の能力を高める研修

		票数	%
1	必要だと思う	111	49.1%
2	どちらかという必要だと思う	99	43.8%
3	どちらかという必要だと思わない	15	6.6%
4	必要だと思わない	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- どちらかという必要だと思う
- ▨ どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

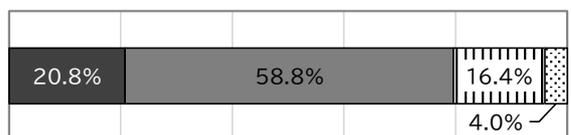
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「教員の経験年数」が「3年未満(60.0%)」と経験年数が少ないほど高い傾向にある。

### ④教育課題に関する研修(環境・国際理解・キャリア・福祉など)

		票数	%
1	必要だと思う	47	20.8%
2	どちらかという必要だと思う	133	58.8%
3	どちらかという必要だと思わない	37	16.4%
4	必要だと思わない	9	4.0%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- どちらかという必要だと思う
- ▨ どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

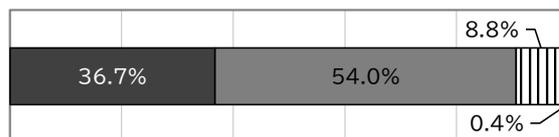
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(23.8%)」、「小学校(19.2%)」と中学校が若干高くなっている。  
「教員の経験年数」では、「3年未満(40.0%)」と経験年数が少ないほど高い傾向にある。

### ⑤人権・道徳教育に関する研修

		票数	%
1	必要だと思う	83	36.7%
2	どちらかという必要だと思う	122	54.0%
3	どちらかという必要だと思わない	20	8.8%
4	必要だと思わない	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- ▣どちらかという必要だと思う
- ▤どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

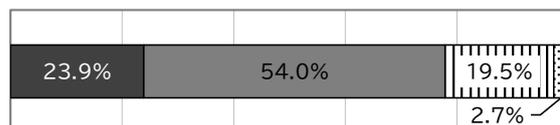
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(40.0%)」、「小学校(34.9%)」と中学校が若干高くなっている。  
「教員の経験年数」では、「3年未満(48.0%)」が他の経験年数と比べて高くなっている。

### ⑥健康教育・体力向上に関する研修

		票数	%
1	必要だと思う	54	23.9%
2	どちらかという必要だと思う	122	54.0%
3	どちらかという必要だと思わない	44	19.5%
4	必要だと思わない	6	2.7%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- ▣どちらかという必要だと思う
- ▤どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

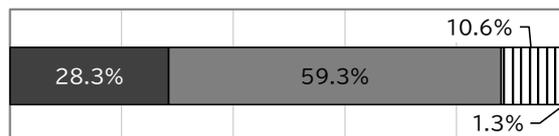
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「教員の経験年数」で「3年未満(44.0%)」が他の経験年数と比べて高くなっている。

### ⑦安全教育に関する研修

		票数	%
1	必要だと思う	64	28.3%
2	どちらかという必要だと思う	134	59.3%
3	どちらかという必要だと思わない	24	10.6%
4	必要だと思わない	3	1.3%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- ▣どちらかという必要だと思う
- ▤どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

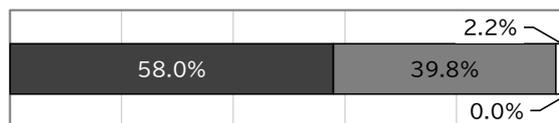
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(35.0%)」、「小学校(24.7%)」と中学校が高くなっている。  
「教員の経験年数」では、「3年未満(44.0%)」、「5年未満(37.5%)」などと経験年数が少ないほど高い傾向にある。

### ⑧特別支援教育に関する研修

		票数	%
1	必要だと思う	131	58.0%
2	どちらかという必要だと思う	90	39.8%
3	どちらかという必要だと思わない	5	2.2%
4	必要だと思わない	-	0.0%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- ▣どちらかという必要だと思う
- ▤どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

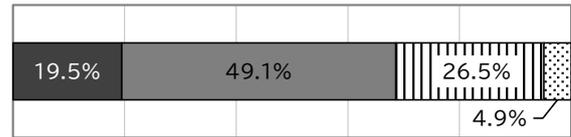
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(53.8%)」、「小学校(60.3%)」と小学校が高くなっている。

### ⑨社会体験・企業体験などの研修

		票数	%
1	必要だと思う	44	19.5%
2	どちらかという必要だと思う	111	49.1%
3	どちらかという必要だと思わない	60	26.5%
4	必要だと思わない	11	4.9%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- ▣ どちらかという必要だと思う
- ▤ どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

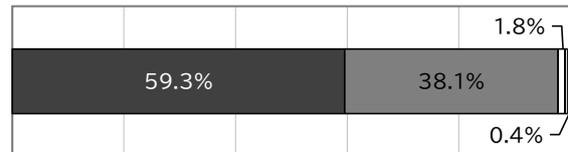
#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(28.8%)」、「小学校(14.4%)」と中学校が高くなっている。  
 「教員の経験年数」では、「3年未満(44.0%)」、「5年未満(25.0%)」などと経験年数が少ないほど高い傾向にある。

### ⑩教育用コンピュータの活用などICTを活用した教育の研修

		票数	%
1	必要だと思う	134	59.3%
2	どちらかという必要だと思う	86	38.1%
3	どちらかという必要だと思わない	4	1.8%
4	必要だと思わない	1	0.4%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	226	100.0%

n = 226



- 必要だと思う
- ▣ どちらかという必要だと思う
- ▤ どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない

#### 【クロス集計から】

「必要だと思う」は、「中学校(61.3%)」、「小学校(58.2%)」と中学校が若干高くなっている。  
 「教員の経験年数」では、「3年未満(72.0%)」、「20年以上(65.6%)」などが高くなっている。

**問18-2 上記①～⑩以外に教職員の資質向上のために必要な研修があればお書きください。[FA]**

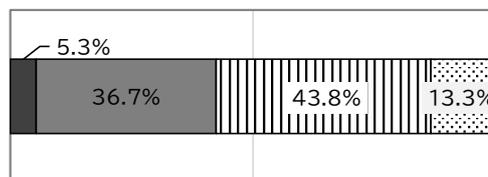
問18-1以外に教職員の資質向上のために必要な研修については、コンプライアンスやメンタルヘルス、OJTにおける意識改革、働き方改革、モンスターペアレント等の対応、人間性を高めるための自己研修などの意見があった。

### 問19-1 あなたは保護者との対応で今現在悩んでいることはありますか。[SA]

保護者との対応で今現在悩んでいることがあるかについては、「あまりない」が43.8%で最も多く、次いで「ある程度ある(対応できる範囲)」が36.7%となっている。

		票数	%	前回
1	たくさんある(対応できる範囲を超えている)	12	5.3%	3.6%
2	ある程度ある(対応できる範囲)	83	36.7%	30.5%
3	あまりない	99	43.8%	52.5%
4	まったくない	30	13.3%	11.2%
	無回答・無効	2	0.9%	2.2%
	合計	226	100.0%	100.0%

n = 226



- たくさんある(対応できる範囲を超えている)
- ある程度ある(対応できる範囲)
- あまりない
- まったくない

#### 【クロス集計から】

保護者との対応で今現在悩んでいることについて、「たくさんある(対応できる範囲を超えている)」は、「教員の経験年数」でみると「20年未満(11.5%)」、「20年以上(7.5%)」などと経験年数が多いほど高い傾向にある。

### 問19-2 悩んでいる保護者との対応があれば、下枠に内容を具体的にお書きください。[FA]

悩んでいる保護者との対応については、以下のような意見があがっている。  
 発達に関することや人間関係上のトラブル、外国籍の保護者との連携、学校を休みがちな生徒への対応、特別支援学級入級を見据えた話合いなどが増えてきている。  
 その一方で、クレームや脅し、個人の要望のみを一方向的に伝えてくることなど、少数派や一人の意見に対しても1つ1つ対応していく状況であり、保護者によっては携帯電話などで長時間の対応が必要となるなど、児童生徒とは関係のないところでの対応も多くある。  
 さらに、子供にとって必要と思われる事を連絡しても対応していただけないことや三者面談に来ない、学校諸費の未納(未納家庭への督促)など、家庭の協力があまり得られないケースも多くなっている。

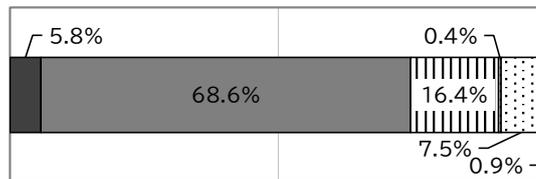
※記述内容は別紙にまとめています。

## 5 地域と学校の連携について

### 問20 あなたの勤務校では、地域と家庭、学校の連携・協力体制が整っていると思いますか。[SA]

勤務校における、地域と家庭、学校の連携・協力体制については、「整っていると思う」が68.6%で最も多く、次いで「あまり整っているとは思えない」が16.4%となっている。

		票数	%	前回
1	よく整っていると思う	13	5.8%	5.8%
2	整っていると思う	155	68.6%	70.0%
3	あまり整っているとは思えない	37	16.4%	17.5%
4	まったく整っているとは思えない	1	0.4%	0.4%
5	わからない	17	7.5%	4.0%
6	その他	2	0.9%	0.4%
	無回答・無効	1	0.4%	1.8%
	合計	226	100.0%	100.0%



- よく整っていると思う
- 整っていると思う
- あまり整っているとは思えない
- まったく整っているとは思えない
- わからない
- その他

n = 226

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

#### 【前回結果から】

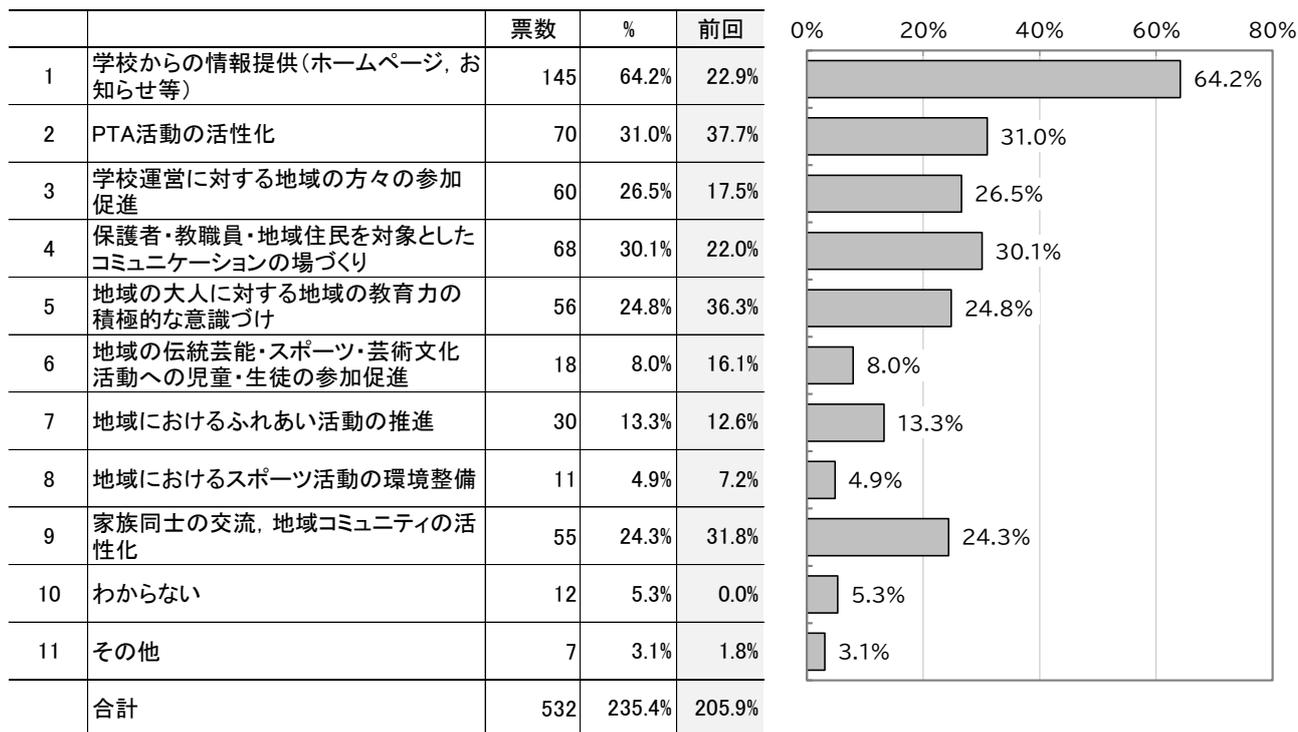
地域と家庭、学校の連携・協力体制が整っていると思うかどうかについて、「整っていると思う」が「前回(70.0%)」から1.4ポイント減少しているものの、大きな変化はない。

#### 【クロス集計から】

「よく整っていると思う」が中学校で0%となっているが、「整っていると思う」では、「中学校(73.8%)」、「小学校(65.8%)」と中学校が若干高くなっている。

**問21 あなたは学校・地域・家庭が連携協力するのに必要なことは何だと思いますか。[MA]**

学校・地域・家庭が連携協力するのに必要なことについては、「学校からの情報提供(ホームページ, お知らせ等)」が64.2%で最も多く、次いで「PTA活動の活性化」が31.0%、「保護者・教職員・地域住民を対象としたコミュニケーションの場づくり」が30.1%となっている。



n = 226

**【前回結果から】**

学校・地域・家庭が連携協力するのに必要なことについては、「学校からの情報提供」が「前回(22.9%)」から41.3ポイントと大きく増加している一方で「地域の大人に対する地域の教育力の積極的な意識づけ」が「前回(36.3%)」から11.5ポイント減少している。

**【クロス集計から】**

「PTA活動の活性化」では、「中学校(41.3%)」、「小学校(25.3%)」と中学校が高くなっている。

また、阿見町での教員の経験年数でみると、「学校からの情報提供」や「学校運営に対する地域の方々の参加促進」、「地域の大人に対する地域の教育力の積極的な意識づけ」などについては、経験年数が多いほど高い傾向がうかがえる。

## 6 学校の施設, 安心・安全な環境について

### 問22 あなたが勤務されている学校の施設や設備等について充実や改善してほしいものはありますか。[MA]

勤務されている学校の施設や設備等について充実や改善してほしいものについては、「授業で使う備品の更新(楽器, 体育器具など)」が55.3%で最も多く、次いで「机や椅子などの備品の更新」が54.4%、「情報通信技術を活用した教育に必要なコンピュータなどICT機器の充実」が38.5%となっている。

		票数	%	前回	
1	情報通信技術を活用した教育に必要なコンピュータなどICT機器の充実	87	38.5%	-	38.5%
2	授業で使う備品の更新(楽器, 体育器具など)	125	55.3%	39.5%	55.3%
3	机や椅子などの備品の更新	123	54.4%	42.6%	54.4%
4	学校図書室の蔵書の充実	36	15.9%	-	15.9%
5	カウンセリング室・相談室の整備	45	19.9%	-	19.9%
6	校内のバリアフリーの整備	46	20.4%	-	20.4%
7	特別教室の冷暖房設備	26	11.5%	63.2%	11.5%
8	トイレの改修(便器の洋式化)	32	14.2%	35.9%	14.2%
9	特にない	18	8.0%	-	8.0%
10	その他	23	10.2%	4.9%	10.2%
	無回答・無効	2	0.9%	3.1%	0.9%
	合計	563	249.1%	189.2%	

n = 226

#### 【前回結果から】

「トイレの改修」や「特別教室の冷暖房設備」などが大きく減少している。

#### 【クロス集計から】

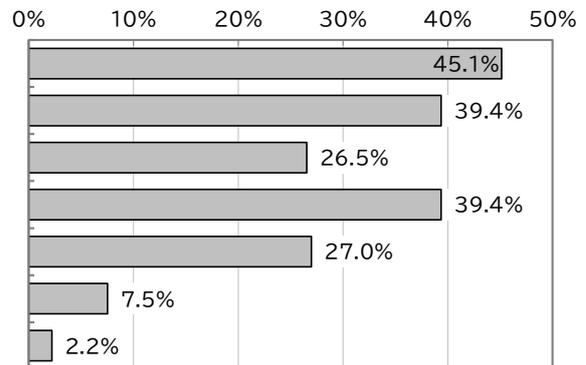
前回から減少した2項目について、小中学校で比較すると「トイレの改修(便器の洋式化)」では小学校が、「特別教室の冷暖房設備」では中学校がそれぞれ高くなっている。

「情報通信技術を活用した教育に必要なコンピュータなどICT機器の充実」では、「中学校(56.3%)」、「小学校(28.8%)」と中学校が高くなっている。

**問23 あなたが勤務されている学校の安全な教育環境づくりで、特に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(〇は3つ以内)[MA]**

勤務されている学校の安全な教育環境づくりで、特に力を入れる必要があると思うものについては、「登下校時の見守り等の防犯体制」が45.1%で最も多く、次いで「自転車の乗り方などの交通安全教育」と「災害等緊急時の保護者との連絡体制」がともに39.4%となっている。

		票数	%
1	登下校時の見守り等の防犯体制	102	45.1%
2	自転車の乗り方などの交通安全教育	89	39.4%
3	学校施設の防犯体制の強化	60	26.5%
4	災害等緊急時の保護者との連絡体制	89	39.4%
5	災害時等の避難訓練の充実	61	27.0%
6	特にない	17	7.5%
7	その他	5	2.2%
	合計	423	187.2%



n = 226

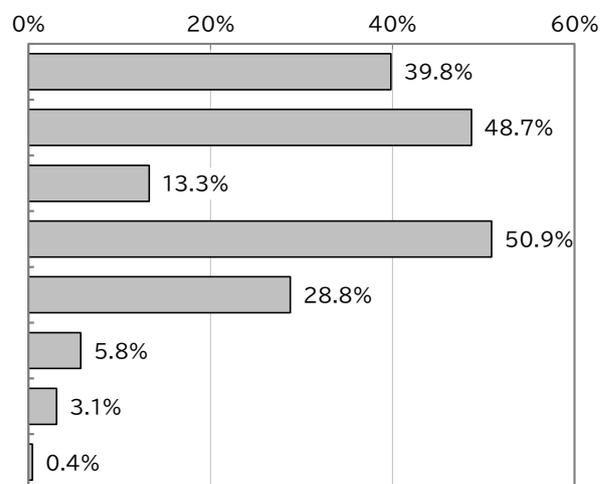
**【クロス集計から】**

「自転車の乗り方などの交通安全教育」では、「中学校(50.0%)」、「小学校(33.6%)」と中学校で高くなっている。「登下校時の見守り等の防犯体制」では、「中学校(36.3%)」、「小学校(50.0%)」と小学校で高くなっており、また、教員の経験年数が少ないほど高くなる傾向がある。「災害等緊急時の保護者との連絡体制」については、教員の経験年数が多いほど高くなる傾向となっている。

**問24 あなたが勤務されている学校の児童生徒が安心して学校生活を送れる取組として、特に力を入れてほしいものはありますか。(〇は3つ以内)[MA]**

勤務されている学校の児童生徒が安心して学校生活を送れる取組として、特に力を入れてほしいものについては、「学校・家庭・地域が連携して児童生徒の自律と社会性を育成する取組」が50.9%で最も多く、次いで「スクールカウンセラーの派遣などのサポート体制の強化」が48.7%、「生徒指導教員が中心となった校内の指導体制の充実」が39.8%となっている。

		票数	%
1	生徒指導教員が中心となった校内の指導体制の充実	90	39.8%
2	スクールカウンセラーの派遣などのサポート体制の強化	110	48.7%
3	児童生徒が取り組む暴力から自分を守るプログラム等の活用	30	13.3%
4	学校・家庭・地域が連携して児童生徒の自律と社会性を育成する取組	115	50.9%
5	児童相談所等の関係機関とのネットワークの強化	65	28.8%
6	特にない	13	5.8%
7	その他	7	3.1%
	無回答・無効	1	0.4%
	合計	431	190.7%



n = 226

**【クロス集計から】**

「児童相談所等の関係機関とのネットワークの強化」では、「中学校(38.8%)」、「小学校(23.3%)」と中学校で高くなっている。「児童生徒が取り組む暴力から自分を守るプログラム等の活用」は、教員の経験年数が「3年未満(20.0%)」が高くなっており、経験年数が少ないほど高くなる傾向である。

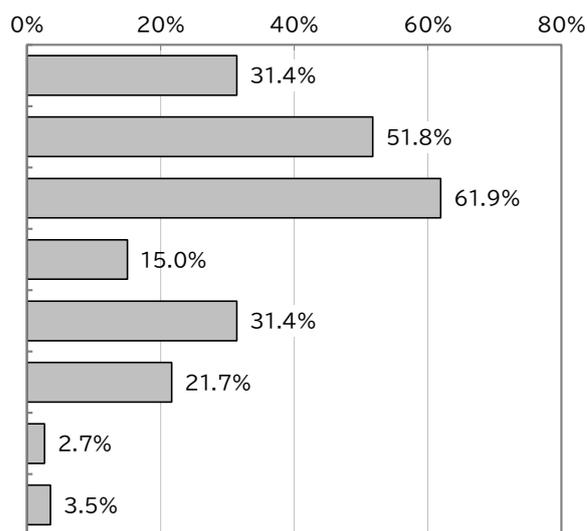
## 7 持続可能な開発目標(SDGs)について

問25 「持続可能な開発目標(SDGs)」は、「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現」を目標に、2030年までに世界共通の17の目標が掲げられています。また、教育に関する目標4として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。  
あなたは主に学校教育において、教育の質を高めていく上で、今後何が必要だと思いますか。(〇は3つ以内)[MA]

学校教育において、教育の質を高めていく上で、今後必要なことについては、「生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと」が61.9%で最も多く、次いで「画一的な教育体系ではなく、個人の特性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること」が51.8%、「就学前教育を一元化し、教育水準を均等化させること」が31.4%となっている。

		票数	%
1	就学前教育を一元化し、教育水準を均等化させること	71	31.4%
2	画一的な教育体系ではなく、個人の特性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること	117	51.8%
3	生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと	140	61.9%
4	世界で活躍できるようなグローバルな人材を育てること	34	15.0%
5	行政と民間が連携し、実践的な事柄を学べる機会を設けること	71	31.4%
6	優秀な教員を育てることができる学校環境を整えること	49	21.7%
7	わからない	6	2.7%
8	その他	8	3.5%
	合計	496	219.5%

n = 226



### 【クロス集計から】

「生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと」では、「中学校(53.8%)」、「小学校(66.4%)」と小学校で高くなっている。

「世界で活躍できるようなグローバルな人材を育てること」では、「中学校(20.0%)」、「小学校(12.3%)」と中学校で高くなっている。

最後に、阿見町の教育についてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。[FA]

※記述内容は別紙にまとめています。



# 「第2次阿見町教育振興基本計画」策定に係るアンケート調査

## — アンケート調査ご協力のお願い —



日頃より、町政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在阿見町では、令和3年度、令和4年度の2か年にかけて、「第2次阿見町教育振興基本計画」の策定に取り組んでおります。

計画の策定にあたって、町内小・中学校の教職員を対象にアンケート調査を実施し、計画策定の基礎資料とさせていただきたいと考えております。

なお、調査票は無記名でご回答いただき、調査結果については統計的に処理致しますので、回答された方の勤務校や個人が特定されることはありません。

ご多忙中の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年11月  
阿見町教育委員会

### ＜調査票のご記入にあたってのお願い＞

- 1 本アンケート調査は、紙の調査票（同封）での回答とインターネット回答が可能です。インターネット回答をご希望の方は下記URLまたは、右のQRコードからアクセスし、**11月10日（水）**までにご回答をお願いします。  
アクセス用URL：[https://enquete.cc/q/Ami\\_kyoiku1](https://enquete.cc/q/Ami_kyoiku1)
- 2 インターネットでご回答いただける場合は、紙の調査票の提出は不要です。
- 3 結果は校種別の統計となり、本計画策定以外で公開することはありません。また、本計画の策定委員や町教育委員会職員が学校現場の声を把握するための資料として使用します。



アクセスQRコード

### 以下、紙の調査票でご回答いただける場合

- お答えは、あてはまる回答番号に○をつけてください。記入欄には具体的に内容をご記入ください。
- ご記入いただいた紙の調査票は、**11月10日（水）**までに本調査用紙が入っていた封筒に入れ、封を閉じて**教頭先生にご提出**ください。回答期限後に未開封のまま回収し、集計委託業者へ引き渡します。

この調査に関して、ご不明な点やご質問などございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先：阿見町教育委員会学校教育課 担当：飯塚・大澤  
電話：029-888-1111（内線321）



問7 阿見町の学校教育で取り組んでいる①～⑳の項目についての「満足度」と「重要性」について、あなたのお考えに一番近い番号にそれぞれ○をつけてください。

※設問数がたいへん多くなっており、回答に時間が掛かりますが、ご協力よろしくお願いいたします。

評価「1」不満・重要でない 「2」やや不満・あまり重要でない 「3」どちらでもない 「4」やや満足・やや重要である 「5」満足・重要である		問7-1 学校教育の取組 《満足度》					問7-2 学校教育の取組 《重要性》				
		低い ←         → 高い					低い ←         → 高い				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅰ 未来を拓き生きる力を育てる教育の推進	回答例) 基礎的な学力を確実に身につける学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	①就学前教育の充実(幼児期の教育)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②基礎的な学力を確実に身につける学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③物事を多様な観点から論理立てて考える学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④国際教育や外国語によるコミュニケーション能力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤理科や算数・理数教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥情報モラル(倫理・道徳)の向上や情報活用能力の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑧補習等の学習支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨特別支援教育(障害のある児童生徒に適切な指導・支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	⑩豊かな心を育てる教育(道徳教育など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑪学校で取り組んでいる読書活動・図書室の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑫伝統・文化に関する教育(郷土教育)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑬命を大切にすることを育む教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑭自然体験やボランティア活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑮児童生徒の体力の向上・健康増進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑯学校行事(運動会・文化祭など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑰学校給食・食育(栄養に関する指導)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑱部活動・クラブ活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑲キャリア教育(社会的・職業的自立に必要な能力の育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑳いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉑児童生徒が教育相談等を受けることができる体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《次ページに続く》

《前ページからの続き》

評価「1」 不満・重要でない 「2」 やや不満・あまり重要でない 「3」 どちらでもない 「4」 やや満足・やや重要である 「5」 満足・重要である		問7-1 学校教育の取組 《満足度》					問7-2 学校教育の取組 《重要性》				
		低い ←         → 高い					低い ←         → 高い				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅲ 社会全体での 教育力の向上	②開かれた学校づくり（地域や家庭への情報発信など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③家庭教育向上の支援（家庭教育学級など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④学校と地域との交流や地域の人材の有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤誰もが平等に社会参画できる教育（人権教育）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅳ 安心・快適で質の 高い教育環境の創造	⑥避難訓練や防災教育，学校の防災体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦緊急時の保護者との連絡体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑧通学路の安全確保対策・交通安全教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑨小中連携や小中一貫教育の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑩学校施設（校舎・体育館・プールなど）の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問8 あなたは教育施策の効果についてどのように感じていますか。

①～⑥の項目についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。

(○は①～⑥についてそれぞれ1つずつ)

	教育施策の効果			
	大きい	どちらかとい うと大きい	どちらかとい うと小さい	小さい
①英語の教科化（小学校の教員のみ回答）	1	2	3	4
②特別の教科 道徳の推進	1	2	3	4
③アクティブラーニング <sup>*1</sup> の推進	1	2	3	4
④プログラミング教育 <sup>*2</sup> の推進	1	2	3	4
⑤インクルーシブ教育 <sup>*3</sup> の推進	1	2	3	4
⑥主権者教育 <sup>*4</sup> の推進	1	2	3	4

※1:アクティブラーニングとは…教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、ディベートやグループワークなど子供の能動的な参加による学習によって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る教育の総称。

※2:プログラミング教育とは…コンピュータのプログラミングやそれに関わる技能や思考を学ばせることで論理的思考や情報活用能力、分析力を育成する教育。

※3:インクルーシブ教育とは…全ての人に参加できる「共生社会」の実現などを目的として、特別な支援が必要な子供も含め、全ての子供一人一人の教育的ニーズに合った教育を通常学級で行うこと。

※4:主権者教育とは…「市民と政治の関わり」を学ばせることで、選挙権を持つ主権者としての自覚を醸成する教育。

問9 あなたが ICT 環境整備と併せて検討すべき内容だと思ふものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 教員の ICT 活用指導力の向上
- 2 ICT 活用を支える外部専門スタッフの活用
- 3 デジタル教科書・教材・CBT システム（コンピュータを利用した試験）の活用
- 4 ICT の活用にあたっての児童生徒の健康への配慮
- 5 保護者や地域等に対する理解促進
- 6 情報セキュリティの確保
- 7 校務における ICT 活用促進
- 8 特にない
- 9 その他 ( )

問 10 将来的な子供の減少などによる今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 児童生徒数が多すぎたり少なすぎたりする学校をなくした適正な規模の学校づくり
- 2 町内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化
- 3 小中一貫教育の推進
- 4 特定の分野(語学, 理系科目, スポーツなど)に力を入れた特色ある学校づくり
- 5 スクールソーシャルワーカー(子供が抱える様々な問題の解決を図る専門職)の充実
- 6 コミュニティ・スクール(保護者や地域が学校運営に参画する仕組み)の充実
- 7 学校の先生や支援スタッフの人的配置の充実
- 8 ICT 教育推進のための情報機器の充実
- 9 持続可能な社会の実現を目指した学習・教育活動の取組<sup>※1</sup>
- 10 防災, 防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり
- 11 土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加
- 12 わからない
- 13 その他( )

※1:持続可能な開発のための教育 ESD(Education for Sustainable Development)。地球環境問題等を自らの問題として主体的に捉え, 身近なところから取り組む学習・教育活動のこと。

### 3 学校組織・勤務環境について

問 11 あなたは職務上の悩みを誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 職場の管理職
- 2 職場の同僚
- 3 別の学校の元同僚・管理職
- 4 教育委員会
- 5 民間の相談機関(カウンセラーなど)
- 6 家族
- 7 友人
- 8 相談したいが, 周りに相談できる相手がいない
- 9 特に悩みはない
- 10 その他( )

問 12 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。(○は1つ)

- 1 大変忙しい
- 2 時々忙しい
- 3 あまり忙しくない
- 4 忙しくない

問 13 問 12で「1 大変忙しい」と「2 時々忙しい」に○をつけた方にうかがいます。  
忙しいと感じる原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |           |            |              |
|-----------|------------|--------------|
| 1 報告書類の作成 | 2 部活動の指導   | 3 保護者・来客への対応 |
| 4 授業の準備   | 5 会議が多い    | 6 研修への参加     |
| 7 生活指導    | 8 進路指導     | 9 事務処理が多い    |
| 10 行事の準備  | 11 その他 ( ) |              |

問 14 あなたは職務の忙しさを改善するために、何か取り組んでいることはありますか。  
ご自由にお書きください。

( )

問 15 あなたが児童生徒の生徒指導をする上での課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 指導をしているが効果が表れない
- 2 児童生徒との信頼関係が築けない
- 3 保護者の協力が得られない
- 4 保護者の学校不信による不満が大きくなっている
- 5 周りの教師の協力・援助が得られない
- 6 学校が組織的に対応し問題解決にあたる体制になっていない
- 7 生徒指導にかける時間が十分に取れない
- 8 特に課題はない
- 9 その他 ( )

問 16 あなたが児童生徒の学習指導をする上での課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 基礎的な学力の向上を目指した指導力の不足
- 2 観察・実験などを多く取り入れた理数教育の指導力の不足
- 3 教育用コンピュータなどを使いこなす ICT 活用能力の不足
- 4 ICT 教育に対応したネットワークやタブレット端末などの不足
- 5 児童生徒のコミュニケーション能力を育成する力の不足
- 6 児童生徒それぞれに対応した進路指導力の不足
- 7 個に応じた学習指導力の不足
- 8 児童生徒が楽しんで学べる学級づくりに向けた取組不足
- 9 特に課題はない
- 10 その他 ( )

## 4 教員の資質向上について

問 17 あなたは教師として特に必要な能力は何だと思えますか。(○は3つ以内)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 教科の指導力       | 2 学級の経営力          |
| 3 豊かな人間性       | 4 子供を理解する能力       |
| 5 コミュニケーション能力  | 6 使命感や情熱, 教育への熱意  |
| 7 公務員としての義務の自覚 | 8 子供への愛情          |
| 9 社会性・協調性      | 10 バランス感覚・一般社会の常識 |
| 11 その他 ( )     |                   |

問 18 あなたは教職員の資質向上のために必要な研修についてどのように感じますか。

①～⑩の研修内容の必要性についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は①～⑩についてそれぞれ1つずつ)

	問 18-1 研修の必要性			
	必要 だと思 う	どちらか という と必要 だと思 う	どちらか という と必要 だと思 わない	必要だ と思わ ない
①教科の指導力を高める研修	1	2	3	4
②子供の理解・学級経営の指導力を高める研修	1	2	3	4
③生活指導・教育相談の能力を高める研修	1	2	3	4
④教育課題に関する研修 (環境・国際理解・キャリア・福祉など)	1	2	3	4
⑤人権・道徳教育に関する研修	1	2	3	4
⑥健康教育・体力向上に関する研修	1	2	3	4
⑦安全教育に関する研修	1	2	3	4
⑧特別支援教育に関する研修	1	2	3	4
⑨社会体験・企業体験などの研修	1	2	3	4
⑩教育用コンピュータの活用などICTを活用した教育の研修	1	2	3	4
問 18-2 上記①～⑩以外に教職員の資質向上のために必要な研修があればお書きください。				

問 19 あなたは保護者との対応で今現在悩んでいることはありますか。(○は1つ)  
また、悩んでいる保護者との対応があれば、下枠に内容を具体的にお書きください。

- 1 たくさんある(対応できる範囲を超えている)
- 2 ある程度ある(対応できる範囲)
- 3 あまりない
- 4 まったくない

悩んでいる保護者との対応(具体的にお書きください)

## 5 地域と学校の連携について

問 20 あなたの勤務校では、地域と家庭、学校の連携・協力体制が整っていると思いますか。  
(○は1つ)

- 1 よく整っていると思う
- 2 整っていると思う
- 3 あまり整っているとは思えない
- 4 まったく整っているとは思えない
- 5 わからない
- 6 その他( )

問 21 あなたは学校・地域・家庭が連携協力するのに必要なことは何だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 学校からの情報提供(ホームページ、お知らせ等)
- 2 PTA 活動の活性化
- 3 学校運営に対する地域の方々の参加促進
- 4 保護者・教職員・地域住民を対象としたコミュニケーションの場づくり
- 5 地域の大人に対する地域の教育力の積極的な意識づけ
- 6 地域の伝統芸能・スポーツ・芸術文化活動への児童・生徒の参加促進
- 7 地域におけるふれあい活動の推進
- 8 地域におけるスポーツ活動の環境整備
- 9 家族同士の交流、地域コミュニティの活性化
- 10 わからない
- 11 その他( )

## 6 学校の施設, 安心・安全な環境について

問 22 あなたが勤務されている学校の施設や設備等について充実や改善してほしいものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 情報通信技術を活用した教育に必要なコンピュータなど ICT 機器の充実
- 2 授業で使う備品の更新(楽器, 体育器具など)
- 3 机や椅子などの備品の更新
- 4 学校図書室の蔵書の充実
- 5 カウンセリング室・相談室の整備
- 6 校内のバリアフリーの整備
- 7 特別教室の冷暖房設備
- 8 トイレの改修(便器の洋式化)
- 9 特にない
- 10 その他( )

問 23 あなたが勤務されている学校の安全な教育環境づくりで, 特に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(○は3つ以内)

- 1 登下校時の見守り等の防犯体制
- 2 自転車の乗り方などの交通安全教育
- 3 学校施設の防犯体制の強化
- 4 災害等緊急時の保護者との連絡体制
- 5 災害時等の避難訓練の充実
- 6 特にない
- 7 その他( )

問 24 あなたが勤務されている学校の児童生徒が安心して学校生活を送れる取組として, 特に力を入れてほしいものはありますか。(○は3つ以内)

- 1 生徒指導教員が中心となった校内の指導体制の充実
- 2 スクールカウンセラーの派遣などのサポート体制の強化
- 3 児童生徒が取り組む暴力から自分を守るプログラム等の活用
- 4 学校・家庭・地域が連携して児童生徒の自律と社会性を育成する取組
- 5 児童相談所等の関係機関とのネットワークの強化
- 6 特にない
- 7 その他( )





## 2 第2次阿見町教育振興基本計画の策定に係る団体ヒアリング 実施結果



**第2次教育振興基本計画の策定に係る  
各種団体ヒアリング調査 実施結果**

## 第2次教育振興基本計画の策定に係る各種団体ヒアリング調査結果

### 1. 調査の目的

平成 25 年に策定された「阿見町教育振興基本計画(基本構想、前期・後期基本計画)」が令和4年度をもって計画期間が終了することから、新たに令和5年度から令和 15 年までの 11 年後を見据えた基本構想と今後 6 年間に取り組むべき施策を示す基本計画として「第2次阿見町教育振興基本計画」を策定します。

町の地域性や現状に即した実効性の高い計画を策定するため、学校関係者や各種団体の方々に、阿見町における教育環境や教育内容、家庭教育や地域の教育力などについて、ご意見を伺います。

### 2. 実施日

・実施日:12月1日(水) 9時30分～10時30分 1団体

12月2日(木) 9時30分～16時00分まで 4団体

・開催方法:すべてオンラインによる開催

### 3. ヒアリングスケジュール及び項目

時間	団体	出席者	主なヒアリング項目
12月1日(水) 9:30～10:30 参加者:2名 事務局:5名	阿見町PTA連絡協議会	・本郷小学校PTA会長 ・朝日中学校PTA会長	1. 活動や取組状況と課題等について 2. 学校や地域との連携等について 3. 地域における子供との関わり方等 4. 学校の教育環境・安全確保に望むこと 5. 阿見町の教育において重点的に取り組むべきこと(教育施策全般)
12月2日(木) 9:30～10:30 参加者:7名 事務局:4名	阿見町小学校校長会	・阿見小学校長 ・本郷小学校長 ・君原小学校長 ・舟島小学校長 ・阿見第一小学校長 ・阿見第二小学校長 ・あさひ小学校長	1. これまで(5～10年間)における教育施策の効果と課題について 2. コロナ禍における学校教育における課題とICTの取組の進展 3. 学校の生徒指導や児童生徒との関わり方等 4. 家庭教育, 地域の教育力, 子どもの放課後の過ごし方 5. 学校の教育環境・安全確保に望むこと 6. 阿見町の教育において重点的に取り組むべきこと(教育施策全般)
12月2日(木) 10:45～11:45 参加者:3名 事務局:4名	阿見町中学校校長会	・阿見中学校長 ・朝日中学校長 ・竹来中学校長	1. 阿見町教育相談センターの活動と阿見町の課題 2. 児童生徒やとの関わり方等 3. 学校の教育環境・安全確保に望むこと 4. 阿見町の教育において重点的に取り組むべきこと(教育施策全般)
12月2日(木) 13:30～14:30 参加者:1名 事務局:4名	阿見町教育相談センター	・主任学校教育指導員	1. 阿見町教育相談センターの活動と阿見町の課題 2. 児童生徒やとの関わり方等 3. 学校の教育環境・安全確保に望むこと 4. 阿見町の教育において重点的に取り組むべきこと(教育施策全般)
12月2日(木) 10:45～11:45 参加者:3名 事務局:4名	阿見町子ども会育成連合会	・子ども会育成連合会会長 ・子ども会育成連合会副会長	1. 活動や取組状況と課題等について 2. 学校や地域との連携等について 3. 地域における子供との関わり方等 4. 学校の教育環境・安全確保に望むこと 5. 阿見町の教育において重点的に取り組むべきこと(教育施策全般)

## 4.ヒアリング結果の概要

### ①小中＋幼保連携（9年+α）が今後の課題

- ・小中学校の9年間を通した切れ目のない教育の推進は、情報の交換や対策等はすごく細かく図られていますが、幼保を含めて、小中学校＋幼保連携となるのが課題です（小学校長会）。

### ②学校教育だけでなく、関係各課、関係機関等との横断的な連携が必要

- ・教育ニーズが多様化・個別化しすぎて、1つの学校ではなかなか対応しきれない状況になってきていることから、学校教育のみならず、都市計画課や生活環境課、福祉部局等との強力な連携が今後とも必要になってきます（小学校長会）。
- ・福祉・警察・少年相談員・民生委員、そういった関係機関とのさらなる連携も必要です（小学校長会）。

### ③不登校生徒へのさらなる支援充実が必要

- ・不登校生徒が増えてきてしまっていますが、不登校の生徒が通える支援室として、不登校支援教室（通称：集いの部屋）をつくっていただき、それがきっかけになって、学校に足が向くようになってきた子が数名ずつ出てきています。教室があると無いとでは大違いです（中学校長会）。
- ・不登校については、今は子ども達が学校に行かなくてはいけないというのはなくなってきているので、そういう意味では、町の方でセカンドスクールみたいなものをつくってはどうか（子ども会）

### ④支援員のさらなる充実が必要

- ・支援員（会計年度任用職員）の採用について、阿見町は他市町村に比べて充実しており、ここ数年間でますます充実してきています（小学校長会）。
- ・発達障害の子どもも増えてきています。どうしても個別指導が必要になり、マンツーマンの体制を取らざるを得ないのが現状です（相談センター）。
- ・保護者の方、お子さんを合わせると中々予約が取れない状況となっているため、スクールカウンセラーを増やしていただきたいです（相談センター）。
- ・スクールカウンセラーというか、臨床心理士の配備をできたらお願いしたいです（中学校長会）。
- ・子どもに対するケアと同時に親に対するケアも必要だと思います（PTA）。

### ⑤先を見据えたオンライン事業の環境整備

- ・学校のWi-Fi環境というか、まだまだ課題が大きい。接続の状況がうまくいかないとか、家庭環境というか、経済的格差が学力格差になってはいけません（小学校長会）。
- ・コロナ禍における学校教育においてICTの取組は大きく進展したが、Wi-Fi環境が整っていない家庭があり、オンライン事業を一斉にまだできる状況でないというのが、阿見町としては課題です（小学校長会）。
- ・フリーWi-Fiも役場の中と交流センターしか飛んでいません。子どものオンラインの学びが家庭で環境が整ってなくてもそういった所を利用することができます（小学校長会）。
- ・町として公的機関にもっとフリーWi-Fiに接続できる所を広げていただいて、そこに見守り番としてどなたか1人いてくだされば、子どもの放課後のICT学習等もできます（中学校長会）。
- ・家庭でもリモート授業が実践できるように、モバイルルーター等の貸し出し等も積極的に進めていかなければならないと思います（中学校長会）。

⑥子どもと地域の交流の場が必要

- ・コロナで学校行事が減っているというところで、PTAの活動と地域の皆さんとの交流する場というのもなくなくなってきているため、PTAや学校、地域、行政等みんなが連携して、子ども達と地域が関われる場を取り戻せるかが大きな課題となっています（PTA）。

⑦コミュニティスクールを見据えた地域との繋がり

- ・コミュニティスクールは、町の助言・指導のもとで環境整備等も含めて、町と学校で調整しながら進めていきたいです（小学校長会）。

⑧部活動改革（外部指導者等）が必要

- ・球技大会とかバドミントン大会とかいろいろ計画してきましたがこのコロナ渦の影響で二年ぐらい何も出来てない状況です（子供会）。バドミントンとか、柔道・剣道のように特徴的な種目があるので、そういうものが伸びていけるような施設を作っていただきたいです（中学校長会）。
- ・部活動の統廃合、外部指導者、部活動の指導員の問題など、学校だけでは解決できない事になってくる。町主導で本格的に部活動改革（部活動の地域移行）への本格的な議論が必要です（中学校長会）。

⑨共生社会の環境整備が必要

- ・児童・生徒だけでなく教員も含めて性的マイノリティ（LGBTQ）に対する対応というのは、早急な対応が必要です。（小学校長会）。
- ・トイレの整備やプールの時の着替えの場所などについて、整備がなかなか進んでいない状況です（中学校長会）。
- ・車イスでの学校生活やLGBTなどについて、多目的トイレの設置など、対応が必要な状況が沢山ある。また、洋式トイレの早急な整備もお願いしたいです（小学校長会）。
- ・プールの老朽化に伴う維持管理費用や環境整備について、水泳学習の外部委託等を含めて検討してはどうでしょうか（中学校長会）。

⑩子どもの安全確保・子どもの生活環境における問題

- ・通学路の見直しを保護者の意見を取り入れて町と協力して進めていきたいです（PTA）。
- ・登下校の見守りなどの活動とそれを支える保護者等の負担に地域差があります（PTA）。
- ・スマートフォンによる知らない人との交流、ちょっとしたLINEの打ち間違いによるいじめの発生など、そのような意識の中に潜む危険があります（PTA）。
- ・学校が楽しさやいじめの有無を分析できるQUテストなどを取り入れていってはどうでしょうか（子ども会）
- ・全力で遊べるような遊具について、古い遊具の安全管理を進めながら、新しい遊具も検討していただきたいです（PTA）。
- ・PTA（Parent-Teacher-Association）活動は“P”（Parent）だけでなく、もっと地域、行政、学校、保護者ともっと一体感を持って進めたいです（PTA）。

⑪人員不足・働き方

- ・学校給食については人的資源，人数が少ないと感じています（小学校長会）。
- ・働き方改革というのは，特に他市町村に比べてかなり色々な施策が打ち出されています。目に見える勤怠システム，ICカード等を出入口でかざすと勤怠の管理ができるシステムの導入が必要です（小学校長会）。

⑫施設のバリアフリー化と全町的な利用できる施設の整備が求められている

- ・体育館のお手洗いを綺麗にしていきたいです（PTA）。
- ・相談センターに通われているお子さんでスロープを必要とする車いすのお子さんがいらっしゃった時に対応できない状況でもあります（相談センター）。
- ・町中に大きなホールがあれば，講演会や音楽発表会ができます。また，陸上競技場についても他市町村の施設を借りながらやっている状況です（中学校長会）。

⑬人口減少対策としての教育のビジョンの明確化が必要

- ・小規模特認校や人材，教育ビジョンなどを，どのように位置づけて，差別化し，特徴として打ち出すか。町としてのビジョンが明確になると，他市町村に無い魅力が生まれて人口増や教育を通した色々な施策にも貢献できます（小学校長会）。

⑭人口増加と人口減少に伴う学校の適正配置が課題

- ・朝日中学校の場合，通常学級が今年は3教室増え，来年も3教室増える予定となっており，余裕教室が無くなります。2年，3年後にはもう収まらないことが予測されます。
- ・1番の課題は，来年は全校生徒で500人を超えそうで，その生徒が体育館に収まらず，始業式も終業式も，1学年だけ体育館に入れて，残りの2学年はリモート（電子黒板）で参加しているような状況となっていることです（中学校長会）。
- ・本郷小学校において，急速な人口流入による，都市化が進み，都市計画が先に進んでいることから学校の在り方が問われています（小学校長会）。



3 第2次阿見町教育振興基本計画の策定に係る達成度調査 実施結果



**阿見町教育振興基本計画後期基本計画  
進捗状況調査**

# 阿見町教育振興基本計画後期基本計画進捗状況調査結果

## 1. 調査の目的

後期基本計画期間における施策の達成状況を把握し、評価するとともに、施策の課題を踏まえた第2次計画での位置づけを明らかにすることを目的に実施します。

## 2. 調査内容

達成度評価の調査内容は、具体的施策細目の進捗率や評価、第2次計画への位置づけについて入力していただき、進捗率と評価の理由について記載いただきます。

目標指標値の令和3年度（現状値）と令和4年度（見込み値）については、事務局で事前に入力を想定しています。

### (1) 具体的施策細目について

#### A. 進捗率（5段階評価（選択））

（5.概ね完了した／4.着手しているが完了していない／3.実施予定だが未着手／2.課題があり未着手／1.実施見込みなし・廃止）

#### B. 評価（5段階評価（選択））

（5.期待される成果があがっている／4.目的は達成しているものの課題あり／3.期待された成果があがっていない／2.ほとんど評価できない／1.評価不能）

#### C. 2期計画への位置づけ（4段階評価（選択））

（4.位置づける必要はない／3.同じ内容で位置づける必要がある／2.内容を若干修正して位置づける必要がある／1.内容を大幅に修正して位置づける必要がある）

#### D. 進捗率及び評価の理由（記述）

進捗率では、進捗率の廃止、未着手の課題、未着手の理由等記載していただき、評価では、課題や成果があがらない理由等を記載

### (2) 作成する調査票について

- ①調査票1「阿見町教育振興基本計画後期基本計画進捗状況調査」
- ②調査票2「目標指標調査」

## 3. 実施時期

・令和3年10月下旬から11月12日まで

				【A進捗率】具体的施策細目の内容についての進捗率 1～5の評価について該当する項目を選択してください。各セルがプルダウンで選択できます。 5→ 概ね完了した 4→ 着手しているが完了していない 3→ 実施予定だが未着手 2→ 課題があり未着手 1→ 実施見込みなし・廃止	【B評価】具体的施策細目の内容についての評価 1～5の評価について該当する項目を選択してください。各セルがプルダウンで選択できます。 5→ 期待される成果があがっている 4→ 目的は達成しているものの課題あり 3→ 期待された成果があがっていない 2→ ほとんど評価できない 1→ 評価不能			【C第2期計画への位置づけ】 1～3の評価について該当する項目を選択してください。各セルがプルダウンで選択できます。 3→ 同じ内容で位置づける必要がある 2→ 内容を修正して位置づける必要がある 1→ 内容を位置づける必要はない		【D進捗率及び評価の理由 (評価の理由を簡潔に記述してください) ※進捗率(例)では、進捗率の廃止、未着手の課題、未着手の理由等記載 ※評価(例)では、課題や成果があがらない理由等を記載
基本目標	基本方針	具体的施策	具体的施策細目	具体的施策細目の内容	担当課	A 進捗率 1～5 R2末時点	B 評価 1～5 R2末時点	C 2次計画への位置 づけ1～3 R2末時点	D	
						プルダウンによる選択				
1阿見町の教育の基本理念の普及・啓発	1)9年間を通した切れ目ない教育の推進		①阿見町の教育の基本理念の周知・啓発	・町広報紙・ホームページに「阿見町教育振興基本計画」の概要を掲載するなど、計画の周知に努めます。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	阿見町の教育の方向性を周知するために今後も必要	
				・阿見町の教育の方向性等を広く周知するために、「阿見町教育の基本理念」、「阿見町教育目標」、「阿見町の学校教育目標」等を、町広報紙・ホームページだけでなく、学校要覧その他のメディアを活用しながら、広く町民に知らせる広報活動を行います。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	町民に対する周知の方法がホームページに掲載している以外の周知の取組がないため、評価は4としました。	
				・現在の教育の動向、指導要領の目指す姿など、教育に関する広報活動を分かりやすく、かつ広く行います。	指導室	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	町民に対する周知の取組が見られないため、進捗4、評価3としたが「広くわかりやすく周知する」対象について見直しが必要か。	
				②「阿見町教育の日」の推進	指導室	1 実施見込みなし・廃止	1 評価不能	1 内容を位置づける必要はない	毎年11月第1土曜日の催しについては、学校の働き方改革の一環で、在り方を大幅に見直し、主催課を生涯学習課に移管した。	
				③阿見町独自の小・中9年間を通した具体的かつ実践的な教育目標の構築	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	「小1プロブレム」「中1ギャップ」の「解消を図る」でよいか、「一貫した指導」であれば、「円滑な接続を目指す」か？(以下同じ)	
				④小・中学校の相互交流活動の充実	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	保幼小接続を目指し、教員及び幼児児童の交流は計画している。コロナ禍のために交流をとらう活動が計画通りに実施できていない。	
				⑤学習の連続性を重視した進級時の学習サポートシステム	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
				⑥スタートカリキュラムの推進	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
				⑦要援護者への経済的支援	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	経済的理由で就学困難な家庭へ就学援助費を交付したため。	
				⑧遠距離通学者への支援	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	学校統合により閉校となった旧東教小学校区及び旧吉原小学校区の児童、阿見中学校及び竹来中学校区の6km以上の生徒に対してスクールバスの運行を実施したため。	
				・学校再編などで、通学のためのスクールバスが必要となる児童生徒に対してスクールバスを運行します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	学校統合により閉校となった旧東教小学校区及び旧吉原小学校区の児童、阿見中学校及び竹来中学校区の6km以上の生徒に対してスクールバスの運行を実施したため。	
				・片道6km以上の自転車通学者や片道4km以上のバス通学者に対しては、補助金を交付し経済的負担の軽減に努めます。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	片道6km以上の自転車通学者の補助金交付申請者に対して補助金の交付を実施したため。	
				・小学校児童の通学手段である路線バスについては、その運行を存続させるよう、路線バスの運行事業に要する経費を負担します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	路線バス運行事業補助金を交付したため。	
具体的施策の平均値						4.6	4.4	2.8		
基本方針の平均						4.6	4.4	2.8		
2幼児教育の推進	1)幼・保・小連携の促進	①幼・保・小連携による幼児教育の充実	・町内の幼稚園、認定こども園、保育所と小学校が情報交換等を密に行うことで、互いの指導法や指導技術を共有し、幼児教育の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により、合同の研修会は中止。ほとんどの幼児教育施設は、小学校との情報交換に積極的であるが、一部に課題が見られる。		
			・発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育との連携を図った指導や、小学校生活科を中心に、児童が小学校生活に無理なく対応できるよう入学当初において合科的な指導(スタートカリキュラム)の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	その年の入学生や学校の実態に応じて、毎年継続的に見直ししながら進めている。		
			具体的施策の平均値						5.0	4.0
2幼児教育の推進	2) 幼児教育の支援	②家庭や地域の教育力の再生・向上	・子育て世代への経済的支援として、私立幼稚園の入園料・保育料に対し、世帯の所得に応じて国・町から補助金を交付します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	1 内容を位置づける必要はない	令和元年度まで幼稚園就園奨励費補助金を交付していたが、幼児教育無償化に伴い制度が廃止となったため。		
			・家庭教育の基礎の上に、職業観や人生観、創造力、企画力が培われることから、家庭教育学級や三世代交流、子育て支援センターの活動など保護者とその責任を自覚し、幼児期から子どもとの接し方や教育の仕方を身につけていけるような、学習機会を提供します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナの影響で実施できない期間があった。		
			・地域に向けた情報の発信を行い、保護者や地域住民等の学校に対する理解を深めるとともに、家庭・地域の教育力を高めるため、地域の人材の育成と確保に努めます。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	広報活動が固定化している。		
具体的施策の平均値						4.3	4.3	2.3		
基本方針の平均						4.7	4.2	2.4		

3確かな学力の定着を目指した教育の推進	1)基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成	①分かる授業による国語、算数・数学、英語の基礎・基本の定着	・教員の指導力の向上を図り、児童生徒が「分かった」、「できた」と実感できる授業を行います。特に基礎教科である国語、算数・数学や、外国語(英語)の習得の徹底を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	よりよい授業づくりを目指し、継続的に見直しが必要	
		②主体的に取り組む家庭学習の工夫改善	・児童生徒の学力向上には、家庭学習等の主体的な学習への取組が必要です。児童生徒が自ら課題をもち、その解決のために計画的・主体的に学習を進めることができるように、個に応じた学習課題を設定します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	個に応じた課題の設定にさらなる改善が必要	
			・ホームページ等から気軽に家庭学習の情報を取りこめるよう、web版の教育プログラムなどを積極的に紹介していきます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした「気軽に」は「手軽に」?	
		③基礎学力向上のための個に応じた指導法の改善	・基礎的・基本的な知識・技能の定着や、思考力・判断力・表現力の向上を目指し、児童生徒一人一人の実態に応じてより効果の上がる指導法を工夫します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	指導法の工夫改善は今後も継続的に取り組む必要がある	
	・きめ細やかな指導を行うため、授業では、2人以上の先生が同じ教室で授業を行うティームティーチング(TT)を実施します。また、少人数加配教員が配置されていない学校においても社会人TTを配置し、児童の学習援助と学力向上を図ります。		指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
	・「学びの広場(県事業)」を活用して、小学校児童を対象に夏休みに県が作成した算数学習教材を用いて学習する場を提供し、四則計算等の知識・技能の定着を図るなど、前学年までの学習事項を復習する機会の拡充を図ります。中学校生徒においても、基礎的・基本的な知識・技能等に関する問題からなる学習教材(問題集)を用いて定着を図ります。		指導室	1 実施見込みなし・廃止	1 評価不能	2 内容を修正して位置づける必要がある	県の事業は廃止。そのため、評価不能。日常の教育活動の中で取り組んでいく必要はある。		
	具体的施策の平均値					4.3	3.8	2.8	
	2)学習意欲の向上	①小学校高学年における教科担任制の導入	・教員の専門性を生かした学習指導を行うことで、児童生徒にとって、より分かりやすく学習効果の上がる学習指導をすることができ、学校内での教員の学習指導に対する研修の機会ともなることから、小学校高学年における教科担任制の導入を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	一部の教科で導入開始。今後さらに充実させる必要がある。	
		②学習への関心・意欲を高めるための指導法の工夫	・児童生徒が意欲をもって学習に取り組むことで、学力の向上が期待されることから、学力の3要素の一つである、「主体的に学習に取り組む態度」を高めるために、教員の指導方法の工夫・改善に努めます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	指導法の工夫改善は今後も継続的に取り組む必要がある	
	具体的施策の平均値					5.0	4.5	3.0	
	3)言語活動の充実	①多様な言語活動を取り入れた授業の展開	・「読んだり書いたりする楽しさを味わわせる(思考力・判断力・表現力)」、「伝えたいことを明確にし、書いたり話したりする(主体的に学習に取り組む態度)などの活動を小学校の低学年から取り入れた授業を展開していきます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	指導法の工夫改善は今後も継続的に取り組む必要がある	
			・思考力・判断力・表現力の向上には、記録・要約・説明・論述などの知識・技能の活用を図る「言語活動」が有効であることから、発達の段階に応じて、学習活動のなかで「言語活動」を十分に取り入れた指導を進めます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	指導法の工夫改善は今後も継続的に取り組む必要がある	
・言語活動の充実のためには、様々な文章や資料を読む機会を増やすなど、言語に関する環境の充実が欠かせないことから、学校図書館の蔵書数の拡大や学校図書館司書によるレファレンス活動の充実にも努めます。			学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校の学校予算の範囲内で学校図書館の蔵書数の拡大を図っているため。		
②学校図書館の充実と効果的活用、読書環境の整備		・小・中学校の学校図書館の図書を整備充実を図り、計画的な教育振興に努めます。そのため、小・中学校の図書充足率100%を目指します。〔学校図書館図書標準に基づく学級数に対応した蔵書数に対する充足率。小学校24クラスの標準11,560冊〕	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校において学級数に応じた標準蔵書数を達成しているため。		
		・小・中学校に学校図書館司書を配置し、児童生徒の読書活動や学習活動を援助します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校に学校図書館司書を配置し、児童生徒へ援助しているため。		
		・県で進めている「みんなにすすめたい一冊の本事業」に積極的に参加します。	指導室	5 概ね完了した	3 期待された成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	読書活動のさらなる推進に向けて工夫が必要		
具体的施策の平均値					5.0	4.3	3.0		
4)外国語教育の推進	①小学校における外国語教育の充実	・グローバル化により、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性が高まるなか、国際社会で活躍できる人材を育成するために小学校中・高学年からの外国語活動及び高学年からの外国語科の充実を図ることとし、専科指導の充実や外部人材の活用などに取り組みます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
		・外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図る態度を育むとともに、我が国と外国の言語や文化について体験的に理解を深めていきます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
		・小学校の外国語活動及び外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続を図るための指導の工夫・改善を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
	②外国語指導助手(ALT)の活用	・児童生徒の英語学習を援助し国際的な視野を学ぶ機会を確保するためには、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図る態度を育むことや、外国語に慣れ親しむこと、我が国と異なった言語や文化について体験的に理解を深めることが大変効果的であるとの観点から、中学校に一人ずつ外国語指導助手(ALT)を配置し、小・中学校で授業の補助を行います。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	小学校高学年でも英語が必修化されており、外国語教育の需要は増している。さらなる推進が必要。		
		③英語コミュニケーション能力の育成	・小学校段階では、コミュニケーション活動や英語への慣れ親しみを重視して英語への関心を喚起します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	・中学校段階では県事業を活用しながら、正しい発音等を身につけさせるとともに、生徒の聞く力、書く力などの英語力向上を図り、意欲をもって英語学習に取り組めるよう指導します。		指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
	④英語インタラクティブフォーラム※	・県事業(英語インタラクティブフォーラム)への町内中学生の参加促進を図り、英語のコミュニケーション能力の向上に取り組めます。	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により県事業が実施なし。英語のコミュニケーション能力の向上には必要あり		
	具体的施策の平均値					4.6	3.7	3.0	
1章 未	①算数・数学の授業力向上	・学習への関心・意欲を高め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための指導力向上を図ります。阿見町の授業スタンダード(課題提示の工夫、適用問題に時間の確保)による授業改善を通して、「分かった」、「できた」と実感できる授業を展開します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
		②小学校における教科担任制の導入	・理科の免許保有者が担任に代わり理科の授業を行います。専門的な知識や技能を有する理科担当者が授業を行うことで、児童の科学への興味・関心をより高めることを目指します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	導入校においては、成果が見られた。今後は教科担任制の拡充の方向	

5) 理数教育の充実	③近隣の高等教育機関と連携した理科教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>「科学技術創造立県いばらき」の将来を担う人材を育成するため、「小学校理科教育推進事業(県事業)」を活用し、茨城大学教員による理科授業の観察・実験の実技研修や茨城大学教育学部附属学校の教員による出前授業等を通して、理科教育の充実を図ります。</li> <li>・大学生等から理科支援員を募集し、観察・実験活動等における教員の支援や実験等の演示・体験活動等でのサポートなど、小学校の理科授業に活用します。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	茨城大学生の支援の他、県立医療大学による別事業「アイラボキッズ」を実施。県立医療大学も含めて今後計画が必要	
	④科学研究作品展等への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小学校理科教育推進事業(県事業)」により茨城大学の教員や大学院生等による科学自由研究の指導が夏季休業中に受けられることを活用し、科学研究作品展や発明工夫展への積極的な参加を促進します。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>4.2</b>	<b>3.8</b>	<b>2.8</b>		
<b>基本方針の平均</b>				<b>4.6</b>	<b>4.0</b>	<b>2.9</b>		
1) 情報活用能力を育てる教育の充実	①メディアリテラシー※対策の強化・情報モラル教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアリテラシー対策の強化を図るため、小・中学校の情報担当教員を対象とした実技研修会を開催します。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を育成する情報モラル教育、情報手段を適切に活用する教育の充実を図ります。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が正しくICTを活用できるよう、インターネットや携帯電話を利用する上での危険性について、児童生徒及び保護者を対象にメディアリテラシー教育を実施します。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	今後も継続的に、内容を常に更新しながら取り組む必要がある	
	②ICTに関する指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する興味・関心・理解を促し、個に応じた学習を支援するため、教科指導におけるICT活用の推進を図ります。</li> </ul>	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒1人1人端末や電子黒板の導入によりICTを活用した学習を実施しているため。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なコンテンツ等を円滑に運用するための教職員への導入時の適切な研修と継続的な研修の実施に努めます。</li> </ul>	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒1人1人端末や電子黒板の導入年度に操作方法等の研修会を実施したため。	
	③教科におけるICTを効果的に活用した授業の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校にICT支援員を派遣し、ICTを活用した授業の支援等を行います。</li> </ul>	学校教育課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校にICT支援員を配置したが、1校当たりの訪問回数が月2回のため、ICT支援員及び訪問回数の増加が必要となるため。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導において、ICTを活用することは、学習に対する興味・関心・理解を促し、個に応じた学習を支援するために非常に有効であるため、様々な教育用のコンテンツを活用していきます。</li> </ul>	学校教育課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒1人1人端末や電子黒板の導入によりICTを活用した学習を実施しているため。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの文字入力等の習得、プログラミングの思考力の育成に努めます。</li> </ul>	学校教育課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒1人1人端末や電子黒板の導入によりICTを活用した学習を実施しているため。	
	④学力向上支援システム・コミュニケーションシステムの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用して、学校・家庭で、自主的な学習を進めることのできる学力向上支援のためのシステムの導入を検討し、小・中学校児童生徒の学習機会を拡大します。</li> </ul>	学校教育課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	構内通信ネットワークを整備するとともに児童生徒1人1人端末や電子黒板の導入によりICTを活用した学習を実施し、学力向上に努めているため。	
	⑤学校のICT環境の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ活用できるよう各教室・コンピュータ教室・職員室に、教育用コンピュータ、校務用コンピュータ、電子黒板、デジタルテレビ等の整備、教育用ソフトの充実、校務支援システムの導入など学校のICT環境の整備充実</li> </ul>	学校教育課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒1人1人端末・校務支援システムや電子黒板の導入により小・中学校のICT環境を整備したため。	
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>4.5</b>	<b>4.4</b>	<b>3.0</b>		
4時代に対応した教育の推進	2) 環境教育の充実	①体験活動を通じた環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を通して環境についての学びを深めるため、自然体験・リサイクル活動などに取り組むとともに、地域の環境に関する施設や地域の協力者と連携を深めます。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	3 期待された成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	
		②霞ヶ浦をテーマにした環境教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の宝である霞ヶ浦をテーマとして、浄化に係わることなど、地域の課題や身近な課題と関連づけた取組を推進します。また、霞ヶ浦環境科学センターの活用など、関係機関との連携を深めます。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	3 期待された成果があがっていない	コロナ禍により、体験や外部との連携が難しかった。	
	③学校で取り組む環境対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー活用を通じた環境教育の具体例として、全中学校に太陽光発電装置を設置します。</li> </ul>	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	1 内容を位置づける必要はない	全中学校に太陽光発電設備を設置済み。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育の充実を図るために、自分たちでできる環境対策として、新エネルギーやエコ、3R※、などについての教育(ESD※)を進めます。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	④環境教育のリーダーとなる教員の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県の研修会、講習会に環境教育のリーダーとなる教員を派遣するなどして、環境教育の指導法の充実を図ります。</li> </ul>	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	2 内容を修正して位置づける必要がある	町の担当課と連携し、環境教育にあたる必要がある。	
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>4.4</b>	<b>3.4</b>	<b>2.4</b>		
3) 多文化共生の推進	①外国人児童生徒等の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化の進展に伴い、帰国児童生徒や外国人児童生徒の受け入れが多くなっていることを踏まえ、一人一人の実態を的確に把握して、当該児童生徒が自己実現を図ることができるよう配慮します。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解を深めることにより、外国人の長所や特性を認め、互いに尊重し合い、広い視野をもって異文化を理解し共に生きていこうとする姿勢を育てます。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	②国際交流活動との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の国際交流活動や国際理解教育などと教育活動との連携を深めます。</li> </ul>	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	国際理解教育は計画通り実施しており、左記の評価とした	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生海外派遣事業を核として、国際交流協会と連携を図っていきます。</li> </ul>	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	2 内容を修正して位置づける必要がある	コロナ禍により核となる事業が中止。	
③国際化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生徒の国際理解と姉妹・友好都市交流を深めるため、アメリカ合衆国 Wisconsin州 スーペリア市及び中国柳州市でのホームステイを実施します。</li> </ul>	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	2 内容を修正して位置づける必要がある	コロナ禍により事業が中止。事業に参加する中学生やその家庭のニーズから、訪問・受け入れ相手を見直す必要がある。また、働き方改革の観点から、引率の在り方について見直す必要がある。		
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>3.8</b>	<b>3.4</b>	<b>2.6</b>		

基本方針の平均				4.2	3.7	2.7		
5学力を支える教師力の向上	1) 教員の資質向上	①年齢や能力に合わせた教員研修の効果的な実施	・教員の専門的資質能力の向上を目指し、教頭研修会、教務主任研修会、学年主任研修会、初任者研修会、生徒指導主事研修会等の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
			・海外研修制度、大学での研修制度など県が実施している制度を積極的に活用します。	指導室	5 概ね完了した	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	R2年度は該当者がなく実施しなかったため、評価不能とした。
		②教員の視点にたった教育環境の整備検討	・児童生徒の学力、教職員の教育技術向上を図るため、必要な教材備品等を整備し授業に活用します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	学学校からの要望どおり教材備品等を整備したため。
			・健診・保健に関する情報提供等を実施し、教職員の健康の保持増進を図ります。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	教職員の健康診断及びストレスチェックを実施しているため。
			・飲料水・プール水・空気・照度・ダニ検査を実施し、環境衛生の管理を行います。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	環境衛生の管理のため各検査を実施しているため。
			・校務支援システムを導入し、学籍管理や成績処理の効率化を図ることにより、教職員が一人一人の児童生徒と向き合う時間の確保に努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・学校現場において、教員の働き方を改革し、教員の担うべき業務に専念できる環境の整備を目指します。	学校教育課	4 着手しているが完了していない	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	今後も重点的な取組を継続することが必要。	
		③町独自の教職員支援制度	・町教育研究会が実施している授業研究や部会ごとの発表会などの活動を支援します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	働き方改革の観点から、大幅な見直しが必要
			・小・中学校における研究の支援に努めるとともに、その成果を多くの教員が共有できるよう、町教育委員会の指定による教育研究発表会を開催します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
			・教科ごとの指導教員を小・中学校に計画的に派遣し、授業参観等を通して、指導法等についての指導・助言を行い、教員の資質向上を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
	・町教育論文を募集し、優秀者については表彰するとともに、その論文を町内教員が閲覧することにより、意識の醸成と啓発に繋げます。		指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	④阿見町に愛着をもって教育を推進する教員の育成	・転入してきた教職員に対しては、地域の特性を知るために町内施設の見学を実施し、勤務地である阿見町の自然・産業・史跡等についての理解を促します。	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により事業が中止	
	<b>具体的施策の平均値</b>				<b>4.7</b>	<b>4.3</b>	<b>2.9</b>	
	2) 多様な学習支援の充実	①確かな学力の定着を目指した学習支援ボランティアの活用	・大学生等から学習支援ボランティアを募り、支援を希望する小・中学校に配置します。	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	1 内容を位置づける必要は	ボランティアでよいのかという点から検討が必要
			・夏季休業中の学習相談等で、学習支援ボランティアを積極的に活用します。	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	1 内容を位置づける必要は	働き方改革の観点から大幅な見直しが必要
②地域の人材による学校支援の充実		・学校が必要とする支援を行うために、地域住民ボランティアが活動しやすいよう受け入れ体制を整えます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	地域住民ボランティアと学校との適切な関係づくり、システムづくりが必要。 コミュニティスクールが念頭の記事であれば、生涯学習課扱い	
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>3.0</b>	<b>2.0</b>	<b>1.3</b>		
<b>基本方針の平均</b>				<b>3.8</b>	<b>3.1</b>	<b>2.1</b>		
6自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進	1) 個々の教育的ニーズに対応した指導の充実	①特別支援教育支援員を対象とした障害の特性や支援方法についての研修の実施	・「特別な配慮を要する子どもに対する具体的な対応」について、発達障害の理解に視点をおきながら、特別支援学校の教員を講師に招き、研修を行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		②特別支援教育に関する校内委員会の定期的な開催	・学校においては、校内委員会等を定期的に開催し、「気になる子・配慮を要する子」に対する具体的な支援方法について話し合いをもち、課題解決にあたります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		③特別支援学校、特別支援教育コーディネーターの活用	・各学校において教職員の理解を促進するため、特別支援学校の巡回相談の積極的な活用を図ります。また、特別支援教育コーディネーターを校内研修の企画、校内の教員の相談役、関係機関との連携調整等、校内の特別支援教育の推進役として活用します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		④特別支援教育支援員の配置	・小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、教員の補助として児童生徒の学校生活支援を行います。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	年々ニーズが高まっており、今後さらなる拡充の必要がある。
	<b>具体的施策の平均値</b>				<b>5.0</b>	<b>4.8</b>	<b>3.0</b>	
	2) 就学前からの支援充実と発達障害に対する理解促進	①支援を必要とする就学前児童に対する切れ目ない相談・支援体制の充実	・保健・福祉部門による幼稚園・保育所などへの巡回指導、教育委員会との情報の共有化・連携による継続した相談・支援体制の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		②県が実施する発達障害に関する研修などへの参加促進	・教員が、特別支援教育の理念や発達障害等の特性、支援方法について理解することによって、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援等が行えるように研修を行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		③特別支援教育連絡協議会の設置	・特別支援に関する関係機関とのより効果的な連携を図るために、連絡協議会を設置します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		④相談支援ファイルの作成	・一人一人に応じた一貫した支援を行うために、乳幼児期から学校卒業後まで個人の状況を記録し、切れ目ない支援に努めます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	内容について継続的な見直しが必要
	<b>具体的施策の平均値</b>				<b>5.0</b>	<b>4.8</b>	<b>3.0</b>	
<b>基本方針の平均</b>				<b>5.0</b>	<b>4.8</b>	<b>3.0</b>		

基本目標の平均・評価					4.5	4.0	2.7		
1) 道德教育の充実	①小・中学生の発達段階に応じた道德教育の推進	・豊かな心をもち、人間としての生き方の自覚を促し、道徳性を育成することをねらいとして、道徳教育を推進し、教科化への対応を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	道徳の教科化への対応は今後さらに充実させていく必要がある		
		・道徳の特別教科化にあたり、道徳的価値を自分のこととして理解し、多面的、多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	道徳の教科化への対応は今後さらに充実させていく必要がある		
		・道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行われることから、全体計画に基づいて、道徳教育のみならず、それぞれの教育活動の特質に応じた道徳教育を着実に実施していきます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
		・児童生徒の発達段階に応じてそれぞれ重視すべきことを取り上げた教育を推進します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
		・道徳教育を通して、いじめ問題について考える機会を提供します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
②家庭・地域の教育力を生かした道徳教育の推進	・日常生活における道徳的実践を促すためには、家庭や地域社会との連携が不可欠であることから、保護者や地域の人々の協力による道徳教育が充実できるよう、情報を発信するなど、十分に連携を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした			
	・道徳教育の教育効果を向上させるためには、教員の指導力の向上を図ることが欠かせないことから、効果を上げている道徳教育や、先進の研究等についての知識を深めるため、積極的に研修会等への参加を促進します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした			
③道徳教育に関する研修への参加促進					指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
具体的施策の平均値					5.0	4.7	3.0		
2) 読書活動の推進	①学校図書館の充実支援	・小・中学校の図書館図書を整備充実を図り、計画的な教育振興に努めます。そのため、小・中学校の図書充足率 100%を目指します。【再掲】(学校図書館図書標準に基づく学級数に対応した蔵書数に対する充足率。小学校 24 クラスの標準 11,560 冊)	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校において学級数に応じた標準蔵書数を達成しているため。		
		・小・中学校に学校図書館司書を配置し、児童生徒の読書活動や学習活動を援助します。【再掲】	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校に学校図書館司書を配置し、児童生徒へ援助しているため。		
		・児童生徒の多様な興味関心に応えられるように、蔵書の充実を図り、学校図書館の学習・情報センター機能と、読書センター機能の充実を果たせるよう周辺環境の整備と充実を進めます。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	小中学校図書館の運用システムと図書館システムが異なり有効に活用できない。小中学校図書館システム導入時の誤りが原因であり是正を要する。		
		・学校の教育活動全般を情報面から支える機能として、学校図書館の充実を支援していきます。	学校教育課	5 概ね完了した	3 期待された成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校の学校予算を確保することにより学校図書館の充実を図っているため。		
		・町立図書館及び他の公立図書館との連携も深め、地域に開かれた学校図書館を目指します。	学校教育課	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校図書館と町立図書館の連携が十分に図れていないため。		
	・司書教諭及び学校図書館司書の資質向上や新たな図書の購入及び選書・入れ替えを行うとともに、学習センターとしての機能向上及び町立図書館との連携を図ることで学校図書館の充実を図ります。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	総合情報センターとしての図書館の役割を未だはたしていない。児童生徒が自主的に学習する機会を与える環境の整備が必要なのが現状			
	・町立図書館から学校図書館への貸出、読み聞かせの協力、運営に関する助言等を行うことで、読書活動を推進します。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	連携が疎であるため情報密度の向上を要するのが現状			
	・町立図書館と学校図書館の連携を深め、学校への団体貸出、ブックレット「本は心の栄養です」の作成配付、図書館のお薦め本紹介、小学新1年生に「図書館利用案内」の配付など、子どもたちが学校で読書に親しむ機会及び学校図書館活動の支援をします。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	積極的な図書・情報利用の初期教育のバックアップの改善を要するのが現状			
	・児童生徒の読書活動、調べ学習及び総合的な学習の時間への支援をするため、町立図書館が必要な資料の整備に努めるとともに、学校団体貸出用の児童書の購入整備や町立図書館の除籍本を学校で再利用するなど、読書環境づくりの支援を行います。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	町の情報センターとしての児童生徒の図書館利用を促進する必要があるが利用者の増加は小中学生のアクセスが難しく望めないため困難であるのが現状			
	・学校図書館司書と町立図書館の連携について、学校図書館担当者会議を開催し、学校が児童生徒の教育活動並びに読書活動を一層充実できるように推進します。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	ネット上での連携が全くとできていないので予算措置からの検討を要するのが現状			
③学校ぐるみの読書活動の推進	・豊かな心の育成、情操教育、基礎的・基本的な知識の習得等に読書活動は欠かせないことから、児童生徒が読書に親しみ、自ら読書を行うように、読書活動を推進する様々な方策を行います。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	読書活動のさらなる推進に向けて工夫が必要			
④図書館ボランティアの支援と積極的活用	・子どもの読書活動を推進するために、読み聞かせや図書の貸し出しなどの多岐にわたる活動を行う図書館ボランティアを積極的に活用します。	図書館	4 着手しているが完了していない	2 内容を修正して位置づける必要がある		アフターコロナの積極的ボランティア支援事業を検討するのが現状			
	・子どもの読書活動の推進のためには、より多くの町民の協働や担い手が必要になることから、絵本の読み聞かせ会、かみしばい会、クリスマス会、ブックスタート、映画会の開催、学校団体貸出搬送業務などの施策を実施します。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	町民の読書人ロレベルが極めて低い状況改善する各種施策を実施する必要があるのが現状			
	②霞ヶ浦をテーマにした環境教育+D128-D135	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	図書ボランティアの活動が実施困難な状況を改善しなければならぬのが現状			
具体的施策の平均値					4.3	3.5	2.4		
①地域への愛着を醸成するための郷土教育の充実	・地域に伝わる昔話や伝承など、郷土に残る文化的遺産や資料などを活用することで、郷土の伝統と文化への愛着を高める教育を推進します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした			
	・「町史」や「阿見と予科練」、「町内名所 100 選」等、郷土資料を活用し、地域固有の資源に対する意識の醸成と啓発を図ります。	予科練	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	地域固有の資源に対する意識の醸成と啓発を図るためには、継続的な実施が必要			
	・予科練平和記念館を活用した郷土の歴史理解と平和教育の振興に努めます。	予科練	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	郷土の歴史理解と平和教育の振興には、継続的な実施が必要			

1豊かな心を育み命の尊さを伝える教育の充実

3)郷土教育の推進	②地域との連携による祭り・伝統行事への参加促進	・小学校3・4年生を対象として、社会科副読本「わたしたちのあみ」を効果的に活用します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		・「まちづくり探検隊事業」や「ふるさと文芸検討委員会事業」を通して、郷土を改めて見つめなおし、啓発活動を図ります。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍の影響で実施できない期間があった。	
		・地域との連携を深め、地域の伝統的な行事や郷土芸能などに積極的に参加し体験することで、郷土に対する愛着を高めます。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	君原小学校でひよこの取り組みが進んでいるものの、より郷土教育に生かすような周知が必要。	
	③図書館における郷土資料の充実	・地域コミュニティや関連団体との連携を推進し、伝統行事やイベントへの参加促進を図ります。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍の影響で実施できない期間があった。	
		・郷土に関する資料の集約を行い、調べ学習等の探究的な学習に生かします。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待される成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	郷土資料の積極的な収集活用が出来ていないのが現状	
		・郷土資料は、町の過去や現状を知り、将来を考える上で有効な財産であると同時に、地域社会の貴重な記憶であることから、散逸、消滅しないようその収集・保存に努めます。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待される成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	郷土資料の積極的な収集活用が出来ていないのが現状	
	④図書館における郷土資料の充実		・地域社会の記憶を後世に伝え継承させ、広い視野をもって新たな文化を創造するための基礎づくりをするため、郷土資料の充実に取り組んでいます。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待される成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	郷土資料の積極的な収集活用が出来ていないのが現状
	<b>具体的施策の平均値</b>				<b>4.2</b>	<b>3.9</b>	<b>3.0</b>	
	4)文化・芸術活動の推進	①町音楽会・合唱祭の開催	・町内の全小・中学校の児童生徒が参加する町音楽会を開催し、情操教育を推進します。	指導室	1 実施見込みなし・廃止	1 評価不能	1 内容を位置づける必要は	教育活動の見直し及び働き方改革の観点から廃止。
			・各中学校において実施する合唱祭については、各学校の独自性を尊重し、その内容の充実に努めます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	働き方改革の視点も含め、行事の持ち方については検討が必要。
		②児童生徒作品展・文化祭の開催	・町内の児童生徒が作成した美術作品等を展示、鑑賞する機会として児童生徒作品展を開催します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍の影響で実施できない期間があった。
			・各中学校において実施する文化祭・学芸会については、各学校の独自性を尊重し、その内容の充実に努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
③広域的な活動への参加	・県で実施する茨城県小中学校芸術祭(小中学校美術展覧会、小学校合唱合奏大会、中学校合唱合奏大会)へ積極的に参加します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
④文化庁活動の推進	・中学生の文化・芸術に触れる機会を拡大を図るため、文化庁活動の充実支援に努めます。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	外部指導者の活用や活動支援について等、部活動の在り方について大幅に見直す必要がある。		
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>4.2</b>	<b>3.8</b>	<b>2.5</b>		
5)平和・命の教育の推進	①人権教育、国際理解教育、道徳教育などを通じた平和を尊重する心の育成	・中学校生徒を広島平和記念式典に派遣し、原爆被害死没者への追悼の意を表するとともに、戦争の悲惨さ・平和の意義を正しく継承する施策の実施・人材育成を行います。	指導室	2 課題があり未着手	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により式典への派遣は中止だが、教育活動を通して実施。	
		・学校の教育活動全体を通して、平和や生命の大切さを尊重する心を育成します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	②予科練平和記念館を活用した平和教育の推進	・予科練平和記念館を活用して、戦争と平和について考える機会をつくります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>4.0</b>	<b>4.7</b>	<b>3.0</b>		
6)主権者教育・消費者教育の充実	①主権者としての自立と社会参画の力の育成	・児童生徒の発達段階に応じて、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うため、教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動などを活用し、主権者教育の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		・指導にあたっては、政治的中立の確保を図りながら、主権者として必要な知識、能力、態度が身につくよう取り組んでいます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	②消費者教育の推進	・児童生徒の発達段階を踏まえ、買物のしくみや消費者の役割についての理解を図り、計画的な金銭管理や消費者被害への対応等を全教科にわたり指導します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
・地域の多様な機関等と連携・協働を図り、効果的な消費者教育の質の向上に努めます。		指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
<b>具体的施策の平均値</b>				<b>5.0</b>	<b>5.0</b>	<b>3.0</b>		
7)体験活動・ボランティア活動の推進	①多様なボランティア活動への参加促進	・総合的な学習の時間や各教科領域において、異年齢・異世代の人々との交流や勤労体験・奉仕体験等の体験活動の充実に努めます。	指導室	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により、体験や交流の活動が中止。校内での取組のみ	
		・子ども会で実施している分別収集や、福祉部局などで実施しているボランティア体験活動事業等を通して、多様なボランティア活動に参加する機会を提供します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍の影響で実施できない期間があった。	
	②自然にふれあう体験活動の充実	・総合的な学習の時間や各教科領域において、自然体験等の体験活動の充実に努めます。	指導室	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により、校外での活動が中止。	
・地域住民や団体によって自然体験(野外体験、観察会など)、社会体験(ボランティア、職場体験など)、各種教室(料理教室、創作教室、スポーツ教室)など、学びの場やふれあいの場を設けることにより、小・中学校の授業では体験活動の支援、休日などには豊かな体験活動の機会を提供します。		生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナの影響で実施できない期間があった。		

2章 豊かな

		③地域との交流活動の推進	・地域社会と連携しながら、異年齢・異世代・地域の人々との交流の場を積極的に設けます。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナの影響で実施できない期間があった。
			・子ども会活動やふれあい地区館事業等を通して、地域の交流活動を推進します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナの影響で実施できない期間があった。
<b>具体的施策の平均値</b>					<b>4.0</b>	<b>4.0</b>	<b>3.0</b>	
<b>基本方針の平均</b>					<b>4.4</b>	<b>4.2</b>	<b>2.8</b>	
1) 学校体育の充実		①体力づくりの推進	・健康でたくましく生きるための体力の向上を目指し、日常的な運動・スポーツ活動への取組を促進します。そのため、体力づくりを広め、効果的に行うためにスポーツテストや記録会を活用します。また、県体力・運動能力調査※でのA評価の割合について、小学生では22%以上、中学生では30%以上を目指します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	日常的な運動・スポーツ活動への取組を実施し、体力づくりの推進に努めているため。
		②各種スポーツ大会の開催	・児童生徒が楽しく取り組み、運動に対する親しみを増すことができるような各種のスポーツ大会を開催します。	生涯学習課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	新型コロナウイルス感染症により、事業が実施できなかった
		③スポーツ少年団やクラブスポーツとの連携	・スポーツ少年団や地域のクラブスポーツとの連携を図り、児童生徒の交流や指導者の指導技術等の向上を図ります。	生涯学習課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	新型コロナウイルス感染症により、事業が実施できなかった
	<b>具体的施策の平均値</b>					<b>3.7</b>	<b>2.3</b>	<b>3.0</b>
2) 学校保健・健康教育	①健康な体づくりの推進		・小・中学校児童生徒の定期健康診断や、新1年生の就学時健康診断等を実施し、医療機関の受診や精密検査を促します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	小・中学校児童生徒の定期健康診断、新1年生の就学時健診等を実施しているため。
			・飲料水・プール水・空気・照度・ダニ検査を実施し、環境衛生の管理を行います。【再掲】	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	環境衛生の管理のため各検査を実施しているため。
			・児童生徒の健康の保持増進のために、食生活や社会環境の変化などにより多様化する健康課題の把握とその解決に向けた取組を推進します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒の健康保持のため、環境衛生管理を実施しているため。
	②健康相談、保健指導など学校保健の充実	・多様化する児童生徒の健康課題に対応するために、健康相談や保健指導が効果的に実施されるように、各種検診の効果的な実施や養護教諭の資質向上を図ります。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	教育委員会保健担当者や小・中学校養護教諭において情報共有するとともに資質の向上を図っているため。	
	③思春期保健の充実(性に関する意識啓発の促進)	・性に関する講演会や教員に対する研修会等を実施することで、児童生徒の性に関する知識の定着を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
④薬物・飲酒・たばこなどに対する意識啓発	・薬物乱用防止教室の開催などにより、薬物・飲酒・たばこなどに対する意識を啓発します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした		
<b>具体的施策の平均値</b>					<b>5.0</b>	<b>5.0</b>	<b>3.0</b>	
2) 健やかな体の育成	①食に関する指導の充実・食を大切に する意識の醸成		・食に関する授業(各小・中学校全学年)を行うとともに、給食時指導や保護者への啓発に努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
			・児童生徒の望ましい食習慣の形成と食を大切にする意識を醸成するために栄養教諭や学校栄養職員、養護教諭等との連携・協力により食に関する指導の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	2 内容を修正して位置づける必要がある	「学校栄養職員」はいない
			・学校・家庭・地域が連携して食育の推進を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
	②給食を通じた食育の推進		・給食を通して、食生活が食に係わる人々の様々な活動に支えられていることや、自然の恩恵の上に成り立っていることの理解を深めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
			・給食を摂りながら、実際の場面で、会食のマナーや感謝の気持ち育てます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により黙食にはなったが、その他は実施のため、左記の評価とした
	③安全で美味しい給食の提供	・町給食センターにおいて、食品検査・ふきとり検査の実施(年2回)、衛生研修会の実施(年2回)、食材及び調理品(1日2品目)の放射能検査を実施し安全な給食を提供します。	給食センター	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある		
④学校給食における地産地消の推進		・地域の産物を学校給食に活用し、給食の時間等における食に関する指導を通して、地域の食文化や地域の食料生産、流通、消費等に対する児童生徒の理解に努めます。	給食センター	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある		
		・茨城県産の食料使用率 50%以上を目指し、地場産物の使用品数の拡大を図るとともに、地場産野菜等の収穫時期を生産者と協議し、地産地消を徹底に取り入れます。	給食センター	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある		
<b>具体的施策の平均値</b>					<b>5.0</b>	<b>5.0</b>	<b>2.9</b>	
①運動部活動の推進		・中学校の生徒が関東大会以上の大会に出場する際は経費の一部を町が補助するなど、生徒のスポーツ技能向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図ります。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	関東大会以上の公式大会に出場した大会参加経費の支援を実施したため。	
		・スポーツの楽しさや喜びを味わい、学校生活を豊かにする運動部活動の充実を図るため、運動部活動を取り巻く環境の整備に努め、魅力ある運動部活動となるよう努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		・スポーツによる健全な心技体を育成し、学校生活をより豊かにするため、運動部活動の支援・充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	外部指導者の活用や活動支援について等、部活動の在り方について大幅に見直す必要がある。部活動の目的として前段の内容でよいか	
	②指導者の育成と資質向上	・生徒の体力・技術の向上とともに、運動に対する意識の向上や運動を通して身につけるべき望ましい態度・マナー等の定着のために、指導者の資質の向上と育成を図ります。	生涯学習課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	新型コロナウイルス感染症により、事業が実施できなかった	

4)運動部活動の促進	③外部指導者の活用と活動支援	・生涯学習支援ボランティアの育成と合わせて、体育協会やスポーツ少年団等の関連団体と連携して指導者の育成を図ります。	生涯学習課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	新型コロナウイルス感染症により、事業が実施できなかった
		・学校が必要とする支援を行うために、地域住民ボランティアが活動しやすい環境を整えます。【再掲】	学校教育課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	部活動指導員等、学校の働き方改革といった大きな枠組みでの検討が必要
		・地域人材の活用を図り、外部指導者の発掘とその活動に対する支援を行います。	生涯学習課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	新型コロナウイルス感染症により、事業が実施できなかった
		・学校のニーズを的確に把握して、関連団体と連携した外部指導者の活用を図ります。	生涯学習課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	新型コロナウイルス感染症により、事業が実施できなかった
		・スポーツに対する児童生徒の意識向上やスキルアップを図るため、トップアスリートによる指導を行います。	生涯学習課	3 実施予定だが未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	新型コロナウイルス感染症により、事業が実施できなかった
具体的施策の平均値				3.7	2.2	2.9	
基本目標の平均・評価				4.3	3.6	2.9	
3勤労観・職業観を育てる教育の推進	1)キャリア教育・職業教育の充実 ②中学生社会体験事業の推進	①キャリア発達に繋がる多様な体験学習の充実	指導室	4 着手しているが完了してはいない	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	コロナ禍により校外での体験活動等は中止。今後適切な形でキャリア教育の推進が必要
		②中学生社会体験事業の推進	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	2 内容を修正して位置づける必要がある	コロナ禍により校外での体験活動等は中止。今後適切な形でキャリア教育の推進が必要
		・町内及び近隣の事業所からの協力を得て、地元の職業・職場についての関心と理解を高めます。そのなかで、地域社会で他人との係わりや思いやり、社会のルール等を学ぶ機会をつくります。	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	2 内容を修正して位置づける必要がある	コロナ禍により校外での体験活動等は中止。今後適切な形でキャリア教育の推進が必要
具体的施策の平均値				2.7	2.0	2.0	
基本目標の平均・評価				2.7	2.0	2.0	
1)積極的な生徒指導	①個々の学校に適した指導体制の確立 ②個々の児童生徒の問題に対応したきめ細かい生徒指導 ③健全な学級運営・学校運営の支援 ④家庭・学校の連携強化	・時代の変化により、複雑化・多様化する児童生徒をめぐる様々な課題に対して、その地域・学校の実態に即して学校の方針・規準を明確にした指導の体制を確立します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	地域や時代、学校の実態に合わせた継続的な見直しが必要
		・児童生徒一人一人の特性や成長に応じて、それぞれの抱える問題に対応し、きめ細かい指導を行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	教員のさらなる資質向上を目指したい
		・児童生徒の実態に応じて、個別の対応ができるような教員の指導力の向上と学校の組織的な指導体制の確立を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・健全でスムーズな学級運営・学校経営の支援のために、複数の教員によるきめ細かい指導を行うなど実態に合わせて、助言・指導や人的整備を行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・学校、家庭、地域社会、関係機関等が連携して、児童生徒一人一人の特性や成長に合わせた支援を行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
具体的施策の平均値				5.0	4.8	3.0	
4生徒指導の充実	①スクールカウンセラーの配置と効果的な活用 ②学校における日常的な相談体制の充実 ③教育相談センター(やすらぎの園)との連携強化	・公立小・中学校スクールカウンセラー配置事業として、拠点校方式ですべての中学校と1小学校にスクールカウンセラーが配置されている状況を踏まえ、町内のすべての小学校に、定期的に派遣できる体制を充実させます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・スクールカウンセラーに求められる役割は時代潮流により複雑化・多様化していることから、児童生徒、保護者、教員が相談しやすいよう、効果的な活用を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・教育相談に関する教員研修の充実により、各学校における日常的な教育相談の体制の強化を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・いじめや不登校等、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見、早期解決を図るため、日常的な相談体制の充実を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・各学校と町教育相談センター「やすらぎの園」との連携を強め、個に応じた対応と早期発見・早期対応に努めます。また、教育相談センター指導員の各種研修会への参加を促進し、研修を深めることにより、その成果を町内各学校へ提供していきます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
具体的施策の平均値				5.0	5.0	3.0	
3)教育相談センター(やすらぎの園)の充実と活用	①支援が必要な児童生徒の早期発見と早期対応 ②スクールソーシャルワーカーの配置と効果的な活用 ③相談体制の充実と関係機関の連携強化 ④教育相談センター機能の周知	・学校との連携を深め、支援が必要な児童生徒を早期に発見し、個に応じた適切な支援を行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣し、支援を必要としている児童生徒、保護者に対する支援を行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・電話による相談、来所相談、家庭訪問による相談、学校との連携など多様な相談機能を生かすとともに、医療関係や各種の関係諸機関との連携を強化します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・町広報紙・ホームページに教育相談センターの情報を掲載し、その機能について広く周知を図ります。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		・教育相談センターのパンフレットを作成し、小・中学校に配付します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	パンフレットの内容について、継続的な見直し、改訂が必要

		具体的施策の平均値			5.0	4.8	3.0	
		基本目標の平均・評価			5.0	4.9	3.0	
		基本目標の平均・評価			4.1	3.7	2.7	
1開かれた学校づくりの推進	1) 地域人材の積極的な活用	① 地域住民との交流促進	・学校と地域住民や様々なボランティア団体等を繋ぐためのコーディネーターの育成に取り組めます。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	阿見第二小学校で学校運営協議会が始まったが、他の小中学校への波及はしていない。
			・地域住民との交流と地域人材の活用を図るため、地域住民の協力を得ながら休業日の学校施設開放や、社会体験活動などの学社連携事業、土日や放課後の子どもの居場所づくり事業の推進を図ります。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	休業日の学校施設開放は、教職員の働き方改革等の観点から難しい、放課後子ども教室等は所管が異なるため、生涯学習課では分りかねる。
	具体的施策の平均値				4.0	3.5	3.0	
	2) 地域に向けた情報の発信	① 学校評議員制度の活用促進	・小・中学校で学校評議員会を年3回開催し、学校運営に関する意見を聴取します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
			・学校評議員制度を活用して、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
		② 学校ホームページの充実などによる情報発信	・各学校のグランドデザイン(学校経営方針)や学校評価など、学校における様々な情報を積極的に発信します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
			・地区の回覧や学校のホームページを利用して、学校だよりを地域へ発信していきます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした
	③ 教育委員会ホームページによる情報発信の充実	・町広報紙・ホームページへ町の教育情報を掲載します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画どおり実施している	
		・町内の各学校の様子や学校評価等を積極的に公開します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	具体的施策の平均値				5.0	5.0	3.0	
基本目標の平均・評価				4.5	4.3	3.0		
2家庭の教育力の醸成・向上	1) 家庭教育の充実	① 家庭教育のための学習機会の提供	・家庭教育に関する学習機会の提供として、講演会や学習会など(県教育委員会作成の「家庭教育ブックつばさ」など関連資料を有効に活用しながら)保護者に対して学びの場、相談の場、または、繋がりの場を提供します。また、教育月間には、「教育の日」として広く町民を対象に、教育講演会などの学ぶ機会を提供します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	県からの家庭教育ブックの配付がなくなり、クローバーのダイジェスト版をこちらで印刷し活用をしたが、内容が少ないため、資料としては乏しい。
			② PTA活動と連携した家庭教育	・家庭教育の支援として、各小・中学校に家庭教育座談会を設置し、PTA活動とそれらとを繋げるPTA連絡協議会の活動支援を通して、PTAで取り組んでいる家庭教育を支援します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある
	具体的施策の平均値				4.0	3.5	2.0	
	2) 乳幼児期からの家庭教育の支援	① 就学前教育への支援	・家庭教育支援は、小学校に入学する以前から始まっているとの認識にたち、さわやかセンターや地域子育て支援センターとの連携を図りながら、妊娠前から乳幼児期の保護者を対象にした家庭教育に関する講座、講習会、セミナーなどの開催を検討します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	子育てカフェを実施しているが、コロナのため実施できない期間があった。
			・妊婦や未就学児の保護者に対して、児童福祉施設などを活用し、育児に関する情報や情報交換の場、学びの場、子育て支援の場(ブックスター事業)を提供します。	図書館	4 着手しているが完了していない	3 期待された成果があがっていない	3 同じ内容で位置づける必要がある	アフターコロナの積極的な子育て支援事業を検討するのが現状
			・障害のある子どもをもつ保護者に対しては、早期療育を目的に必要な指導と相談支援を行います。	指導室	1 実施見込みなし・廃止	1 評価不能	2 内容を修正して位置づける必要がある	乳幼児期における家庭支援、早期療育目的に関する事業は社会福祉課、健康づくり課が主管。就学相談はしている。
			・経済的理由で就園困難な家庭に対して費用を負担するなど支援を行います。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	1 内容を位置づける必要はない	令和元年度まで幼稚園就園奨励費補助金を交付していたが、幼児教育無償化に伴い制度が廃止となったため
	具体的施策の平均値				3.5	3.3	2.3	
	基本目標の平均・評価				3.8	3.4	2.1	
	3 社会全体での教育力の向上	1) 子ども会育成会との連携	① 子ども会育成会との連携	・子ども会育成連合会が開催する講演会や研修会、スポーツ大会などの各種事業を支援して、地域が連携して一体となるしくみを整えます。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある
・子ども会育成会活動への支援により、地域の教育力向上を目指します。				生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	少子化の影響により各種事業の参加者数が減少傾向にあるため、内容の見直しを行う必要がある。
・子ども会育成連合会主催の球技大会やバドミントン大会、野外体験活動などの事業を継続して支援し、学区を越えたネットワークづくりを推進します。				生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍の影響で実施できない事業があった。単位子ども会ごとに組織力に差があるため、参加チームや強豪チームの固定化傾向がある。合同チームによる参加の促進や、より参加しやすい部門の新設などを検討している。
② 地域の教育力向上のための多様な連携			・社会教育関係団体、役場、警察署、消防署、地域住民など様々な団体・個人が事業に係わり、連携して地域の教育力の向上を目指します。	生涯学習課	2 課題があり未着手	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	青少年健全に関わる団体・個人との連携を進める必要があるが、体制が整っていないため難しい。
			・子どもたちの多様な体験活動の機会を提供するために、「学校と地域」、「家庭と地域」が連携した事業を展開します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	バドミントン大会など一部の目的を達成している事業もあるが、今後はさらに事業の幅を広げることが必要。
			・放課後子ども教室について、地域の協力を得ながら全小学校で実施します。	子ども家庭課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	既に全小学校区で実施しているため。
② 地域の教育力向上のための多様な連携		・ゲストティーチャー(地域の人材)を活用した授業への協力者数(延べ人数)の拡大を目指す。	生涯学習課	2 課題があり未着手	2 ほとんど評価できない	2 内容を修正して位置づける必要がある	人材バンク等を活用してイベント等を実施する方向で検討している。	
		具体的施策の平均値				3.6	3.7	2.6

3地域の教育力の醸成・向上	2) 青少年健全育成・体験活動	① 青少年の健全育成	・青少年相談員による相談事業や地区巡視、青少年育成阿見町民会議によるあいさつ声かけ運動など、県・他市町村と連携しながら、地域住民の手による青少年の健全育成活動を支援します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	地区巡視やあいさつ声かけ運動など町内での活動は積極的に行われている。県・他市町村との連携については内容を	
		② 体験活動の充実	・地域住民や団体によって自然体験(野外体験、観察会など)、社会体験(ボランティアなど)、各種教室(料理教室、創作教室、スポーツ教室など)等、学びの場やふれあいの場を設けることにより、小・中学校の授業での体験活動の支援を行うとともに、休日などには豊かな体験活動の機会を提供します。	生涯学習課	2 課題があり未着手	3 期待された成果があがっていない	2 内容を修正して位置づける必要がある	豊かな体験活動の機会の提供は、町子ども会育成連合会が役割を担っている。小・中学校の授業での支援については、体制が整っていないため難しい。	
	具体的施策の平均値								
	3) 学校教育への支援体制の充実	① 地域住民による学校支援ボランティアの養成	・子どもたちの多様な体験活動の推進、コミュニケーション能力の向上や規範意識の醸成を図るため、学校と地域住民や様々なボランティア団体を繋ぎ、地域に根ざした教育力を促進します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	学校と地域の繋がりが地域によって偏りがある。	
			・大学生や地域住民等から学習支援ボランティアを募り、支援を希望する小・中学校に配置します。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	JAと連携した大学生の参加があった。時間や予算面に課題がある。	
			・研修会を企画したり情報交換の場を設定したりしながら、学校支援ボランティアの養成や資質の向上を図ります。	指導室	5 概ね完了した	4 目的は達成しているものの課題あり	2 内容を修正して位置づける必要がある	コロナ禍により、外部人材の活用には制限があった。	
			・退職教職員等の人材情報等の提供を積極的に行います。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		・今後のコミュニティ・スクール導入に向けて、調査・研究を進めます。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	学校と地域の繋がりが地域によって偏りがある。		
	② 達人バンク・学社連携事業の充実	・達人バンク制度や学社連携事業の充実など地域の人材を生かした学習支援体制を学校のニーズに応じて推進します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	達人バンクから人材バンクに名称を変えた。コロナの影響で活動が制限されてしまった。		
	具体的施策の平均値								
基本目標の平均・評価									
3.0 3.5 2.5									
4誰もが平等に社会参画できる教育の推進	1) 人権教育の推進	① 人権教育の推進	・児童生徒の実態に応じて計画を作成し、学校の教育活動全体を通して人権教育を推進します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	学校との連絡不足があり、連携がとれなかった。	
			・人権尊重や平和尊重の視点から中学生を対象に平和記念式典派遣事業を継続して実施します。	指導室	2 課題があり未着手	1 評価不能	3 同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により、事業が中止。	
			・教職員の人権教育に対する認識を深め、児童生徒に対する指導力の向上を図ります。	生涯学習課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	教職員の認識に関しては、指導室が学校訪問をした際に指導をしている。	
			・教育講演会や人権講演会などの講演会事業を推進します。	生涯学習課	4 着手しているが完了していない	4 目的は達成しているものの課題あり	3 同じ内容で位置づける必要がある	公演会の広報活動が不足していたため、参加者が少なかった。	
	具体的施策の平均値								
	3.8 3.5 3.0								
	2) 男女共同参画社会の形成	① 男女共同参画事業の推進	・性別に係わらずお互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成を目指した教育を推進します。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
			・子どものころからの男女平等教育が重要であることから、学校教育全体を通して、男女平等の視点にたった教育の充実が図られるよう、指導の充実にも努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
			・社会科や家庭科、道徳、特別活動などにおいて、男女平等、男女共同参画の理解を促す教育の推進に努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
	具体的施策の平均値								
5.0 5.0 3.0									
基本目標の平均・評価									
4.4 4.3 3.0									
基本目標の平均・評価									
4.1 3.9 2.7									
1) 危機管理体制の確立	① 緊急情報システムの充実(メール配信システムの機能強化)	・小・中学校や教育委員会から保護者に、より早く正確に防災、防犯、学校に関する情報が届くよう、保護者宛のメール配信システムの登録率 100%を目指すとともにその充実を図ります。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	引き続き新入学児童を対象にメール配信の登録を継続する		
		・町内各学校に災害時における通信手段確保のための災害時用公衆電話を設置しています。	防災危機管理課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある			
	② 個々の学校の環境に対応したきめ細かい災害対策の検討	・「学校防災推進委員会」を設置し、研修会を開催するとともに、各学校で「学校防災連絡会議」を設置し、地域と連携した避難訓練等を実施します。	学校教育課	2 課題があり未着手	2 ほとんど評価できない	1 内容を位置づける必要はない	各学校においては、地域と連携した活動は実施していない		
		・学校ごとの危機管理体制の充実を図るため、学校毎の防災マニュアルなどの情報を教職員、保護者が共有し、有事の際に的確に行動し児童生徒の安全を確保できるよう、周知徹底を図ります。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	各学校においては、学校危機管理マニュアル等を作成している。		
	具体的施策の平均値								
4.3 4.3 2.5									
2) 防災教育の強化	① 防災教育の強化	・災害の被害を最小限に抑えるため、児童生徒に対して、地震・台風などの自然災害についての十分な知識を身につけさせるとともに、日ごとの備えや、災害時に取るべき基本的な行動についての啓発を図るなど、防災教育の強化に努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	3 同じ内容で位置づける必要がある	各学校の実態に応じて、計画どおり実施しており評価5とした		
		・防災の日及び防災週間を中心に、防災訓練や防災に関する啓発に努めます。	指導室	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	2 内容を修正して位置づける必要がある	各学期で訓練を行っているので、「防災の日」や「防災週間」と位置付ける必要はないと考えるため、「2」とした		
具体的施策の平均値									
5.0 5.0 2.5									
① 学校施設の耐震化の推進	・本町では、平成 25 年度から平成 28 年度にかけて小・中学校の耐震化に取り組み、現在の耐震化率は100%となっています。屋内運動場等の吊り天井の落下防止対策については、平成 27 年度から取り組み、平成 30 年度までに完了を目指します。	学校教育課	5 概ね完了した	5 期待される成果があがっている	1 内容を位置づける必要はない	躯体の耐震化に加え、屋内運動場等の吊り天井落下防止対策を完了した。			

1安全・安心な教育環境の整備・強化	3)耐震等施設整備の充実	②学校施設の安全性強化	・児童生徒が学校で安全に過ごせるよう、計画的な保守点検を行い、小・中学校の各種施設の適正な維持管理に努めます。	学校教育課	4着手しているが完了していない	4目的は達成しているものの課題あり	3同じ内容で位置づける必要がある	必要な保守点検は実施しているが、経年劣化による課題も見えている。引き続き適正な点検と対策を実施していく。	
		③学校の防災拠点としての機能充実	・小・中学校に防災倉庫と防災井戸を整備するとともに、全中学校に太陽電池と組み合わせた非常用電源を設置します。	防災危機管理課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある		
	具体的施策の平均値					4.7	4.7	2.3	
	4)防犯・交通安全対策の強化	①防犯意識の高揚	・牛久警察署の協力により、避難訓練と合わせて防犯訓練を実施します。	指導室	5概ね完了した	4目的は達成しているものの課題あり	3同じ内容で位置づける必要がある	コロナ禍により、牛久警察署との連携は中止。避難訓練等は校内で実施。	
			・各小学校で「こどもを守る110番の家」の登録を募り、誘拐・わいせつ行為などの犯罪や声かけ事案等の不審者から子どもたちを守ります。	学校教育課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	計画どおり実施している	
		②学校安全ボランティア活動の推進	・小・中学校の防犯体制及び登下校時の見守りなど学校安全ボランティア(スクールガード)活動の推進に努めます。	指導室	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
			・交通安全教室を行い、交通ルールを指導します。	指導室	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	計画通り実施しており左記の評価とした	
		③交通安全教育の推進	・小学校児童に反射シール、中学校生徒に反射タスキを配付し、通学時の安全を確保します。	学校教育課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	小学新1年生に反射シールを、中学新1年生に反射タスキを毎年配布しているため。	
			・中学校自転車通学者のヘルメット購入費の一部を補助するなど、自転車通学者の安全確保に努めます。	学校教育課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	各中学校の自転車通学者に対し、ヘルメット購入費補助金を交付しているため。	
		④学校周辺の交通環境の整備	・町道の維持・修繕を実施し良好な道路環境を確保します。	道路課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	計画どおり実施している	
			・安全な交通環境を確保するため、空き地の雑草刈取について、土地所有者に草刈依頼通知を郵送し、適正管理を指導します。	生活環境課	5概ね完了した	4目的は達成しているものの課題あり	3同じ内容で位置づける必要がある	依頼通知は達成できているが、雑草刈取ができるかは土地所有者次第のところがある	
			・児童生徒の登下校時等の安全確保を図るため、阿見町通学路安全推進会議で、通学路の危険箇所の対応などを協議するとともに、危険箇所の改善を図ります。	学校教育課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	通学路交通安全プログラムを策定し、通学路の安全対策に取り組んでいるため。	
		⑤防犯設備の適切な管理	・小・中学校の防犯カメラで録画した画像を適切に管理します。	学校教育課	4着手しているが完了していない	3期待される成果があがって位置づける必要がある	2内容を修正して位置づける必要がある	防犯カメラが経年劣化しており適切な運用ができていない。また、要求されるスペック(解像度等)が高まり、技術の進歩も目覚ましいため全面的な更新を検討する必要がある。	
	・小学校の非常通報装置の保守点検を行います。		学校教育課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	3同じ内容で位置づける必要がある	引き続き適正な管理を行う。		
	具体的施策の平均値					4.9	4.6	2.9	
基本目標の平均・評価					4.7	4.6	2.6		
2質の高い教育環境の整備充実	1)学校情報化の推進	①学校のICT環境の整備充実【再掲】	・児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ活用できるよう、各教室・コンピュータ教室・職員室に、教育用コンピュータ、校務用コンピュータ、電子黒板、デジタルテレビ等の整備、教育用ソフトの充実、校務支援システムの導入など学校のICT環境の整備充実にも努めます。	学校教育課	4着手しているが完了していない	4目的は達成しているものの課題あり	3同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒1人1台端末・校務支援システムや電子黒板の導入により小・中学校のICT環境を整備したため。	
		②情報セキュリティ対策の推進	・児童生徒や保護者に関する情報など学校で知り得た個人情報のコンピュータネットワーク上での使用については、機密性が重要であることから、情報の漏洩がないようシステム上の管理、運用上の管理の徹底を図ります。	学校教育課	4着手しているが完了していない	4目的は達成しているものの課題あり	3同じ内容で位置づける必要がある	児童生徒1人1台端末の導入に伴い教育情報セキュリティポリシー等を作成し、情報漏洩がないよう管理運用を図っているため。	
	2)学校施設・設備の充実	①学習効果を高める設備の更新	・児童生徒が安全に学校生活を送れるよう、学校施設の維持管理を行います。	学校教育課	4着手しているが完了していない	4目的は達成しているものの課題あり	3同じ内容で位置づける必要がある	引き続き適正な管理を行う。	
			・施設・設備の中長期的な工事計画を策定し、空調設備やトイレの改修等を実施します。	学校教育課	4着手しているが完了していない	4目的は達成しているものの課題あり	2内容を修正して位置づける必要がある	学校施設長寿命化計画を策定しているため、その計画に沿った事業の進捗管理、及び計画の見直し修正を図っていく必要がある。	
			・小・中学校の暖房設備の改修に合わせて、冷暖房設備への改修工事を行います。	学校教育課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	1内容を位置づける必要はない	全小中学校の普通教室に冷房設備を設置完了した。	
		・小・中学校体育館の照明のLED化を図ります。	学校教育課	5概ね完了した	5期待される成果があがっている	1内容を位置づける必要はない	全小中学校体育館の照明をLED化済み。		
	②バリアフリー化の促進	・小・中学校の中長期的な工事計画を策定し、バリアフリー化を促進します。	学校教育課	4着手しているが完了していない	3期待される成果があがって位置づける必要がある	2内容を修正して位置づける必要がある	学校施設長寿命化計画に基づき行う改修工事の際にバリアフリー化を行う。		
	具体的施策の平均値					4.4	4.2	1.8	
	基本目標の平均・評価					4.2	4.1	2.4	
	3時代に対応した教育環境の整備	1)小・中学校の教育環境と適正配置の検討	①適正配置の検討	・阿見町立学校再編計画に基づき、再編対象校の保護者、地域の方及び教職員と子ども達のより良い教育環境について、意見交換を行います。	学校教育課	4着手しているが完了していない	4目的は達成しているものの課題あり	2内容を修正して位置づける必要がある	小学校8校から5校への再編を目指していたが、2校が統合、2校は地域との合意形成までは至らず現在も存続、1校を新設したことで7校となっている。
・また、「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」(文部科学省)を踏まえ、必要に応じて現行の再編計画の見直しを検討します。			学校教育課	4着手しているが完了していない	4目的は達成しているものの課題あり	2内容を修正して位置づける必要がある	統合の合意形成に至らない学校の今後の方向性に加え、人口増加地区の教室不足も懸念されている。		

	具体的施策の平均値	4.0	4.0	2.0	
	基本目標の平均・評価	4.4	4.0	2.2	
	基本目標の平均・評価	4.4	4.2	2.4	
	全体評価平均	4.28	3.97	2.61	

「進捗状況」と「アンケート結果」との比較

【A進捗率】

5→概ね完了した  
4→着手しているが完了していない  
3→実施予定だが未着手

【B評価】

5→ 期待される成果があがっている  
4→ 目的は達成しているものの課題あり  
3→ 期待された成果があがっていない  
2→ ほとんど評価できない  
1→ 評価不能

【学校教育における満足及び重要性】

5→満足・重要  
4→やや満足・やや重要  
3→どちらでもない  
2→やや不満・あまり重要ではない  
1→不満・重要ではない

	達成度評価 (庁内)		アンケート調査 (保護者)		アンケート調査 (教職員)	
	A. 進捗率 (平均値)	B. 評価 (平均値)	a.満足度 (平均値)	b.重要性 (平均値)	a.満足度 (平均値)	b.重要性 (平均値)
<b>1章 未来を拓き生きる力を育てる教育の推進</b>						
1 阿見町の教育の基本理念の普及・啓発						
1) 9年間を通した切れ目ない教育の推進	4.6	4.4	-	-	-	-
2 幼児教育の推進						
1) 幼・保・小連携の促進	5.0	4.0	-	-	-	-
2) 幼児教育の支援	4.3	4.3	2.9	3.8	3.0	4.0
3 確かな学力の定着を目指した教育の推進						
1) 基礎・基本の確実な習得と活用する力の	4.3	3.8	3.1	4.4	3.4	4.5
2) 学習意欲の向上	5.0	4.5	-	-	-	-
3) 言語活動の充実	5.0	4.3	2.9	4.3	3.0	4.2
4) 外国語教育の推進	4.6	3.7	2.7	4.3	3.2	4.1
5) 理数教育の充実	4.2	3.8	2.9	4.1	3.2	4.1
4 時代に対応した教育の推進						
1) 情報活用能力を育てる教育の充実	4.5	4.4	3.0	4.3	3.2	4.4
2) 環境教育の充実	4.4	3.4	-	-	-	-
3) 多文化共生の推進	3.8	3.4	-	-	-	-
5 学力を支える教師力の向上						
1) 教員の資質向上	4.7	4.3	-	-	-	-
2) 多様な学習支援の充実	3.0	2.0	2.7	4.0	2.8	3.8
6 自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進						
1) 個々の教育的ニーズに対応した指導の充	5.0	4.8	-	-	-	-
2) 就学前からの支援充実と発達障害に対す	5.0	4.8	3.2	4.3	3.4	4.4
<b>2章 豊かな心と健やかな体の育成</b>						
1 豊かな心を育み命の尊さを伝える教育の充実						
1) 道徳教育の充実	5.0	4.7	3.3	4.4	3.4	4.3
2) 読書活動の推進	4.3	3.5	3.6	4.1	3.6	4.0
3) 郷土教育の推進	4.2	3.9	3.3	3.7	3.0	3.7
4) 文化・芸術活動の推進	4.2	3.8	-	-	-	-
5) 平和・命の教育の推進	4.0	4.7	3.3	4.6	3.5	4.5
6) 主権者教育・消費者教育の充実	5.0	5.0	-	-	-	-
7) 体験活動・ボランティア活動の推進	4.0	4.0	3.0	4.1	2.9	3.9
2 健やかな体の育成						
1) 学校体育の充実	3.7	2.3	-	-	-	-
2) 学校保健・健康教育	5.0	5.0	3.1	4.3	3.3	4.1
3) 食育の推進と安全な学校給食	5.0	5.0	3.7	4.3	3.7	4.0
4) 運動部活動の促進	3.7	2.2	3.2	3.9	3.3	3.5
3 勤労観・職業観を育てる教育の推進						
1) キャリア教育・職業教育の充実	2.7	2.0	2.8	4.1	3.2	4.0
4 生徒指導の充実						
1) 積極的な生徒指導	5.0	4.8	-	-	-	-
2) 相談体制の充実	5.0	5.0	3.1	4.4	3.7	4.4
3) 教育相談センター（やすらぎの園）の充	5.0	4.8	-	-	-	-
<b>3章 社会全体での教育力の向上</b>						
1 開かれた学校づくりの推進						

1) 地域人材の積極的な活用	4.0	3.5	3.1	3.7	3.0	3.8
2) 地域に向けた情報の発信	5.0	5.0	3.2	4.0	3.5	4.0
2 家庭の教育力の醸成・向上						
1) 家庭教育の充実	4.0	3.5	3.0	3.7	2.9	3.9
2) 乳幼児期からの家庭教育の支援	3.5	3.3	-	-	-	-
3 地域・教育力の醸成・向上						
1) 子ども会育成会との連携	3.6	3.7	-	-	-	-
2) 青少年健全育成・体験活動	3.0	3.5	-	-	-	-
3) 学校教育への支援体制の充実	4.5	4.2	-	-	-	-
4 誰もが平等に社会参画できる教育の推進						
1) 人権教育の推進	3.8	3.5	3.1	3.9	3.2	4.1
2) 男女共同参画社会の形成	5.0	5.0	-	-	-	-
<b>4章 安心・快適で質の高い教育環境の創造</b>						
1 安全・安心な教育環境の整備・強化						
1) 危機管理体制の確立	4.3	4.3	-	-	-	-
2) 防災教育の強化	5.0	5.0	3.5	4.4	3.6	4.4
3) 耐震等施設整備の充実	4.7	4.7	-	-	-	-
4) 防犯・交通安全対策の強化	4.9	4.6	3.4	4.5	3.5	4.3
2 質の高い教育環境の整備充実						
1) 学校情報化の推進	4.0	4.0	-	-	-	-
2) 学校施設・設備の充実	4.4	4.2	3.1	4.3	3.1	4.4
3 時代の進展に対応した教育環境の整備						
1) 小・中学校の教育環境と適正配置の検討	4.0	4.0	-	-	-	-

事業効果が低い (進捗率高・満足度低) [A進捗率-a満足度]	保護者	教職員	事業着手が望まれる (進捗低・重要性高) [A進捗率-b重要性]	保護者	教職員
言語活動の充実	2.09	2.01	キャリア教育・職業教育の充実	-1.47	-1.31
相談体制の充実	1.92	1.33	多様な学習支援の充実	-1.00	-0.81
学校保健・健康教育	1.88	1.67	平和・命の教育の推進	-0.55	-0.49
外国語教育の推進	1.84	1.37	運動部活動の促進	-0.28	0.13
就学前からの支援充実と発達障害に対する理解促進	1.84	1.63	人権教育の推進	-0.20	-0.31
地域に向けた情報の発信	1.77	1.48	体験活動・ボランティア活動の推進	-0.10	0.07
道徳教育の充実	1.73	1.56	基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成	-0.06	-0.12
防犯・交通安全対策の強化	1.54	1.37	学校施設・設備の充実	0.05	0.04
防災教育の強化	1.49	1.36	理数教育の充実	0.08	0.11
情報活用能力を育てる教育の充実	1.46	1.33	情報活用能力を育てる教育の充実	0.15	0.15
幼児教育の支援	1.43	1.38	読書活動の推進	0.18	0.25
食育の推進と安全な学校給食	1.34	1.30	外国語教育の推進	0.24	0.49
学校施設・設備の充実	1.29	1.26	家庭教育の充実	0.32	0.12
理数教育の充実	1.28	1.02	地域人材の積極的な活用	0.34	0.16
基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成	1.26	0.94	防犯・交通安全対策の強化	0.43	0.60
体験活動・ボランティア活動の推進	1.02	1.12	郷土教育の推進	0.46	0.54
家庭教育の充実	0.99	1.13	幼児教育の支援	0.50	0.29
地域人材の積極的な活用	0.94	1.00	道徳教育の充実	0.60	0.70
郷土教育の推進	0.91	1.23	防災教育の強化	0.61	0.60
平和・命の教育の推進	0.68	0.52	相談体制の充実	0.62	0.57
読書活動の推進	0.68	0.73	学校保健・健康教育	0.70	0.89
人権教育の推進	0.65	0.54	言語活動の充実	0.70	0.79
運動部活動の促進	0.44	0.34	就学前からの支援充実と発達障害に対する理解促進	0.72	0.65
多様な学習支援の充実	0.31	0.22	食育の推進と安全な学校給食	0.74	1.02
キャリア教育・職業教育の充実	-0.1	-0.5	地域に向けた情報の発信	1.03	1.03
事業評価に乖離がある (評価高・満足度低) [B評価-a満足度]	保護者	教職員	事業改善が望まれる (評価低・重要性高) [B評価-b重要性]	保護者	教職員
相談体制の充実	1.92	1.33	キャリア教育・職業教育の充実	-2.13	-1.98
学校保健・健康教育	1.88	1.67	多様な学習支援の充実	-2.00	-1.81
地域に向けた情報の発信	1.77	1.48	運動部活動の促進	-1.72	-1.32
就学前からの支援充実と発達障害に対する理解促進	1.59	1.38	外国語教育の推進	-0.61	-0.37
防災教育の強化	1.49	1.36	読書活動の推進	-0.60	-0.53
道徳教育の充実	1.45	1.27	基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成	-0.56	-0.62
幼児教育の支援	1.43	1.38	人権教育の推進	-0.45	-0.56
言語活動の充実	1.43	1.35	理数教育の充実	-0.32	-0.29
情報活用能力を育てる教育の充実	1.36	1.23	家庭教育の充実	-0.18	-0.38
平和・命の教育の推進	1.35	1.19	地域人材の積極的な活用	-0.16	-0.34
食育の推進と安全な学校給食	1.34	1.30	学校施設・設備の充実	-0.15	-0.16
防犯・交通安全対策の強化	1.27	1.10	7) 体験活動・ボランティア活動の推進	-0.10	0.07
学校施設・設備の充実	1.09	1.06	言語活動の充実	0.03	0.12
体験活動・ボランティア活動の推進	1.02	1.12	情報活用能力を育てる教育の充実	0.05	0.05
外国語教育の推進	0.98	0.51	平和・命の教育の推進	0.12	0.18
理数教育の充実	0.88	0.62	防犯・交通安全対策の強化	0.16	0.33
基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成	0.76	0.44	郷土教育の推進	0.16	0.24
郷土教育の推進	0.61	0.93	道徳教育の充実	0.32	0.42
家庭教育の充実	0.49	0.63	就学前からの支援充実と発達障害に対する理解促進	0.47	0.40
地域人材の積極的な活用	0.44	0.50	幼児教育の支援	0.50	0.29
人権教育の推進	0.40	0.29	防災教育の強化	0.61	0.60
読書活動の推進	-0.1	-0.1	相談体制の充実	0.62	0.57
多様な学習支援の充実	-0.7	-0.8	学校保健・健康教育	0.70	0.89
キャリア教育・職業教育の充実	-0.8	-1.2	食育の推進と安全な学校給食	0.74	1.02
運動部活動の促進	-1.0	-1.1	地域に向けた情報の発信	1.03	1.03

目標指標調査

◎：目標値を上回った場合（目標値（R4）に対して100%以上の実績値（R3）を達成した場合）  
 ○：おおむね目標値どおりの場合（目標値（R4）に対して100%未満、80%以上の実績値（R3）を達成した場合）  
 △：目標値を下回った場合（目標値（R4）の80%未満の実績値（R3）の場合）  
 —：未実施などにより達成状況が不明の場合  
 ※達成度の算出にあたっては、平成28年度（策定時）の値を「0」としたときの値で算出している。  
 例）H28「0%」→R3「90%」→目標「100%」：○（達成度90%）、H28「80%」→R3「90%」→目標「100%」：△（達成度90%）

章	節	項目	目標指標（未来の姿を実現するための指標）	実績値					見込み値 令和4年度 （見込み値）	目標値 令和4年度 （目標値）	達成状況 R3実績値 /R4目標値	担当課
				平成28年度 （策定時）	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	令和3年度				
1	1	1	小中一貫教育に関する研修や授業等、事業の実施回数 《①学習面②生活面③小中連携した行事等の3点において計画した内容を実施》	17回/年	18回/年	18回/年	18回/年	18回/年	18回/年	20回/年	○	指導室
1	2	1	小学校における幼児との交流事業の推進 《小学校で幼児との交流事業を行った回数》	2回/年	2回/年	2回/年	0回/年	0回/年	2回/年	3回/年	△	指導室
1	2	2	幼児期の教育と小学校教育の連携・接続の推進 《幼児期の教育と小学校教育の連携・接続を行った回数》	2回/年	2回/年	2回/年	1回/年	1回/年	1回/年	3回/年	△	指導室
1	3	1	授業の理解度（小学校国語） 《国語の授業がわかる、だいたいわかると答えた児童》「全国学力・学習状況調査」	82.3%	項目なし	84.8%	未実施	84.3%	85.0%	85.0%	○	指導室
1	3	2	授業の理解度（小学校算数） 《算数の授業がわかる、だいたいわかると答えた児童》「全国学力・学習状況調査」	68.5%	79.2%	78.3%	未実施	84.6%	85.0%	70.0%	◎	指導室
1	3	3	授業の理解度（中学校国語） 《国語の授業がわかる、だいたいわかると答えた生徒》「全国学力・学習状況調査」	82.8%	項目なし	70.6%	未実施	80.2%	83.0%	85.0%	○	指導室
1	3	4	授業の理解度（中学校数学） 《数学の授業がわかる、だいたいわかると答えた生徒》「全国学力・学習状況調査」	64.5%	72.6%	80.5%	未実施	74.7%	75.0%	70.0%	◎	指導室
1	4	1	メディアリテラシー講習会の実施 《各学校で開催される、情報モラルに関する講習会の実施回数》	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年以上	○	指導室
1	4	2	コンピュータ等の情報通信技術を活用した教育 《コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業への満足度》 「H28年度保護者アンケート」	63.8%	—	—	—	31.6%	—	72.0%	△	指導室
1	4	3	自然体験やボランティア活動への参加 《学校教育における自然体験やボランティア活動への満足度》 「H28年度保護者アンケート」	22.1%	—	—	—	22.1%	—	32.0%	△	指導室
1	4	4	国際理解教育の推進 《国際教育や外国語によるコミュニケーション能力育成に対する満足度》 「H28年度保護者アンケート」	16.5%	—	—	—	19.1%	—	26.0%	△	指導室
1	5	1	教員の指導に対する児童生徒の意識調査 《先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれたと答えた児童生徒の割合》「全国学力・学習状況調査」	81.7%	項目なし	小学生 91.4% 中学生 84.4%	未実施	項目なし	項目なし	85.0%	—	指導室
1	5	2	指導室による学校訪問指導 《指導室による学校訪問指導回数》	各校1回/年	各校1回/年	各校1回/年	各校1回/年	各校1回/年	各校1回/年	各校1回/年以上	○	指導室
1	6	1	特別支援教育支援員の配置 《特別な支援を必要とする児童生徒数に応じて配置する支援員の人数》 「阿見町第6次総合計画」指標	23人	28人	28人	32人	32人	32人	25人	◎	指導室
2	1	1	年間50冊以上の本を読んだ児童の割合（小4～6） 《年間50冊以上の本を読んだ小学4～6年生数/小学4～6年生総数×100》県教育委員会調べ	54.4%	52.5%	46.8%	44.0%	44.0%	48.0%	60.0%	△	指導室
2	1	2	学校図書館の貸し出し冊数 《児童生徒一人当たりの、年間に学校図書館から借りる本の平均冊数》 「阿見町第6次総合計画」指標	33.1冊/人	37.1冊/人	39冊/人	39冊/人	39冊/人	39冊/人	34.0冊/人	◎	指導室
2	1	3	読書は好きだと答えた児童生徒の割合 《豊かな心を育む児童生徒の読書習慣の定着》「全国学力・学習状況調査」	67.1%	項目なし	小学生 74.1% 中学生 66.8%	未実施	項目なし	項目なし	70.0%	小：◎ 中：○ (R1値)	指導室
2	1	4	いじめはどんな理由があってもいけないことだと答えた児童生徒の割合 《いじめに対する児童生徒の意識》「全国学力・学習状況調査」	96.3%	95.0%	小学生 96.0% 中学生 95.2%	未実施	小学生 96.8% 中学生 95.8%	98.0%	100.0%	小：◎ 中：○	指導室
2	1	5	「学校に行くのは楽しいか」と肯定的に答えた児童の割合（小6） 《学校の魅力の向上》「全国学力・学習状況調査」	87.8%	項目なし	80.9%	未実施	83.4%	85.0%	90.0%	○	指導室
2	1	6	「学校に行くのは楽しいか」と肯定的に答えた生徒の割合（中3） 《学校の魅力の向上》「全国学力・学習状況調査」	84.4%	項目なし	79.7%	未実施	81.1%	83.0%	87.0%	○	指導室
2	1	7	学校の決まりを守っていると答えた児童生徒の割合 《規範意識に対する児童の意識調査》「全国学力・学習状況調査」	95.9%	91.2%	小学生 90.6% 中学生 96.2%	未実施	項目なし	項目なし	97.0%	小：○ 中：○ (R1値)	指導室
2	1	8	人の役に立つ人間になりたいと答えた児童生徒の割合 《社会貢献に対する意識調査》「全国学力・学習状況調査」	93.4%	96.5%	小学生 94.2% 中学生 92.8%	未実施	小学生 95.5% 中学生 95.0%	96.0%	95.0%	小：◎ 中：◎	指導室
2	1	9	人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合 《思いやりに対する児童の意識調査》「全国学力・学習状況調査」	88.6%	項目なし	小学生 84.8% 中学生 89.0%	未実施	小学生 88.7% 中学生 88.4%	90.0%	90.0%	○	指導室
2	2	1	小学校スポーツテスト（A+B）の割合 《県で実施しているスポーツテストの総合評価（A～E）で上位のA及びBと判定された児童生徒の割合（H26年指標変更）》県「体力・運動能力調査」	45.0%	45.5%	44.4%	未実施	36.6%	50.0%	50.0%	△	学校教育課
2	2	2	中学校スポーツテスト（A+B）の割合 《県で実施しているスポーツテストの総合評価（A～E）で上位のA及びBと判定された児童生徒の割合（H27年指標変更）》県「体力・運動能力調査」	63.8%	63.0%	56.8%	未実施	56.6%	67.0%	67.0%	△	学校教育課
2	2	4	虫歯のない児童生徒の割合 《歯科検診において虫歯のない児童生徒の割合の増加を目指す》県「学校保健統計調査」	49.7%	54.8%	小学生 56.0% 中学生 64.0%	小学生 63% 中学生 70.8%	53.0%	53.0%	53.0%	小：◎ 中：◎	学校教育課
2	2	5	肥満である児童生徒の割合 《身体測定結果において肥満である児童生徒の割合の減少を目指す》県「学校保健統計調査」	10.6%	9.3%	5.0%	6.4%	4.0%	9.5%	9.5%	◎	学校教育課
2	2	3	学校給食で栄養豊富な食材の占める割合 《栄養豊富な食材品目数/学校給食食材品目数×100》県「学校給食における地場産物活用状況調査」	42.4%	92.0%	93.6%	96.2%	98.4%	50%以上	50.0%以上	◎	給食センター
2	3	1	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合 《将来の夢や目標をもっている児童生徒》「全国学力・学習状況調査」	80.5%	80.4%	小学生 83.2% 中学生 75.7%	未実施	小学生 80.3% 中学生 68.6%	小学生 82.0% 中学生 70.0%	85.0%	小：○ 中：△	指導室

章	節	項目	目標指標（未来の姿を実現するための指標）	平成 28 年度 （策定時）	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度 （見込み値）	令和 4 年度 （目標値）	R3実績値 /R4目標値	担当課
2	3	2	職業体験協力事業所数 《各中学校で実施する職業体験への協力事業所の平均》	平均31事業所	平均36 事業所	平均37 事業所	未実施	未実施	平均37事業所	平均 50 事業 所	△ (R1値)	指導室
2	4	1	不登校児童生徒の割合 《年間 30 日以上欠席する児童生徒の割合》県「生徒指導等問題行動調査」	1.7%	2.3%	2.7%	2.7%	2.7%	2.4%	1.2%以下	△	指導室
2	4	2	「自分にはよいところがある」と答えている児童生徒の割合 《児童生徒の自己肯定感》「全国学力・学習状況調査」	61.2%	90.0%	小学生 77.3% 中学生 73.5%	未実施	小学生 76.9% 中学生 76.2%	小学生 79.0% 中学生 78.0%	65.0%	小：◎ 中：◎	指導室
3	1	1	地域の方が参加できる学校公開日の平均日数 《町内の小・中学校で、1 年間で行う学校公開日の平均日数》	平均10日/年	平均10日/年	平均10日/年	平均1日/年	平均4日/年	平均6日/年	平均 12日/年	△	指導室
3	1	2	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもち生徒の割合（中3） 《社会貢献や社会参加に対する意識醸成の状況》「全国学力・学習状況調査」	72.4%	62.4%	項目なし	未実施	項目なし	項目なし	75.0%	—	指導室
3	1	3	今住んでいる地域の行事に参加していると考えた児童生徒の割合 《地域への愛着》「全国学力・学習状況調査」	65.0%	64.1%	小学生 77.5% 中学生 55.4%	未実施	小学生 57.9% 中学生 43.2%	小学生 60.0% 中学生 46.0%	70.0%	小：△ 中：△	指導室
3	2	1	家庭教育座談会の参加者数 《子育てについて学んだり話し合ったりする機会をつくる。》	3,113人/年	3,115人/年	2,456人/年	0人/年	未集計	2,000人/年	3,300人/年	△ (R1値)	生涯学習課
3	2	2	家庭教育講演会の参加者数 《家庭教育の講演会を年1回実施する。》	23人	98人	115人	100人	未実施	50人	50人	◎ (R2値)	生涯学習課
3	3	1	達人バンクの活用件数 《町の紹介により達人バンク登録者が地域・学校・講座等に活用された件数》	86件/年	89件/年	108件/ 年	328件/ 年	未集計	200件/年	100件/年	◎ (R2値)	生涯学習課
3	3	2	学社連携事業数の開催回数 《学社連携事業により町内で行われた連携事業の開催回数（教育委員会関連事業）》	201回/年	215回/ 年	209回/ 年	40回/年	3回/年	100回/年	225回/年	△	生涯学習課
3	4	1	他者尊重・他者理解 《自分と異なる意見や少数意見を大切にしている児童生徒》 「全国学力・学習状況調査」	93.0%	項目なし	項目なし	未実施	項目なし	項目なし	95.0%	—	指導室
4	1	3	緊急メールの登録率 《緊急メールに登録している児童生徒の割合》	95%	96%	99%	99%	99%	99%	100%	○	学校教育課
4	1	1	防災避難訓練の実施 《町内小・中学校で年間に行う防災避難訓練の回数》	3回/年以上	3回	3回	3回	3回	3回	3回/年以上	○	指導室
4	1	2	防犯教室等の実施率 《各学校における防犯教室等の実施率》	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	指導室
4	2	1	長寿化計画の策定率 《長寿化計画の策定状況》	未策定	未策定	未策定	策定済	策定済	策定済	策定済	○	学校教育課
4	2	2	普通教室への空調施設の設置率 《普通教室への空調施設の設置》	45%	70%	100%	100%	100%	100%	100%	○	学校教育課
4	2	3	学校施設の耐震化率・屋内運動場などの吊り天井落下防止対策率 《学校施設の耐震化率・屋内運動場などの吊り天井落下防止対策状況》	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	学校教育課
4	3	1	学校再編計画による再編後の小学校数 《学校再編計画に基づき再編を行った後の小学校数》	8校	7校	7校	7校	7校	7校	5校	△	学校教育課